第2章 青銅器埋納遺跡調査表

番号	(武) 高知22	遺跡名	三里池遺跡	所在地	高知県高知市三里池長崎	発見年	年	1919年
	銅剣			立 地	細長い谷の奥、平坦地にある池の岸 辺。	所有	者	高知県
青銅器の 種 類		中広形 I コ	式 2	76 D 0 /7 6h	Nice Mid Vis 1 ) or 66 E		音	高知県立歴史民俗資料館
			,	発見の経緯	池で鍬を洗おうとして発見。	指定。	カ	遺跡 遺物 市指定文化財(考古資料)
伴出遺物				出土状況	鋒を同じ方向に向け、刃を立てた状態で並んでいた。	文 前		川田信敏「土佐青銅器時代遺物」『土 佐考古叢書』第二輯 1938年
	遺跡の	位置図	(高知)		遺跡写真			備考
	10日の一十二日は、10日の一十二日は、10日の日本の一十二日は、10日の一十二日は、10日の一十二日は、10日の一日は、10日の日本の一日は、10日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	世では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	国立族養所、 田立族養所、 他 也 一			● 1 <sup>2</sup> 同行 <sup>2</sup>	本に者	いわれている は鋳かけあり 出原恵三 日 1993年11月17日 者 足立克己

(武) 高知24	遺跡名	たせら 田村カリヤ遺跡	所在地	高知県南国市田村カリヤ	発見年	1899年
銅剣			立 地	高知平野東半で南流する物語川が形成した旧自然堤防に近い微高地	所有者	伊都多神社 石川兼太郎 后知城懐徳館 石川兼太郎
	公形 5		発目の経緯	水田のあげ十中の畦の間	保管場所	伊都多神社 1 高知城懷徳館 1 石川兼太郎 3
			JUJU- PALLAH	24-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14	指定の 状 況	遺物
ことにな	なっている 占墳時代前	るが、付近は散布地。	出土状況	鋒と袋部を交互に合わせ、南北に5 本並ぶ	文 献	岡本健児「高知県発見の銅矛に ついて」『高知の研究』1 1983 年
遺跡の	位置図	(高知)		遺 跡 写 真		備考
本意。如果	中制	新物部川井 (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4			調査年	出原恵三
	高知24 銅剣 銅鐸 銅	高知24 直跡名 調剣 銅鐸 銅矛 広形 5 発見とは 大大 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	高知24 直跡名 田村カリヤ直跡 銅剣 銅鐸 銅矛 広形 5 発見当時無文弥生土器 付が近に 大下 全ととははすずいる。 遺跡の位置図 (高知) 大下 で	高知24 運動名 田村カリヤ連跡 所 在 地 銅剣 銅子 広形 5 発見の経緯 発見当時無文弥生土器片が出土したことになず時代前期の土師器と言われている。 遺跡の位置図(高知) 出土状況	高知24 直跡名 田村カリヤ直跡 所 在 地 高知県南国市田村カリヤ 調剣 立 地 高知平野東半で南流する物語川が形成した旧自然堤防に近い微高地	高知24

番号	(武) 大分18	遺跡名	切寄遺跡	所在地	大分県宇佐郡安心院町大字鳥越字 切寄780の3	発見年	1979年 6 月19日
	銅剣			立 地	標高約170mの丘陵上。沖積地を一望 できる。	所有者	安心院町教育委員会 大分県立歴史民俗資料館
青銅器の 種 類	銅鐸銅矛	中広形	2	発見の経緯	旧竜王小学校グランドにおいて、圃	保管場所	安心院町教育委員会大分県立歴史民俗資料館
				光光 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	場整備用の採土中に発見。	指定の . 状 況	遺物
伴出遺物	なし			出土状況	詳細は不明であるが、地表から1.5m下に埋もれていたという。	文 献	大分県総務課編『大分県史 先 史篇 II』 1989年
	遺跡の	位置図	(豊岡)		遺 跡 写 真		備考
有速原	E L		第三章 中共平共 中共 平			同行者 調査年	

							,
番号	(武) 大分19	遺跡名	谷迫遺跡	所在地	大分県宇佐郡安心院町大字且尾字谷 迫966-1	発見年	1965年3月9日
	銅剣			立 地	標高160~180mの上ノ原台地を北東 方向から浸食する小谷の緩斜面。	所有者	文化庁
青銅器の 種 類		中広形 7	(うち3本研ぎ分け)	76 H 0 67 64	土地所有者の磯野精逸氏が原野を水	保管場所	国立歴史民俗博物館
				発見の経緯	田にしようとブルドーザーで開墾中 に発見。	指定の 状 況	遺物
伴出遺物	なし			出土状況	不明であるが破損状況から「刃を立 てて埋納されたもので、おそらく鋒 そろえであろう」とされている。	文 献	小田富士雄「北海部郡佐賀関町 周辺の調査」『大分県文化財調査 報告書』第15輯 1968年
	遺跡の	位置図	(豊岡)		遺跡写真		備考
			106.6		Ü	土地点にたといれたが埋め、	こよれば、工事以前には、銅矛出 は2 m四方のテラス状をなしてい う。また、出土地から北東約200 m 所に径2 mあまりの大岩があった てしまったという。 原田昭一
				× 10		調査年調査	月日 1994年1月6日 者 渡辺貞幸・松本岩雄

## 第2章 青銅器埋納遺跡調査表

番号	(武) 大分30	遺跡名	浜遺跡	所在地	大分市浜字羽様	発見年	1957年12月
	銅剣「銅鐸	中細形 b 對	類 4	立 地	大野川河口近くの標高約5mの砂丘 上。	所有者	京都国立博物館
青銅器の 種 類	銅矛			発見の経緯	水田化工事中に発見	保管場所	京都国立博物館
				JUJU VIEW		指定の 状 況	遺物
伴出遺物	なし			出土状況	不明であるが、発見後の聞き取りに よれば「方2mほどの竪穴の中に」 「鋒重ねの状態で」埋納されていたと いう。	文 献	賀川光夫「大分県浜遺跡」 『日本 農耕文化の生成』 1961年
	遺跡	の位置図	図 (浜)		遺跡写真		備考
	黄河の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の	度。 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	位是			同行者 調査年) 調 査	

番号	(武) 大分33	遺跡名	しみずがきこ 清水ケ迫遺跡	所在地	大分市丹生岡清水ケ迫	発見	見年	1945年 9 月
	銅剣 平	∞形 1		立 地	標高約75mの丘陵東斜面	所有	有者	京都国立博物館
青銅器の 種 類	銅矛			発見の経緯	開墾中に発見	保場	管所	京都国立博物館
				元元》/胜神	<b>加至</b> 平に元元	指定		遺物
伴出遺物	不明			出土状況	不明	文	献	『大分県史 先史篇Ⅱ』1989年
	遺跡の	位置図	(大分)		遺 跡 写 真			備考
道谷 通子 製園	新····································					調査		原田昭一 日 1994年1月7日 者 渡辺貞幸・松本岩雄

番号	(武) 大分36	遺跡名	京ケ尾遺跡	所	在 地	大分市松岡字京ケ尾	発見	上年	宝暦年中(1751~64年)
	銅剣			立	地	標高約130mの山上というが、出土地 点の特定はできない。	所有	<b></b>	東京国立博物館 宮崎県立博物館
青銅器の 種 類	銅鐸銅矛「	中広 5				旧延岡藩主内藤家所蔵の銅矛箱書に よると、宝暦年中に豊後国大分郡成	保場	管所	東京国立博物館 2本 宮崎県立博物館 1本 他の2本は所在不明
				発見	の経緯	松村の郷民が京ケ尾で掘り出したという。	指兌状		遺物
伴出遺物	不明			出出	上状況	不明	文	献	『大分県史 先史篇II』1989年
	遺跡の	位置図	(大分)			遺 跡 写 真			備考
									原田昭一
			an works						月日 1994年1月 日 者 渡辺貞幸・松本岩雄
四門的沙里里	FE 92 >11 ~4	(4) 17X/F	F/ (: d. "	100000000000000000000000000000000000000					The second secon

番号	(武) 大分38	遺跡名	ぼうずゃ# 坊主山遺跡	所在地	大分県臼杵市下北津留字中尾坊主山	発見年	1952年 2 月18日
	銅剣			立 地	標高約50mの丘陵斜面、眼下に平地 を見下す眺望のよい地。	所有者	京都国立博物館
青銅器の 種 類	銅鐸銅矛瓜	太形 7		発見の経緯	通称坊主山の丘陵中腹を開墾中土地 所有者片岡倉蔵氏の家族によって偶	保管場所	京都国立博物館
				无允 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	然発見。	指定の 状 況	遺物
伴出遺物	なし			出土状況	賀川光夫氏の聞き取りによれば「一種の土壙状 (80×120cm、深さ80cm)をなす床面 (何の設備もない) に鋒重ねに7口が発見された」という	文 献	賀川光夫「新たに発見された東 九州の銅鉾銅戈」『考古学雑誌』 39巻2号 1953年
	遺跡の	位置図	(臼杵)		遺跡写真		備考
		がある。	が は は は は は は は は は は は は は			同行者	原田昭— 月日 1994年1月7日
THE STATE OF	3					調査	者 渡辺貞幸・松本岩雄

## 第3章 銅鐸·武器形青銅器出土地名表

- 1、この地名表は、1996年3月までに日本列島で出土した銅鐸と武器形青銅器の地名表である。 銅鐸地名表については、佐原真·春成秀爾「銅鐸出土地名表」『考古学ジャーナル』210 1982 年を、また武器形青銅器については「日本青銅武器出土地名表」『青銅の武器』九州歴史資 料館 1980年を底本として、その後の新資料、新知見を追加したものである。
- 2、出土地は府県別に北から順番に配列し、各府県内で出土地の番号を付した。出土地不明の ものは各々の表の最後にまとめた。神庭荒神谷遺跡を除き、出土青銅器は底本の理念を引 継いでなるべく一点ずつ型式名を明記するように努めたが、一遺跡で一型式のみの場合は 型式名と個数を表記するにとどめた。
- 3、銅鐸の型式名は佐原真分類を基本とし、部分的に難波洋三分類を加えた。武器形青銅器(矛・剣・戈)は岩永省三分類を基本とし、剣の型式と「研ぎ」の分類については吉田広分類を ( )内に表記した。

佐原 真「銅鐸の鋳造」『世界考古学大系』 2 平凡社 1960年

難波洋三「銅鐸」『弥生文化の研究』 6 1986年

岩永省三「弥生時代青銅器型式分類編年再考」『九州考古学』55 1980年

岩永省三「銅矛」「矛形祭器」『弥生文化の研究』 6 1986年

吉田 広「銅剣生産の展開」『史林』76-6 1993年

- 4、銅鐸地名表の「文様」の『袈裟』は袈裟襷文、『横帯』は横帯文を省略したものである。
- 5、この地名表の作成にあたっては岩永省三・吉田 広の多大な協力を得た。また、新資料の 記載漏れや出土地名の誤記を防ぐため、各府県の研究者に表の点検をお願いした。協力し ていただいた方々は以下のとおりである。記して感謝します。(平野芳英)

群馬県:津金澤吉茂、石川県:田嶋明人、長野県:矢島宏雄、福井県:富山正明、静岡県:向坂鋼二、岐阜県・三重県:野口哲也、愛知県:石黒立人、滋賀県:進藤武、大阪府: 芋本隆裕、兵庫県:種定淳介、和歌山県:冨加見泰彦、前田敬彦、鳥取県:中原斉、岡山県:正岡陸夫、広島県:伊藤実、山口県:河村吉行、徳島県:天羽利夫、香川県:渡部明夫、愛媛県:高山剛、高知県:岡本健児、福岡県:柳田康雄、佐賀県:蒲原宏行・七田忠昭、長崎県:下川達彌、熊本県:富田絋一、大分県:高橋徹・原田昭一、宮崎県:長津宗重・岩永哲夫、鹿児島県:松永幸男

銅鐸出土地名表

備寿	鳍部次損 胴部約1/ 2次損	近畿以西からの購入 品と想定	小銅鐸、溝、弥生終 期~50			多種多様の絵画。3 個出土とも伝える	各区画内に絵画	三遠式の前身			但馬1-4と類似。福井 1-3か					総見寺蔵のものは三 河2-1と判明	菱環部無文			近畿産 東海産・三遠式の先 駆		
文献(	新田町教委(1993) 鑑 2次 2次	吉岡(1969) 近橋	小 期 期		梅原(1927)、東博(1981)	上田(1920)、梅原(1968)、多利国分(1979)、辰馬(1988)、個計神戸市博(1993)		梅原(1927)、東博(1993) 三3	印牧 (1951)、梅原 (1968)	広嶋(1982)、神戸市博 (1993)	明治大学(1990)、神戸市   但J 博(1993)   1-3	神戸市博(1993)	大場・原(1961)	大場 (1944)・桐原 (1966)		梅原 (1927) 総 河辺	梅原(1927) 菱垣	小川(1913)、梅原(1927)、 神戸市博(1993)		大場(1944) 近着東京	松崎(1843)、梅原(1927)	山本(1802)、柴田(1905)
所蔵・保管	新田町教育委   集   員会	99 20 1				辰馬考古資料 館 信	富田重助	東博7399 本	三国町郷土資 日料館	国立歴史民俗 [1] 博物館 (	明治大学1号 申	東大考古学研 <sup>4</sup> 究室	平出考古館	松本市立博物 館	長野市立博物 館	*	天理参考館 木	\\ \A	岡本太右衛門	林 魁一 万里田又夫	**	
伴出品	合付 他										-											
遺	竪穴住居(古墳 時代中期)滑石 製品工房跡、主 として白玉を製 作している																					
同范関係																						
恒		43.7			40.6	55.2	47.4	52.3	42.2	現60	41.5+	42.4	64.2	8.5+			現28	25.7		31.5	※560	58.8
文樣		6 区袈裟			6 区袈裟	2 · 3 区流水文	4 区袈裟	6 区袈裟	4 区袈裟	近畿IA	3 区流水文	6 区袈裟	三遠式	川遠式			4 区袈裟	4 区袈裟	4 区袈裟	4 区袈裟 6 区袈裟	三遠式	三萬六
型	不明	扁平鈕式	形式不祥	不明	外緣付鈕2式	外緣付鈕 1 式	菱環鈕2式	突線鈕2式	外緣付鈕1式	突線鈕2式	外緣付鈕2式	扁平鈕2式	突線鈕3式	突線鈕3式	不明	不明	扁平鈕式	外緣付鈕1式	外緣付鈕1式	扁平鈕式 扁平鈕式	突線鈕3式	突線鈕3式
出土年				842	1900	1868		1917	1926~	1969			1960		1971	1733	1716~1735	18972		1932	1772	1787
出土地	新田郡新田東中溝11遺跡	(伝)河北郡河北潟畔	金沢市藤江藤江B遺跡	(若狹国)	遠敷郡上中町堤	坂井郡春江町井向島 田		鯖江市新町	坂井郡三国町米ケ脇	三方郡三方町向签化 浦	(岳) (大石)	遠敷郡上中町野木	塩尻市柴宮	(伝)松本市宮淵	長野市安茂里早芝平	可児郡可児町柿下	岐阜市上加納	大垣市十六町	(伝)(美濃国)	益田郡萩原町上呂	掛川市長谷・小出谷	浜松市三方原
旧匿名	鱼	加賀	加賀	若狭	若狭	超		大学	越前	越前	越前	若狭	信濃	信濃	信濃	美隱	美濃	美	美濃	飛轟	遠江	遠江
県 名	群馬 1	石川 1	石川2	福井1	福井2	福井3		福井4	福井5	福井6	福井7	福井8	長野1	長野 2	長野3	岐阜 1	岐阜2	岐阜3	岐阜4	岐阜5	静岡 1	静岡 2

備考	鈕のみ現存(34.2cm)				鳥の絵あり	鳥の絵あり鈕上部欠	鳥と鹿の絵あり	従来、堂道出土とす るもの。鳥の絵あり	従来、分寸出土とす るもの			静岡13鐸出土地点から30m離れる		双頭渦文飾耳と鰭の 破片各1のみ		小野と同じか?
文	梅原(1927)、貝殼山貝塚 資料館(1991)	梅原(1927)、東博(1981)	梅原(1927)、東博(1981)	柴田(1905)、神戸市博 (1993)	梅原(1927)、神戸市博 , (1993)、東博(1981)	梅原(1927)、東博(1981)	大野(1912)、梅原(1927)、 東博(1981)	後藤(1937)、東博(1981)、 神戸市博(1993)	三木(1955)、東博(1981)	平野・向坂 (1965)	静岡県教委(1969)	芝田(1982)	向坂(1968)、神戸市博 (1993)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	船越・山崎 (1933)
所蔵・保管	東観音寺	東博828 奈良国立博物 館・静岡市登	B 博物館 東博36666 不明	東京大学総合資料館ベルリン博物館	東博829 辰馬考古資料 館	東博5715 東博5716	東博6731	東博21639	東博36664	三ヶ日町教育 委員会	細江町教育委員会	細江町教育委員会	細江町教育委 員会	東京大学人類 学教室	L I	再埋納と伝え る
伴出品							·									
構																
輕																
同范関係																
恒	約120	74.2	64.6	56.1	68.5	81.2	67.9	現46.7	7.96	96	9.69	推65	72.3			
文	近畿式近畿式	名	<b>北</b> 瀬川	五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	五 城 城 武	三 三 三 三 三 三 三	山村村	三海共	近畿IIIA	近畿ⅡB	近畿IIA	山南大	近畿IIA	近畿式	三遠式	
松	突線鈕5式 突線鈕5式	%線鈕3式 %線鈕3式	突線館3式	条線 4 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	突線鈕 3 式 突線鈕 3 式	突線鈕3式突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕 4 式	突線鈕 4 式	突線鈕 3 式	突線鈕 3 式	突線鈕3式	突線鈕式	突線鈕3式	不明
出土年	1801	1838	1868	1880	1890	1908	1912	1933	1950	1965	1966	1967	1967			1868~1912
出土地	湖西市白須賀・鍛冶ケ谷	引佐郡三ケ日町釣・ 荒神山	浜松市芳川町ツツミドオリ	引佐郡細江町中川 · 岡地 · 船渡	磐田郡豊岡村敷地・ 中谷	浜松市和田町永田· 木船	引佐郡細江町中川 · 悪ケ谷	引佐郡細江町小野· 日向郷	引佐郡三ケ日町釣・ 山田	引佐郡三ヶ日町日比 沢・猪久保	引佐郡細江町中川· 滝峰·七曲り〈1号 饆〉	引佐郡細江町中川· 滝峰·七曲り〈2号 鐸〉	引佐郡細江町中川· 不動平	(伝)浜松市浜松南海 岸	(伝)(遠江国)	(伝)引佐郡細江町中川・コツサガヤ
旧国名	江瀬	过	型	河	遠江	以遊	遠江	遠江	遠江	遠江	遠江	通江	遠江	遠江	遠江	遠江
県名	華岡3	華岡 4	2 厘 量	9 図 盘	静岡 7	8 図 #	毎回 6	静岡10	静岡11	静岡12	静岡13	静岡14	静岡15	静岡16	静岡17	静岡18

県	旧国名	田田	出土年	型	文樣	心恒	同范関係	遺構	集田	所蔵・保管	大	備
静岡19	遠江	引佐郡引佐町井伊谷		外緣付鈕 1式	2 区流水文	42.0				反馬考古資料 館	辰馬(1988)	
静岡20	駿河	沼津市我入道・藤井 原	1974	突線鈕式	近畿式					沼津市歴史民 俗資料館	沼津市教委(1978)	双頭渦文飾耳破片を 垂飾品とする
静岡21	伊豆	(伝)(田方郡修善寺 堀切・益山寺)		突線鈕5式	近畿IVC	118.2				辰馬考古資料 館	梅原 (1927)	
静岡22	江東	浜松市南伊場町JR 浜松工場内	1983	突線鈕式	近畿式			集落ピット内か ら出土	かが生土器	浜松市博物館	太田 (1983)	鰭飾耳破片のみ
静岡23	江瀬	引佐郡細江町中川: 穴ノ谷	1987(7月)	突線鈕式	近畿IIC	29.0				細江町教育委 員会	栗原(1988)、神戸市博 (1993)	
静岡24	江壑	浜松市都田町前原VIII	1987(12月)	突線鈕2式	U滿13	67.3		埋納坑		浜松市博物館	太田他(1990)、神戸市博 (1993)	
静岡25	遠江	引佐郡細江町中川: 滝峯,才四郎谷	1989	突線鈕3式	近畿IIC	72.7		埋納坑		細江町教育委 員会	栗原・佐原(1991)	
静岡26	伊豆	田方郡大仁町田京· 段	1988	突線鈕式	近畿式					大仁町教育委 員会	静岡県 (1992)	双頭渦文飾耳破片を 垂飾品とする
静岡27	江壑	浜松市天龍川町桧東	1990	突線鈕式	近畿式					浜松市博物館	佐藤・藤谷(1991)	双頭渦文飾耳破片の み後世の土坑に混在
愛知 1	尾張	犬山市	1850以前	扁平鈕式 扁平鈕式	4 区袈裟 4 区袈裟	#533.6 #530.3					梅原 (1927)	
愛知 2	尾張	春日市神領町屋敷田	1858	突線鈕 3 式	三 遠 式					木船神社	梅原(1927)、貝殼山貝塚 資料館(1991)	
				不明						不明		
愛知 3	尾張	名古屋市瑞穂区軍水町中根	1870	突線鈕 3 式	三遠式	83.2				<b>反馬考古資料</b> 館	梅原(1941b)、辰馬(1985)、 辰馬(1988)、貝殻山貝塚 資料館(1991)	
愛知 4	尾張	小牧市北外山南屋敷	1915	外緣付鈕1式	4 区袈裟	36				外山神社	梅原(1927)、貝殼山貝塚 資料館(1991)	
愛知 5	尾張	西春日井郡朝日	1976	突線鈕式	近畿式					貝殼山貝嫁資 料館	高橋(1982)、貝殻山貝塚 資料館(1991)、愛知埋文 センター(1992)	飾耳のみ
愛知 6	尾張	西春日井郡朝日	1979	突線鈕式	近畿式					貝殼山貝塚資 料館	高橋(1982)、貝殻山貝塚 資料館(1991)、愛知埋文 センター(1992)	節耳のみ
愛知7	尾張	(伝)(愛知郡鳴海海 底)		突線鈕式	近畿式						梅原 (1927)	
愛知 8	尾張	(伝)名古屋市名古屋 城濠		突線鈕5式	近畿IVB	現106				大谷一郎	梅原(1927)、貝殼山貝塚 資料館(1991)	
愛知9	尾張	(伝)(春日井郡)		不明								
愛知10	尾張	(伝)(愛知郡)		扁平鈕式	全面1区流水文	約46	三河12				梅原 (1927)	拓本のみ
愛知11	[月]	(渥美郡村松)	098	不明							梅原 (1927)	
愛知12	[1]	豊川市御油町水戸山	1661~1672	不明							梅原 (1927)	

析	かつて美濃 I とされ たもの					産、三遠式の前		細			1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10				谷ノ口出土でないと みられる
氟	かつて	)				東海産、身		東海産							令/口出 みられる
文	後藤(1924)、梅原(1927)	梅原 (1927) 梅原 (1927)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)、貝殻山貝 塚資料館(1991)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)、貝殼山貝 塚資料館(1991)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)、東博 (1981)、貝殼山貝塚資料 館(1991)	梅原(1927)、小笠原 (1982)、蒲郡市郷土資料 館(1981)、貝殼山貝塚資 料館(1991)	梅原(1927)、森本・後藤 (1925)、東博(1981)、蒲 郡市郷土資料館(1981)、 貝殻山貝塚資料館(1991)、 神戸市博(1993)	蒲郡市郷土資料館(1981)、 貝殼山貝塚資料館(1991)	小野田(1965)、蒲郡市郷 土資料館(1981)、貝殻山 貝塚資料館(1991)	豊田市(1976)、蒲郡市郷 土資料館(1981)、貝殻山 貝塚資料館(1991)	梅原(1927)	梅原(1927)
所蔵・保管	可児郷土歴史館	4 大 是 图 第 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图 图				砾鹿神社	東博830	東博804	大頭神社	東博9984 東博9985 東埔0006	次 後 近 確 治	田原町教育委 員会	豊田市郷土資料館		
作出品															
構					e							土壙中に横たえて埋納			
蛔												土壌中ノイ堆熱			
同范関係											伝尾張4	,			
恒	111					54.5	72.7	31.1	57.5	74.3	46	92	86		
文樣	近畿IVC		<b>紅</b> 類川			6 区袈裟	三遠式	6 区级%	4 区袈裟	括	区流水文	近畿ⅢB	11		4 区袈裟
村	突線鈕5式	不明 不明	突線鈕3式	不明	不明	突線鈕 1 式	<b>%</b> % ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	突線盤13	外緣付鈕式	杂额第33 次额额第4大	入録書・2	突線鈕 4 式	突線鈕 3 式	不明 不明	外縁付鈕か扁平鈕 式
出土年	1792		1796	1789~1800	1789~1800	1831	1881	1897	1903	1924		1962	1971		
出土	渥美郡田原町神戸谷 7口	[	岡崎市洞町	幡豆郡幡豆町 (安泰 寺山)	(額田郡宮崎村)	北設樂郡設樂町田峰	豊川市平尾町源祖	西尾市小島町	豊川市千両町	全個都小坂井町伊奈松間	宝飯郡御津町広石	渥美郡田原町西神戸 堀山田	豊田市手呂町	(伝)(設楽郡小野村)	(伝)(三河国各ノロ)
旧国名	厦川		展三	原	闰	[[]	度 111	[[	定川	定山	[[]	定 [1]	戻	[[	厚[1]
県 名	愛知13		愛知14	愛知15	愛知16	愛知17	愛知18	愛知19	愛知20	愛知21	愛知22	愛知23	愛知24	愛知25	愛知26

来																	引に双頭	
靊	東海産	法藏寺旧蔵		裾部の破片			破砕銅鐸										3.6kg。区画内に双頭 渦文	
文献	梅原 (1927)	梅原(1927)、蒲郡市郷土 資料館(1981)、貝殻山貝 塚資料館(1991)	蒲郡市郷土資料館 (1981)	豊橋 市 史編纂 委員会 (1963)、蒲郡市郷土資料 館(1981)		石黒・宮腰(1990)、貝殻 山貝塚資料館(1991)、愛 知県埋文センター(1992)、 神戸市博(1993)	貝殼山貝塚資料館 (1991)	貝殼山貝塚資料館 (1981)、 大口町 (1982)		梅原(1927)、神戸市博 (1993)、斎宮歴博・三重 県埋文(1994)	梅原(1927)、東博(1981)	梅原(1927)	伊東(1928)、斎宮歴博・ 三重県埋文(1994)	梅原 (1932)	梅原(1927)、斎宮歴博・ 三重県埋文(1994)	梅原 (1927)	梅原(1927)、東博(1981)、 難 波(1991)、神戸 市 博 (1993)、斎宮歴博・三重 県埋文(1994)	梅原(1927)、東博(1981)、 神戸市博(1993)、斎宮歴 博・三重県埋文(1994)
所蔵・保管		法藏寺				愛知県埋文センター		宮川芳照		埼玉県立博物 館	東博8618		克上神社		車修寺		東博802	東博8374
世出																		
華				^														
迴						埋納坑												
同范関係																		河内3・ 淡路5・ 伝大和3
恒	約45	87.8				46.3	復元112 復元124			124	106.7		40.3		64.5	約42	39.4	39.8+
文様		代類				6 区袈裟	近畿 4 近畿 4			近畿IIIA	近畿IIIC	近畿式	6 区袈裟		横帯文・三遠式	6 区袈裟	4 区袈裟	2区流水文
松	不男不男	突線鈕 3 式不明	不明	不明	不明	扁平鈕式	突線鈕5式 突線鈕5式	不明	不明	突線鈕 4 式	突線鈕4式	突線鈕式	扁平錐式	不明不明	突線錐 4 式	扁平錐式	外緣付鈕 2 式	外縁付鈕2式
出土年						1989	1983		平安末	1863	1918		1205	$1736 \sim 1740$	$1751 \sim 1763$	1825	1879	1917
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	(伝) 北設樂郡殼樂町 段戸山	(伝)(三河国)	三河国宝飯郡音羽町赤坂	豊橋市瓜郷町字寄道 瓜郷遺跡	南設樂郡鳳来町小野	西春日井郡朝日遺跡	渥美郡渥美町伊川津椛	丹羽郡大口町余野	名張市黒田	上野市比土	名賀郡青山町柏尾字 湯舟	(伝)上野市千歳	四日市市伊坂町裏地山	四日市市大矢知町青 木山	津市野田	一志郡白山町川口	鈴鹿市磯山町	津市神戸木ノ根
田国名	戻川	反 [1]	厚川	原川	[月]	尾張	[[]		伊賀	伊賀	争質	伊賀	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢
県名	愛知27	愛知28	愛知29	愛知30	愛知31	愛知32	愛知33	愛知34	 	2 重 三	S 画 [11]	三重4	5 重三	9 重三	2 重三	8 重 11	6 画	三重10

備寿	鈕頂欠				幡片			高さ5尺5寸『扶桑 略記』	大坪正義旧蔵『聆濤 閣集古帖』添付拓本、 5.20kg		鋳掛け有	内面凸帯、3条、菱環3重、45.47kg	裾に水鳥の絵、14.31	kg 9.28kg	10.11kg	10.01kg	外緣3区画、内緣平	行凱祿、10kg		
文献		岡田(1990)、斎宮歴博・ 三重県埋文(1994)		斎宮歴博・三重県埋文 (1994)	斎宮歴博・三重県埋文 (1994)		斎宮歴博・三重県埋文 (1994)	梅原(1927)	波爾(1900)、梅原(1933)、 三本(1974)、近江風土記 の 丘 資 料 館(1981)、間 壁・間壁(1986)、野洲町 立歴史民俗資料館(1988)、 神 戸 市 博(1993)、森田		梅原(1927)、近江風土記 の丘資料館(1981)、野洲 町 立 歴 史 民 俗 資 料 館 (1988)	梅原(1927)、東博(1981)、 近江風土記の丘資料館 (1981)、野洲町立歴史民 俗資料館(1988)								
所蔵・保管	天理参考館								<b>倉敷考</b> 古館	不不不思明明明	石山寺	東博826	東博827	天理参考館	ケルン東洋美術 博物館COP36	知恩院・京都国立博物館	キンプンシ	スコ・アジア 美術館 (アベ	リー・ノフン	ション (ノョン)
伴出品																				
構										•										
펠																				
同范関係									伯耆3· 摂津 (兵庫) 7-2· 不明 6·											
高さる	現90.8			66.5			11.8cm	165	43		6.06	134.7	74.1	70.2	0.69	72.7	63.6			
文様	近畿IIA	横帯文		近畿1式		ę.		推近畿式	2 医筛水文		近畿IIIC	近畿IVB	近畿IIA	近畿IIA	近畿IIA	 近畿IIA	近畿式IIC式			
型	突線鈕3式	菱環鈕2式	不明	突線鈕2式	突線鈕式	不明	外緣付鈕 1式	推 突線鈕式	外緣付鈕 1 式	不 不 馬 島 島 島	突線鈕 4 式	突線鈕 5 式	突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕3式			
出土年		1977	戦前					899	1799		1806	1881								
出土地	(医)(伊勢国)	鈴鹿市高岡町高岡山 遺跡	(伝) (多気町)	津市高茶屋	鈴鹿市一反通遺跡	津市高茶屋	鳥羽市浦村町白浜遺 跡	大津市(志賀郡·崇福 寺)	守山市新庄町		大津市石山寺辺町	野洲郡野洲町小篠原大岩山								
旧国名	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	伊勢	料	近江	近江		近江	近江								
県 名	三重11	三重12	三重13	三重14	三重15	三重16	三重17	滋賀 1	滋賀 2		<b>该質3</b>	滋賀 4								

備寿	伊達弥助旧蔵、6.07	kg 身の区画帯斜格子紋、	7.49kg 飾耳なし	警綾杉紋、9.05kg	然 甘 子,	m + なし 下辺横帯に重弧紋、 │	12.05kg 8.63kg			録造後、鈕の飾耳を	裁断	裾まで区画突線延長	外縁が1つの紋様帯				東海産、1.18kg		0.82kg					双頭渦文飾耳のみ	『石山寺縁起』巻1	下鄉共済会旧蔵	
文献																	梅頂(1927) 東博(1981)	近江風土記の丘資料館 (1981)、野洲町立歴史民 ※※約総(1989)	万具  午路  1500	梅原(1935)、近江風土記 の丘資料館(1981)、野洲 町 立 歴 史 民 俗 資 料 館 (1988)	辰馬(1988)、神戸市博 (1993)		梅原(1927)、神田(1988)			梅原 (1927)	国立歷史民俗博物館(1995)
所蔵・保管	辰馬考古資料	館 辰馬考古資料	第 ミネアポリス	美術研究所野口忠蔵・野	俗資料館	国字院大字 MOA美術館		滋賀県教育委 員会									車 1年803		東博808	津田願成・京都大学	反馬考古資料 館			守山市教委		名古屋市博物 館	国立歷史民俗博物館
伴出品																											
遺構																								古墳時代の溝			
同范関係																					不明 5			+11			
和恒	59.6	50.8	44.4	67.2		47.5 62.5		46.0	47.2	47.5	0.50	55.2	57.7	68.5	78.7	80.6 54.2	31.5	2	22.1	12.6	32				5尺	103.5	45.0
文	近畿IIC	川瀬	近畿IIC	近畿IIC	1	6 区		6 区架裟	6 区袈裟	三遠式 非幾十 4	Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y	近畿IC	近畿IIA	近畿IIA		三遠式  公海水寸	に対対が	~ 보 보	4 区 % %	4 区级裟	2区流水文			近畿式		近畿ⅢB式	全面1区流水紋
型	突線鈕3式	突線鈕 3 式	突線鈕3式	突線鉗 3 式		突線鈕 1 式 突線鈕 2 式	H H	突線鈕1式	突線鈕1式	突線鈕2式	イク最後と	突線鈕2式	突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕3式	次線館3 大公館 4 1 4	大学育・大田州田	イッボー里	扁平錐1式	外緣付鈕 2 式	外縁付鈕式	不明	不明	突線鈕式		突線鈕 4 式	扁平鈕1式
出土年								1962									1000	1030		1933以前				1990			
田井								X									10000000000000000000000000000000000000	涌生命电工四口周同家		草津市志那町	(伝)(近江国)	愛知郡愛知村	野洲郡三上山下	守山市古高町下長遺跡	(伝)大津市石山寺	(推)(近江国)	(伝)近江国琵琶湖底
旧国名																	ř	7		近江	近江	近江	近江	近江	近江	近江	近江
県名	iller/																T 10% 400	С ( 17%)		滋賀 6	滋賀7	滋賀8	滋賀 9	滋賀10	滋賀11	滋賀12	滋賀13

県 名	旧国名	田土地	出土年	型	文様	恒	同范関係	型	構	作出品	所蔵・保管	文	葡
滋賀14	近江	(推)野洲町小篠原大 岩山	1881	突線鈕1式	6区袈裟	46.6					ウースター美 術館	繭山龍泉堂 (1966)	飾耳なし
滋賀15	近江	彦根市松原内湖		不明		5.5					滋賀県教育委 員会·安土城 考古博物館		小銅鐸、4.04kg
京都1	山城	綴喜郡八幡町式部谷	1962	突線鈕3式	近畿IIC	99					正木美術館	神戸市博(1993)	
京都 2	<b>正</b> 城	京都市右京区権ケ畑向地町	1963	外緣付鈕2式 外緣付鈕2式 外緣付鈕1式	4 N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	29.2+ 22.4 23.1+					京都府立綜合資料館	田辺・佐原(1964)、神戸 市博(1993)	復元高32.4cm
京都 3	日城	相楽郡木津町相楽山	1982	外緣付鈕 1式扁平鈕式	4 区袈裟 6 区袈裟	39.8					木津町教育委員会	奥村·松本(1982)、木津 町教委(1982)、神戸市博 (1902)	
京都 4	中放	北桑田郡北京町下弓削	1861	扁平錐式	4 区袈裟						辰馬考古資料 館	梅原 (1927)	
京都 5	中後	宮津市由良	推 江戸未	不明 不明							不明 不明	小林(1938)	
京都 6	开後	与謝郡野田川町比丘 尼城	1732	突線錐5式 不明	近畿IVC	107					梅林寺(京都 国立博物館係 管)	西岡・梅原 (1918)、梅原 (1927)	文化年間に梅林寺梵鐘改鋳に際して鋳潰し
京都7	丹後	与謝郡加悦町明石和 田	1905	扁平鈕式	全面1区流水文	45.7					京都国立博物 館	梅原(1919)、梅原(1927)、 三木 (1974)	
京都 8	安後	舞鶴市下安久匂ヶ崎	1925	突線鈕3式突線鈕3式	近畿II C 三遠式	62.4+					東博34659 東博34660	梅原(1940)、梅原・赤松 (1940)、東博(1981)	残欠
大阪1	摂津	吹田市山田上センブ	江戸後半	外緣付鈕2式	4区袈裟	45.5					幸三幸	梅原(1927)、泉北考古資 料館(1986)	紐鋸歯文は東奈良2 号鋳型に似る
大阪 2	投津	豊中市桜塚	1781~1788	外縁付鈕2式不明	2区流水文	32	讃岐12				原田神社 (大 阪市美保管) 不明	泉北考古資料館(1986)、 神戸市博(1993)	摂津東奈良R 1 鋳型製品
大阪3	接達	高槻市天神山	1952以前	突線鈕 2 式	近畿IA	60.5					東京大学教養 学部美術博物 館	泉北考古資料館(1986)、 神戸市博(1993)	
大阪4	接	箕面市如意ケ谷	1966	突線鈕3式	近畿IIB	85.5					箕面市教育委 員会・文化庁	村川(1982)、泉北考古資料館(1986)、神戸市博(1993)	
5	摂津	豊中市利倉	1970	突線鈕3式	近畿Ⅱ							豊中市教委(1976)、泉北 考古資料館(1986)	飾耳部小破片
大阪 6	接達	(伝)推 高槻市天神 山		突線鈕 4 式	近畿IIIC	109					ロサンゼルス 美術館	梅原(1927)	
大阪7	接達	(伝)大阪市大淀区長 柄	1751~1780 以前	突線鈕2式	6 区架装	53.2					ボストン美術 館	三木(1965)、西谷(1979· 1982)	

備	身下半を欠。復元高 90cm	区画内 4 頭渦文	6.8kg.		大阪10の出土地点と 約60m離れる		25kg	鉛破片。推定高53cm。 古墳時代溝中から弥 生土器などと伴出。	身の鰭破片	下端部欠		高さ4尺許	鈕上部を欠く		5 kg.,	
文献	久野(1979)、泉北考古資 料館(1986)	梅原(1927)、泉北考古資 料館(1986)、辰馬(1988)	木崎(1921)、梅原(1927)、 東博(1981)、泉北考古資 料館(1986)、神戸市博 (1993)	泉北考古資料館(1986)	森(1950)、泉北考古資料 館(1986)、神戸市博 (1993)	藤田(1963)、三木(1965)、 泉北考古資料館(1986)	笠井(1979)、泉北考古資 、 料館(1986)、羽曳野市教 委(1991)、神 戸 市 博 (1993)	泉北考古資料館 (1986)	泉北考古資料館(1986)	梅原 (1927)	梅原(1927)、泉北考古資料館(1986)、神戸市博 (1993)	梅原(1927)		三木(1970)	若林(1899)、浜田(1918)、 梅原(1927)、泉北考古資 料館(1986)、神戸市博 (1993)	梅原(1927)、辰馬(1985)、 泉北考古資料館(1986)、 神戸市博(1993)
所蔵・保管	未永雅雄	辰馬考古資料 館	東博9912		来恩寺 (大阪 市博保管)	文化方	文化庁 (羽曳野市保管)	大阪府教育委 員会	大阪府教育委 員会	反馬考古資料 館	関西大学		辰馬考古資料 館	イラク国立博 物館	京都大学1198	林昌寺
年 田 出																
構																
펠																
同笵関係			淡路5. 伝大和3. ・伊勢6												摂津7-2	
自多	22+	49	44.3	約39	39	20.5 20.5 26.5	89.5			72.4+	42.3			41.5	43.4	38.4
文樣	近畿IIIC	4 区袈裟	2区流水文	6 区装装	6 区袈裟。	A A B A X X X X X X X X X X X X X X X X	近畿IIIB	4 区袈裟?		近畿ⅡB	6 区级 4 区级 3 条线		6 区袈裟	6 区袈裟	2区流水文	4 区袈裟
型	突線鈕 4 式	扁平鈕式	外緣付鈕 2 式	扁平鈕式	扁平錐式	扁平盤式 扁平鈕式 扁平鈕式	突線鈕 4 式	扁平鈕式	突線鈕3~5式	突線鈕3式	扁平鈕式扁平鈕式	不明	扁平錐式	扁平鈕式	外縁付鈕 1式	扁平錐式
出土年	江戸時代?			1932	1949	1963	1978	1978	1981						1982	1903
田田	羽曳野市羽曳野山	南河内郡太子町山田 鹿谷寺跡	八尾市恩智垣内山	南河内郡太子町太子	八尾市恩智都嫁山	門真市門真大和田	羽曳野市西浦西浦小学校校庭西	八尾市亀井	八尾市亀井	(伝)柏原市玉手町	(伝)四条畷市	河南町	南河内郡太子町山田	南河内郡太子町磯長	岸和田市神於町	泉南市信達
旧国名	区区	区区	<b>万</b>	河内	河内	瓦瓦	石河	<b>石</b> 原	区区	区区	河区	河内	区区	区石	和泉	和泉
県名	大阪8	大阪 9	大阪10	大阪11	大阪12	大阪13	大阪14	大阪15	大阪16	大阪17	大阪18 大阪18	大阪19	大阪20	大阪21	大阪22	大阪23

備				鈕欠。復元高21~22 cm	身部小破片。突線なし	身部小破片。突線あ り				伝河内出土銅鐸とさ れてきたもの	弥生中期~終末期の 埋納坑より銅鏃・土 器と伴出	弥生中期~古墳前期 の埋納坑。河道の岸 に掘られたものか。	再埋納か?	伝和泉I・伝越前I と酷似	1 個体分? 破片117個約8 kg	古図現存。18kg
華	島田(1928)、泉北考古資料館(1986)、神戸市博(1993)	梅原(1941)、泉北考古資 料館(1986)		森(1973)、泉北考古資料 鈕 館(1986)、神戸市博 cm (1993)	石神(1977)、泉北考古資 身 料館(1986)	石神(1977)、泉北考古資 身 料館(1986) 別	吉井(1919)、梅原(1927)、 泉北考古資料館(1986)、 神戸市병(1993)	梅原 (1927)	泉北考古資料館(1986)	伝れ	八尾市教委(1989)、八尾 弥 市文化財調査研究会 埋 (1991)、神戸市博(1993) 器	神戸市博(1993)、大阪府 埋蔵文化財協会(1994) の に	梅原(1927)、三木(1974)、再 東博(1981)、井上(1982)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)、神 戸市博(1993)	放か	池田(1978)、加賀見 1 (1982)、種定(1990)、兵 個庫県史編集専門委員会 (1992)	梅原(1927)、種定(1990) 古
所蔵・保管	堺市博物館 島 料 (1	(京都大学) 梅   梅		大阪市博 籍 6	大阪府教育委     石       員会     料	大阪府教育委         石           貝会         料	平泉平右衛門     吉       (大阪市美保 泉管)     神	推		藤井永観文 庫·京博	八尾市歴史民   八 俗資料館   市   (1	大阪府文化財 神調査研究セン 理ター	東南 1123	東博7125	文化庁・日高 港 町教委 (1 庫 (1)	不明
伴出品										,						
構																
運											埋納坑	埋納坑				
同笵関係							但馬1-4									
恒	44	86.5	32	16+			44.7			42.0	46.6	<b>約</b> 22	45.9 45.2 44.3	44.5+	100+	115.1
文樣	6 区袈裟	近畿ⅢB	4 区袈裟	4 区袈裟			3 区流水文			6 区架梁	1区流水文	4 区袈裟	2 区流水文 2 区流水文 2 区流水文 数据 A 区端水子	3 区流水文		推近畿式
私	扁平館內	突線鈕 4 式	外緣付鈕2式	扁平鈕式	突線鈕式	突線鈕式	外緣付鈕2式	不明	不明	扁平鈕式	扁平錐式(古)	扁平鈕式(古)	外祿付館 2 式外祿付館 2 式外緣付館 2 过外緣付館 2 过外缘存留 1 过	外緣付鈕 2 式	突線鈕 5 式	推 突線鈕式
出土年	1928	1938	1956		1975	1975				1764~1772	1989	1993	1912		1978	821
出土格	堺市浜寺昭和町	堺市菱木	岸和田市流木町		和泉市池上	和泉市池上	(伝)堺市(泉北郡陶 器村)	(伝)堺市(泉北郡鳳 村家原付近)	(伝) 貝塚市 (泉南郡 貝塚町付近)	大阪市平野区平野町	八尾市春日町1丁目 跡部遺跡	堺市下田下田遺跡	豊岡市気比字溝谷		城崎郡日高町久田谷 字タカボコ	(播磨国)
旧匿名	和泉	和泉	和泉		和泉	和泉	和泉	和泉	和泉	区区	<b>河</b>	和泉	但馬		但馬	播磨
県名	大阪24	大阪25	大阪26		大阪27	大阪28	大阪29	大阪30	大阪31	大阪32	大阪33	大阪34	兵庫1		兵庫2	兵庫3

備寿	古図現存	. 古図現存。17.81kg	. 岡崎忠雄旧蔵。3.64 kg	2.66kg				鈕破片、現存18.6cm		8個出土という説あ : ŋ	隆泉寺は本興寺の末 寺	古図現存	
文	梅原(1927)、種定(1990)	島田(1925)、権原(1927)、 置田(1971)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)	太田(1928)、梅原(1927)、 森本(1930)、春成(1984)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)	直 良(1928a)、辰 馬 (1988)、種定(1990)、兵 庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)	梅原(1927)、直良(1928 b)、上田・河原(1966)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)	直良(1929)、島田(1929)、 東博(1981)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)	赤松·三木(1969)、種定 (1990)、兵庫県史編集専 門委員会(1992)、神戸市 博(1993)	種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)	種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)、神 戸市博(1993)	梅原 (1927)、淡路文化資 料館 (1987)、種定 (1990)、 兵庫県央編集専門委員会 (1992)	梅原(1927)、春成(1982)、 淡路文化資料館(1987)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)	梅原(1927)、種定(1990)	梅原 (1927)、淡路文化資 料館 (1987)、種定 (1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)
所蔵・保管	不明	メトロポリタン美術館	<b>然</b>	辰馬考古資料 館	多木燐太郎	東博20925	文化庁 (山崎 町教育委員会 保管)	千種町教育委 員会	大阪市立博物 館	日 光 思 一 一 一 一 一 一	隆泉寺		慶野組
伴出品							,			ээ 1			
構													
車													
同范関係													伝淡路 8
恒	約100	<b>*</b> 5110.5	35.5	42.6	42.5	50.1	31.7	(100+)	58.7	22.5	24.2	約45	33
文様	近畿IIIC?	近畿IIIC?	2区横带	6 区装装	6 区装装	6 区架谈	4 区级谈		6 区袈裟	4 区 突 %	2 区横帯	6 区架装	4 区装装
型	突線鈕4式?	突線鈕 4 式 ?	菱環鈕 2 式	扁平鈕式	扁平錐式	扁平鈕式	扁平錐式	突線鈕式	扁平鈕式	外緣付館 1 式 不明 不明	菱環鈕 1 式	扁平鈕式	外緣付鈕 1 式
出土年	1790	1814	$1886 \% 1892$ $\sim 93$	1908	1924~1925	1928	1960	1980		1686	1688~1703	1802	江戸末
出土地	<b>宍粟郡山崎町須賀沢</b>	佐用郡三日月町本郷	<b>飾磨郡夢前町神種字</b> 西川	<b>宍栗郡一宮町閨賀</b>	加古川市八幡町上西条字東沢	种戸市垂水区舞子坂 3丁目	失栗郡山崎町青木字 中井小谷	宍栗郡千種町岩野辺 字穴尾	(伝)播磨国	三原郡西淡町慶野中/御堂	洲本市中川原町清水二ツ石	三原郡綠町広田中条	三原都西淡町慶野
旧国名	播磨	羅	裲	蕃	羅	播	縮	播磨	播磨	然	淡路	淡路	淡路
県 名	兵庫4	兵庫 5	兵庫 6	兵庫 7	兵庫 8	兵庫 9	兵庫10	兵庫11	兵庫12	兵庫13	兵庫14	兵庫15	兵庫16

米						木葉文あり。旧三宅 巷平蔵。東海産。堅 磐草」記載の銅鐸か		袈裟欅交叉部に木葉 文。東海産?洲本川 最上流部で出土か			<b>大破</b>	加茂遺跡に近接	
難							鈕を欠損	袈裟棒3 文。東湘 最上流語			戦災で大破		
兼	東博(1981)、淡路文化資 料館(1987)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)	種定 (1990)	種定 (1990)	種定(1990)	種定 (1990)	直良(1927)、淡路文化资 料館(1987)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市병(1993)	直良(1927)、鍛冶(1932)、 淡路文化資料館(1987)、 辰馬(1988)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)	淡路文化資料館(1987)、 辰馬(1988)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)	高井・田辺(1979)、淡路 文化資料館(1987)、種定 (1990)、兵庫県史編集専 門委員会(1992)、神戸市 博(1993)	辰馬(1978)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)	梅原(1927)、直良(1928)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)、神 戸市博(1993)	梅原(1927)、東博(1981)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)、神 戸市博(1993)	笠井(1933)、椿原(1934)、 東博(1981)、種定(1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)
×	東博 料館 兵庫! (1992	種定	種定	種定	種定	直良 料館 兵庫! (1992			高井・田 文化資料 (1990)、 門委員会 博(1993)		春	種類 種定 用車 門市計	签井( 東博) 兵庫] (1992
所蔵・保管	東博37162					本興寺	<b>反馬考古資料</b> 館	辰馬考古資料 館	児島岩古	大阪城天守閣	前田源兵衛	東博6152	東博23713
年出串											士師器壺が 共伴と伝え られる		
華													
擅													
同笵関係	河内3· 伝大和3 ・伊勢4								淡路 4				
恒	44.5					45.2	身37.3	46.9	32.5	63	41.5	107.6	47.9
榛	2 区袈裟					区流水文	2 医流水文	6 区袈裟	区架袋	Н	6 区袈裟	近畿IVB	4 区袈裟
X	2 🗵					2 X	2 🗵	8 N	<u>4</u>		N 9	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 X
社	外緣付鈕2式	不明	不明	不明	不明	外緣付鈕 2 式	突線鈕 1 式	扁平鈕式	1936より数十 外縁付鈕1式年前	突線鈕2式	扁平盤式	突線鈕 5 式	上 田 土 田 土 田 土 田 土 田 土 田 土 田 土 田 土 田 土 田
出土年	1959								1936より数十 年前	1818~1829	1880	1911	1934
出用	三原郡綠町倭文庄田笹尾	(伝)三原郡南淡町 (北阿万村新田南組 末ケ池)	(伝)三原郡南淡町賀 集福井大日寺付近	(伝)三原郡三原町神 代地頭方	(伝)三原郡三原町榎 列上幡多岩淵	(伝)津名郡一宮町井崎(淡路国)	(伝) (淡路国)	(伝)(淡路国·淡路 川)洲本市	(伝) 三原郡西淡町慶野上ノ御堂	川西市満願寺	西宮市津門稲荷町	川西市加茂1丁目	神戸市東羅区住吉町 渦森台 1丁目
旧匿名	淡路	淡路	淡路	淡路	淡路	淡路	淡路	淡路	淡路	接津	接達	類	華
県名	兵庫17	兵庫18	兵庫19	兵庫20	兵庫21	兵庫22	兵庫23	兵庫24	兵庫25	兵庫26	兵庫27	兵庫28	兵庫29

奉									
備		内突帯 2 条			画 画		3対の双耳		復元高21.6cm
献	梅原(1941)、 辰馬(1987)、 種定(1990)、 兵庫県史編 集専門委員会(1992)	藤井・田代・島田(1976)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)、神 戸市博(1993)	赤松・三木(1969)、東博 (1981)、種定(1990)、兵 庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)	赤松・三木(1969)、種定 (1990)、兵庫県史編集専 門 委員会(1992)、森田 (1994)	1	村川(1965)、赤松・三木 (1969)、種定(1990)、兵 庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)	梅原 (1927)、種定 (1990)、 兵庫県史編集専門委員会 (1992)	藤井・田代・島田(1976)、 種定(1990)、兵庫県史編 集専門委員会(1992)	村川(1982)、春日町教委 (1990)、種定(1990)、兵庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)
¥	梅原(1941)、 種定(1990)、 集専門委員会	藤井・田代・種定(1990)、 種定(1990)、 集専門委員会 戸市博(1993)	赤松・三7 (1981)、春 庫県史編 (1992)、神	赤松・三ヶ (1990)、リ 門 委員 会 (1994)		村川(1968 (1969)、利 庫県史編 (1992)、	梅原(1927)、 兵庫県史編集 (1992)	藤井・田/ 種定(1990 集専門委	村川(1985 (1990)、7 庫県東編 (1992)、7
所蔵・保管	<b>辰馬考古資料</b> 館	高岡移	東博37161	神戸市立博物 館		文化方→国立 歷史民俗博物 館	親王寺		春日町歷史民俗資料館
出出				太74					
構									±
剽									埋納擴中
同范関係			伝讃岐 4	伯耆3. 近江2-1 ·和泉1	日 曜 4			摂津 9 · 不明23	
恒	20.9	42.6	33.0	42.9	42.4 44.5 44.5 42.0 39.2 63.7 41.9 42.2 42.9 42.9 42.8 42.8 42.8 45.3 31.4 45.3	53.2	45.3	41.3	20.8
大様	4 区 % %	4 区 % 4 区 % 5	2 区装袋	2区流水文	7 2 7 4 4 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	6 区袈裟	2区流水文	4 区袈裟	4 区 架 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 袋 S A E E E E E E E E E E E E E E E E E E
型	外緣付鈕1式	外緣付鈕1式外線付鈕1式	外緣付鈕 2 式	外緣付絕 1 式	外緣存盤1以 兩個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個個	国 不	外緣付鈕2式	外緣付鈕1式	外緣付鈕2式扁平鈕3
出土年	1937	1942	1958	1964		1964	1706	1958	1981
出出格	伊丹市大阪国際空港	宝塚市中山荘園11- 28	种戸市東灘区森北町 6 丁目	神戸市灘区桜ヶ丘町 (通称神岡)		神戸市東灘区本山北町4丁目	(伝) 芦屋市楠町堂 / 上	(伝)神戸市灘区大月 山	氷上都春日町野上野字野々間233
旧国名	接達	操	接津	操		養	提達	接津	丹波
県	兵庫30	兵庫31	兵庫32	兵庫33		兵庫34	兵庫35	兵庫36	兵庫37

備	片側鰭部下端のみ断 片		直良論文に触れられ るのみ、現存せず		鈕の鰭部分のみ。複 合鋸歯文	関保之助旧蔵。秋篠 4号鐸とよぶ	奈良5と約15m離れ て出土	奈良4と約15m離れ て出土。A・B面で 文様異なる。不明15 に酷似	奈良3 (秋篠4号) と約25m離れて出土			A・B面で文様異なる。多鈕細文鏡伴出	突線鈕1式の直前		飾耳のみ		山川七左衛門旧蔵	
大	兵庫県史編集専門委員会 (1992)、神戸市博(1993)	丹治・須藤(1989)、神戸 市 教 委(1989)、種 定 (1990)、兵庫県史編集委 員 会(1992)、神 戸 市 (1993)	種定(1990)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	梅原(1927)、東博(1981)、 春成(1984)、神戸市博 (1993)	梅原・小泉(1923)、梅原 (1927)、神戸市博(1993)	梅原・小泉(1923)、梅原 (1927)、難波(1991)	梅原(1927)、東博(1981)、 神戸市博(1993)		梅原(1927)	梅原(1927)、東博(1981)、 神戸市博(1993)	小島(1965)、天理市 (1976)	小島・伊達(1963)、神戸 市博(1993)	石野 (1972)	神戸市博(1993)		
所蔵・保管	豊岡市郷土資 料館	神戸市教育委員会	井田仁吉か	不明	静岡八幡宮· 登呂博物館	東博37019	宮内庁	宫内庁	東博807	東博805 東博806		東博8666		奈良国立博物 館	橿原考古学研 究所	逸翁美術館		戸尾正雄
作出品															弥生後期末 ~前期初頭 土器の包含 層			
華																		
靊																		
同范関係														(伝)阿波 2と同箔				淡路5・ 河内3・ 伊勢4と 同箔
恒恒		18.1		約90	29.6	21.7	09	57	22.2	21.2	42	23.0	41.8	43.5		33.3	33	約44.5
文		4 区袈裟		推 近畿IIIかIV	4 区袈裟	4 区袈裟	2区流水文	2区·全面1区 流水文	4 区袈裟	4 区袈裟 4 区袈裟?	6区袈裟	2 区横帯・流水 文	6 区袈裟	2区流水文	近畿ⅡかⅢ式	6区袈裟	2 区流水文	2区流水文
型	突線鈕2式	扁平鈕式	不明	推突線鈕式	外緣付鈕1式	外緣付鈕 1 式	突線鈕1式	突線鈕 1式	扁平鈕式	扁平鈕式 外緣付鈕1式	扁平鈕式	外緣付鈕2式	扁平鈕式	外緣付鈕2式	突線鈕3か4式	扁平錐式	外緣付鈕2式	外緣付鈕 2 式
出土年	1991		不明	713	1804~	1867以前	1883	1884	1889			1918	1937	1960 ?	1972			
出土地	豊岡市九日市上町女 代	神戸市東羅区本山南町8丁目	加東郡滝野町高岡	字陀郡	北葛城郡上牧町高井	奈良市秋篠町	天理市石上町(1号)	天理市石上町(2号)	奈良市秋篠町		五条市火打町	御所市名柄	奈良市竹之内町庵治 山	奈良市山町早田	桜井市纏向	(伝)天理市櫟本町高 瀬川	(伝) (大和国)	(伝)(大和国)
旧国名	但馬	接	播磨	大和	大和	大和	大和	大和	大和		大和	大和	大和	大和	大和	大和	大和	大和
県名	兵庫38	兵庫39	兵庫40	奈良1	奈良2	奈良3	奈良 4	<b>奈良5</b>	奈良6		奈良7	奈良8	奈良9	奈良10	奈良11	奈良12	奈良13	奈良14

III 4	旧国名	4 年	五十年	节	女様	相	同筑関係	轀	構	4 田 田	所藏·保管	文	備
	大者	(大和国)		松	然						京都大学3038	梅原(1927)、神戸市博 (1993)	0.62kg
奈良16	大者	(伝) (大和国)		不明	流水文	33						梅原(1927)	山川七左衛門旧巌
奈良17	大和	桜井市大福	1985	突線鈕1式	級			方形周溝墓の溝 の内側	意			桜井市教委(1987)、神戸 市博(1993)	
奈良18	大和	平群町初香山		外緣付鈕2式	4 区袈裟	21.8					橿原考古学研 究所	神戸市博(1993)	
和歌山1	紀伊	(伝)那賀郡粉河町粉 河	推 819									梅原 (1927)	粉河寺銅鐸
和歌山2	紀伊	(伝)西牟婁郡上富田 町岩崎	1848~1853	突線鈕5式	近畿IVC	約120					大英博 1号か	和歌山県史編纂委員会(1983)	大英博3号 (扁平鈕 6 区袈裟)の可能性 8 有。朝来 (岩崎) 銅鐸
和歌山3	紀伊	日高郡南部川村西本 庄	1859	突線鈕 3 式	近畿IIC	身49.4					東京大学人類 学教室	梅原 (1927)	玉銅鐸
和歌山4	紀伊	有田市千田	1877	扁平錐式	6 区级%	43.7					酒井淳三	梅原 (1927)	千田 (野井) 銅鐸 13.2kg
和歌山 5	中	田辺市秋津町	1889?	※養盤3~5以	还幾Ⅱ~Ⅳ							梅原 (1927)、島田 (1994)	岩倉山 (矢田ケ谷) 銅鐸。双頭渦文飾耳 破 片 (径6.1㎝) 残 布。大英博1号とす る説や別の高さ約76 ㎝の中型鐸とする説 がある。
和歌山6	紀伊	有田市山地	1889~1890	外緣付鈕式?	横带?	<b>*</b> 527			響	銅舌	不明	梅原(1927)、春成(1984)	山地 (上/段) 銅鐸 近くから大阪湾型銅 支5出土
和歌山7	紀伊	和歌山市吉里	1822	扁平鈕式	6区袈裟	59.7					大英博2号	梅原(1927)、羯磨(1955)	古里銅鐸
和歌山8	紀伊	御坊市湯川町小松原	1939 ?	外緣付鈕1式	2区横带?	21+					和歌山県教育 委員会	森(1937)、梅原(1937)	もと野口出土と誤認。 小松原銅鐸
和歌山9	紀伊	日高郡南部川村西本 庄	1917 (1912?)	突線鈕5式	近畿IVB	100.0					東博7127	梅原(1927)、東博(1981)、 神戸市博(1993)	
和歌山10	紀伊	日高郡南部川村西本 庄	1920	突線鈕 4 式	近畿IIIC	113.6					東博8983	梅原(1927)、東博(1981)	
和歌山11	紀伊	<b>日高郡日高町荆木</b>	1923	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	近畿II C	82.2					東博9903	梅原(1927)、東博(1981)	向山 (邦木) 1 歩鋼 鑼。11kg 1 号と 2 号は鰡を立てて互い に 並べて出土したと メカる。
				突線鈕3式	近畿IIC	84.5+					東博9904		られています。 向山 (利木) 2号銅 鐸。鈕頂飾耳破損
和歌山12	紀伊	日高郡南部町東岩代	1926~	不明								- 1	
和歌山13	紀伊	日高郡南部川村晚稲晩	1930	突線鈕2式	近畿1B	67.5					東博20786	島田(1930)、東博(1981)	常楽(晩稲)銅鐸、15.5kg

1982   1982   1982   1982   1982   1983   1984   1983   1984   1983   1984   1983   1984   1983   1984   1983   1984	旧国名	田 田 田	出土年	本	文	恒	同范関係	剩	構	# 出 品	所蔵・保管	(大)		
1937   開子館式   4 区製炭   22.2   東球31.5   東球31.5	有田市	5新堂石井谷	1932	扁平錐式	6 区袈裟	41.4					東博21476-1	高橋(1933)、勝田(1933)、 東博(1981)	新堂 (大峯) 2号銅   鐸	
1937   編予組表   4 区架接   15.5 +				扁平鈕式	4 区袈裟	31.8				-	東博21476-2			
1944	御坊	市場川町丸山	1937	順平盤式	4 区级袋	22.2					東博34327		亀山 (朝日谷) 1号 銅鐸、1号鐸と3号 鐸が並び、その上に 2号鐸を置いた状況	
1944   屋平銀式   4 区突接   15.5 +				扁平餾以	4 区袈裟	16.4+					東博34328		で出土したとされる。 亀山(朝日谷)2号 編織	
## 1944				扁平盤式	4 区袈裟	15.5+					東博34329		(朝日谷)	
1940   届平独式   4区投资   46.1	四四	5郡南部川村晚稲	1944	扁平錐式	4区袈裟	22+					和歌山県教委	羯磨(1955)	下の尾銅鐸	
指         1950         突線艇2式         近畿11         参60         衛星 (1953)         神戸市樽 (大地麻解釋 (1953)         本月市	H	2市中芳養	1940	扁平鈕式	4 区袈裟	46.1					東博35565	羯磨(1955)、東博(1981)	平ケ峯(ヒロサ、林) 銅鐸、鰭を立てて埋	
1957         突線組 式         近畿IIBかC         約60         熊野遠玉神社         銀行957)、横田(1984)         経場遺物と混合           1959         扁平組式         6 反袈裟         46.5         有限         有知(1982)         有由(1982)         有由(1992)         有由(1992)         有由(1992)         有由(1992)         有由(1992)         有由(1992)         有品(401)	1011	岛郡南部川村晚稲	1950	突線鈕2式	近畿1	約60					奈良国立博物 館	神戸市	//	
1950         扁平鏈式         6 区契袋         46.5         新館里立物館         新館里立物館         有格額線           1960         突線鍾4式         近畿IIC         88+         新地市地市教育         森1974、前田(1963)         却7川(砂山)           1965         扁平鏈式         全面1区流水之         44.6         新歌山市教育         本[1971         科線付組1式         4区契袋         29.9         希腊片岩製         和歌山市教育         在[1970]、神戸市積         3.61ks, 有本線           1971         外線付組1式         4区契袋         29.9         春間1762         本[1970]         神戸市積         1.993)         加口化编簿           2 1762         2 終鏈五式         近畿IIC式         110.6         電路         東日本韓         村市市積         4.043)         銀港(直成本)           2 <td <td="" <td<="" td=""><td>新</td><td><b>宮市新宮</b></td><td>1957</td><td>突線鈕 4 式</td><td>近畿IIIBかC</td><td>約60</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>熊野速玉神社</td><td>巽 (1957)、横田 (1984)</td><td>経塚遺物と混在、神 倉山(権現山)銅鐸</td></td>	<td>新</td> <td><b>宮市新宮</b></td> <td>1957</td> <td>突線鈕 4 式</td> <td>近畿IIIBかC</td> <td>約60</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>熊野速玉神社</td> <td>巽 (1957)、横田 (1984)</td> <td>経塚遺物と混在、神 倉山(権現山)銅鐸</td>	新	<b>宮市新宮</b>	1957	突線鈕 4 式	近畿IIIBかC	約60					熊野速玉神社	巽 (1957)、横田 (1984)	経塚遺物と混在、神 倉山(権現山)銅鐸
1960         突線鈕4式         近畿間C         8+         和歌山市教育         森(1974)、前田(1995)           1965         扁平鈕式         全面1区流水之         44.6         有限小市教育         有限小市教育         在以7070、神戸市均           1971         外線付鈕1式         4区要姿         29.9         有品片岩製         有品片岩製         有限小田和(1968)、神戸市均           1976         突線鈕4式         近畿ILC式         109         有品片岩製         有限小田和(1968)、神戸市均           20.9         加速ILC式         109         有限小田和(1968)、神戸市均         有限(1970)、神戸市均           20.9         加速ILC式         109         加速         自会会員会         特度(1927)、神戸市均           20.9         加速         10.6         加速         加速         地域(1927)         地域(1927)           20.9         加速         10.6         加速         地域(1927)         地域(1927)         地域(1927)           20.9         加速         18.9         大級銀         4 区架装         25.9         原馬寺上資料         原馬寺上資料         展開         財産           20.9         加速         18.9         大級組         18.9         大田         大田 <td>重</td> <td><b>火山市弘西</b></td> <td>1959</td> <td>扁平錐式</td> <td>6 区袈裟</td> <td>46.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>京都国立博物館</td> <td>田中(1962)</td> <td>橘谷銅鐸</td>	重	<b>火山市弘西</b>	1959	扁平錐式	6 区袈裟	46.5					京都国立博物館	田中(1962)	橘谷銅鐸	
1965         扁平鈕式         全面1区流水之         44.6         有關小山市教育         在原・町田(1968)、神戸市博香具会         有助歌山市教育         在原・町田(1968)、神戸市博香具会         有助歌山市教育         在原・町田(1968)、神戸市博石市博工会具会         1976         交線組 4式         109         有品片岩製 和歌山市教育         在原 (1970)、神戸市博石市博工会具会         1976         交線組 4式         109         有品片岩製 和歌山市教育         本(1970)、神戸市博石市博工会具会         100         有限(1993)         用辺市教育会 神戸市博(1993)、相辺市 高度成子         本(1970)、神戸市博(1993)、相辺市 高度成子         本(1970)         本(1970) <td>量</td> <td>歌山市田井ノ瀬</td> <td>1960</td> <td>突線鈕 4 式</td> <td>近畿IIIC</td> <td>+88</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>和歌山市教育 委員会</td> <td>森(1974)、前田(1995)</td> <td>紀ノ川(砂山)銅鐸</td>	量	歌山市田井ノ瀬	1960	突線鈕 4 式	近畿IIIC	+88					和歌山市教育 委員会	森(1974)、前田(1995)	紀ノ川(砂山)銅鐸	
1971     外縁付鈕1式     4区袈裟     29.9     結晶片岩製 和歌山市教育 森(1970)、神戸市 博	星	歌山市有本	1965	<b>长</b> 最 十 世	全面1区流水文	44.6					和歌山市教育 委員会	佐原・町田(1968)、神戸 市博(1993)		
2976     突線鈕 式     近畿IIC式     109     田辺市教育委 相戸市博(1993)、田辺市 自会 数委(1994)       第 1762 ?     突線鈕 式     近畿IIC式     110.6     衛原(1927)       第 1762 ?     無野班武本 (1994)     第 (1994)       第 1762 ?     無野班本 (1997)     第 (1997)       第 1762 ?     第 (1997)     第 (1997)       第 1897      25.9     原馬考古資料 (1988)、和歌山県史 館 (1983)       第 1897      突線鈕 式     57.9     原馬考古資料 (1927)       第 7 明     不明     本 (1927)	<b></b>	歌山市黒田	1971	外緣付鈕1式	4 区袈裟	29.9				結晶片岩製 舌	和歌山市教育 委員会	本	太田黒田銅鐸	
2 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	H	辺市秋津	1976	突線鈕 4 式	近畿IIIC式	109					田辺市教育委 貝会	神戸市博(1993)、田辺市 教委(1994)	山田代銅鐸	
面平鈕式     4区袈裟     42.4     漢野氏       面平鈕式     6区袈裟     42.4     版用氏       西     扁平鈕式     4 区袈裟     25.9     版用氏       所     原用子並     版局(1988)、和歌山県史       前     不明     原馬考古資料     原馬(1988)、和歌山県史       (1983)     企業組4式     近畿川Aか     97.9     原馬考古資料     権原(1927)       (2017)     本明     本明     株原(1927)		<u></u>	1762?	突線鈕5式	近畿IVC	110.6					道成寺	梅原(1927)	鐘卷(道成寺)銅鐸	
画子組式     6 区架装     42.4     成田氏       西     扁平組式     6 区架装     43.9     版田氏       西     扁平組式     4 区架装     25.9     原馬考古資料     原馬考古資料     原馬(1988)、和歌山県史 備築委員会(1983)       計     1897     突線鈕4式     近畿川Aか     97.9     原馬考古資料     梅原(1927)       ※     不明     梅原(1927)	<u>z</u> ))	3)紀伊国		扁平錐式	4 区袈裟						熊野速玉神社			
西 扁平鈕式     6 区架装     43.9     阪田氏       西 扁平鈕式     4 区架装     25.9     底馬考古資料     底馬考古資料     底馬第查員会(1983)、和歌山県史 館       計     1897     突線鈕4式     近畿IIIAか     97.9     原馬考古資料     梅原(1927)       ※     不明     梅原(1927)	<u>z</u> y)	会) 日高郡		扁平鈕式	6 区袈裟	42.4					浅野氏			
西 扁平鈕式       4 区袈裟       25.9       原馬考古資料       原馬(1988)、和歌山県史館         1       1897       突線鈕4式       近畿IIIAか       97.9       原馬考古資料       権原(1927)         ※       不明       梅原(1927)	<u>(†</u>	()日高郡		扁平鈕式	6 区袈裟	43.9					阪田氏			
計 1897 突線鈕 4式     近畿III Aか     97.9     反馬考古資料     権原(1927)       ※     不明     権原(1927)	6 争	\$)(推紀伊国)推西 婁郡白浜町		扁平鈕式	4 区袈裟	25.9					<b>质馬考古資料</b> 館	辰馬 (1988)、和歌山県史 編纂委員会 (1983)	中2号銅鐸と呼ばれる。同地点より別の 銅鐸 (中2号銅鐸) も出土したとされる。	
※         不明         梅原(1927)	頹	)(日高郡日高村)	1897	突線鈕4式	近畿ⅢAか	67.6					辰馬考古資料 館	梅原(1927)		
	田田	2婁郡上富田町※ 終付近		不明								梅原(1927)	田熊銅鐸、現高6.8cm の小破片	

				BHS4	Ruli				1		Т		<u>y</u>	~			š				
析				1) 銅鐸	原)銅鐸					+1		古墳時代集落址から 出土	E似。水				概念図のみ現存。古美術商が 京都で購入したともいう。				
			銅鐸	中/谷 (元町)	(芳養松原)					2m離れて出土		代集落	邪視文鐸と近似。 鳥の絵	(伝)鳥取6はこの1 鐸 する説あり。鈕を欠く			概念図のみ現存。古美術商 京都で購入したともいう。				
無			字田森銅鐸	中/	下芳養					2 m 響		古墳時 出土	邪視文 鳥の絵	(伝)鳥J する説			概念図の京都で購				
華			(3661			員会	(683)	1933)	)、東博	甲製 (33)		(1982),	春成 1993)						1974)	車半	巻
			前田(1995)	994)		編纂委	倉光(:	直良(1929)・倉光(1933)	倉 光(1933)、梅 原(1933a)、東 慔 (1981)、神戸市博(1993)、森田(1994)	谷田(1956)、名越・甲斐 (1973 b)、竹宮(1993)		長瀬高浜遺跡調査事務所(1 鳥取県教育文化財団(1983)	辰馬(1985・1988)、春成 (1989)、神戸市博(1993)	(0961				1933a)	三木(1974)	三木(1974)、神戸市博 (1993)	三末(1974)、鳥取県教委(1990)
		927)	995)、	教委(1	927)	県史#	924),	929)	33)、梅 房 阿市博(1)	956)、 o )、竹		:遺跡調2 (育文化)	985・1 神戸	鳥取県教委(1960)			927)	927 • 1	927)、	1974)、	974)、
×		梅原 (1927)	三木(1995).	田辺市教委(1994)	梅原 (1927)	和歌山県史編纂委員 (1983)	梅原(1924)、倉光(1933)	直良(1	倉 光(1933)、梅 原(1933a)、東 博 (1981)、神戸市博(1993)、森田(1994)	谷田(1 (1973]		長瀬高浜遺跡調査事務所(1982)、 鳥取県教育文化財団(1983)	辰馬(1 (1989)	鳥取県			梅原 (1927)	梅原 (1927・1933a)	梅原(1927)、	<u>≡</u> *(1	三木(1 (1990)
・保管		博物			歳か	美術	・京物館		12		物館	为	資料			博物		博物		博物	中
所蔵・		東京国立博物 館			中山氏所蔵か	熱海救世美術 館所蔵	高津義家・京 都国立博物館	焼失	東博22202	足羽弘研	倉吉市博物館	羽合町歴史民 俗資料館	辰馬考古資料 館			鳥取県立博物 館		鳥取県立博物 館	森本節夫	京都国立博物 館	鳥取県立博物 館
品用		単温			<u>+</u>		恒雜	一一一一		出	包					自		自	茶		電 組
丑								上師器?	銅舌2本												
<b> </b>								#	シー												
華																					
擅																					
同范関係									摂津7-1											摂津7-3	((反) 古野 編 編 ((反) 古野 編 編 (大理 編 参 考 館) 音 所 原 音
同									接簿							9				接續	
恒		100.6		約47	22 +	62	約30	<i>*</i> 530	42.7	30.4	44.3	8.8	19.7			身22.6	約70	44.1	40.5	43.3	(現存43.5)
耧												銀に							[水文	1,	
		近畿IVC					4 区袈裟	区袈裟	2区流水文	4区袈裟	6 区袈裟	身は無文、 過文	2区横带			4 区袈裟	6 区袈裟	4区袈裟	全面1区流水文	区消水文	2 区流水文
*		近畿			粉終		<u>4</u>	<u>4</u>	2	4 X	9	一場は				4 X	M 9	4 X	全面	2 🗵	2
私									村	村		村	式 (福				柘	村		村	ব
型		雖5式	鈕2式				扁平餾式	扁平餾式	外緣付鈕 1 式	外緣付鈕2式	扁平鈕式	外緣付鈕1式	外緣付鈕1式 田型)			扁平鈕式	突線鈕式	外緣付鈕2式	扁平鈕式	外緣付鈕2式	外緣付鈕 2 式
	不明	突線鈕	突線鈕	不明	不明	不明	十二	上世	外緣		画	<b>本</b>	A 田 歴		一个明	圖	推	外緣	世世	外線	<b>本</b>
土 年			1961?	1809	$\sim 1916$		1901	$(1904 \sim 1905?)$	1933	(19472)		1981		1872	1872		1795以前	1912	1922	1952	1959~60
丑			19(	18	1915		i	(19)	i i	(19		===		7	Ĩ		179	-	1	Ä	195
型	3)	豁川村	棌				八橋竜	米里字	浜池ノ	四~園		反瀕高		去			000 年	下坂東	/谷	新井上	九山
+1	年婁郡	高郡南1 七久保	1字田	围	5養町	田	東伯町,	1.条町	的村小	小田字		700円.	量	子市郊		子市?	船岡町	\$\$\$		岩美町;	· 中
丑	(伝) (西牟婁郡)	(伝) 日高郡南部川村 西本庄大久保	和歌山市宇田森	田辺市元町	田辺市芳養町	(伝)紀伊国	東伯郡東伯町八橋竜 湾	東伯郡北条町米里字 蔵合屋	東伯郡泊村小浜池 谷	倉吉市小田字樋ノロ		東伯郡羽合町長瀬高 浜	(伝)伯耆国	(伝)米子市郊外		(伝)米子市	八頭郡船岡町破岩	八頭郡郡家町下坂東 梶平	鳥取市高住宮	岩美郡岩美町新井上 屋敷	鳥取市越路字丸山
旧国名	紀伊 (	紀伊	紀伊 利	紀伊	紀伊 E	紀伊(	伯耆	伯耆	伯耆	4 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		伯耆	型 型 型	伯耆		0 量則	国	困権	因幡	因幡	魯
							1#	14	1#	一		——— #	#	型		#	E		H	田	
県 名	和歌山32	和歌山33	和歌山34	和歌山35	和歌山36	和歌山37	鳥取1	鳥取2	鳥取3	鳥取4		鳥取 5	鳥取6	鳥取7		鳥取8	鳥取9	鳥取10	鳥取11	鳥取12	鳥取13
	THE	THE .	*	*	*	140															

備寿	鳥取9でありえず。 古美術商が京都で購入したともいう。		同時に(伝)熊野銅 鐸の分析も行う				鈕欠		かつて伯耆日野多里出土とされたもの	邪視文・水鳥の絵。 鈕上部欠	銅矛16本とともに同じ埋納坑から出土。					邪視文。鈕欠	
文	梅原(1927)   	名越・甲斐(1973a)	梅原(1927)、三木(1974)、同 東博(1981)、田中・三宅 貸 (1991)、葉賀(1991)	梅原(1927)、田中・三宅 (1991)、葉質(1991)	直良(1932)、東博(1981) 直良(1932)、東博(1981)	鹿島町教委(1976)、勝部(1981b・1982)、神戸市博		勝部(1981a)	倉光() か出	近藤(1966·1978)、春成 邪(1989)、神戸市博(1993) 剱	足立(1982)、宮沢・柳浦・ 錦 宍道(1986)、宮沢(1987) じ		藤原(1917)、梅原(1927)、 三木(1974)、東博(1981)、 高畑(1986)、中野(1992)	梅原(1951・1952)、梅原・ 佐原(1985)、中野(1992)	(1985-1988)、東博 (1985-1988)、東博 (1981)、中野(1992)、神 戸市博(1993)	梅原(1927·1951)、梅原·佐原 邪 (1985)、春成(1989)、中野 (1992)、神戸市傳(1993)	中沢・八木(1906)、中野 (1992)
所蔵・保管	木村鶴巌旧巌	小林義孝	東博7397	東博7398	東博20129 東博20130	文化庁 (八雲立つ風土記の 644年)	ш <del>±</del>	熊野大社 (八 雲立つ風土記 の丘保管)	京博保管	八雲本陣記念 財団	文化庁(島根県教育委員会保管)		東博7849	今村保彦	<b>反馬考古資料</b> 館	東博10419	現存せず
伴出品						中細銅剣 6 本											
華																	
靊																	
同范関係																	
恒	32.6	9.4	45.8	42.5	27.3+	31.0	16.3+	<b>※</b> 520	20.6	22.3+			48.3	43.6	42.5	17.8+	不明
文様	4 区袈裟	無人	全面1区流水文	6 区袈裟	4 区袈裟 4 区袈裟	4 区袈裟	4 区袈裟		4 区袈裟	2 区横带	4 区袈裟	4 4 4 4 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	6区流水文	6 区袈裟	12区袈裟	3区横带	
型	外緣付鈕 2 式	小銅鐸	突線鈕 1 式	扁平鈕式	扁平鈕式 扁平鈕式	外緣付鈕2式	扁平鈕式	外緣付鈕2式	外緣付鈕1式	外緣付鈕1式(福 田型)	外緣付鈕式?	外線付鈕1式 外線付鈕1式 外線付鈕1式? 菱環鈕1式 外線付鈕1式	突線鈕2式	扁平鈕式	用平盤式	外緣付紐1式(福田型)	不明
出土年		1930~1931 頃	1914	1914	1925 1924	1973	1973				1985		1915	伝1797	1945~1946	1751~1763	
出土地	(伝) 八頭郡船岡町破岩	東伯郡東郷町北福字 北山	邑智郡石見町中野仮 屋4133		浜田市上府町城山	八束郡鹿島町佐陀本 郷志谷與2338		(伝) 八束郡八雲村熊 野	(伝)大原郡木次町付近	(伝)出雲国	簸川郡斐川町神庭荒 神谷		吉備郡真備町呉妹蓮 池尻	井原市下稲木町	井原市木之子町猿 / 森黒岩	(伝) 岡山市足守上足守	総社市三須
旧匿名	超	布	石見		石見	部		部	部	部	部		備中	備中	世 世	中	備中
県 名	鳥取14	鳥取15	島根 1		島根2	島根3		島根4	島根5	島根 6	島根7		岡山 1	2 口盥	国口3	岡山 4	國口 2

釈								、鹿の絵、に近负					田家旧蔵					
輔		古図現存						小破片8、鹿の 邪視文鐸に近似					小形。池田家旧巌			朱彩		一世世十
文献	岡山県教委(1990)、亀田 (1991)	梅原(1927·1951)、梅原· 佐原(1985)、中野(1992)	梅原(1927·1951)、梅原· 佐原(1985)、中野(1992)、 神戸市博(1993)	梅原(1951)、鎌木(1961)、 中野(1992)	梅原(1951)、鎌木(1961)、 中野(1992)	梅原(1951)、間壁・間壁 (1986)、中野(1992)	梅原(1951)、鎌木(1961)、中野(1992)、神戸市博 (1993)	近藤(1951・1961)、木村 (1973)、春成(1990)、中 野(1992)	木村(1973)、中野(1992)		野(1992)	近藤・根木(1973)、春成 (1989)、中野(1992)	梅原(1951)、中野(1992)	近藤(1951·1993)、津山市 教委(1987)、中野(1992)	山陽新聞(1973)、中野 (1992)	岡山県教委(1993)、小村 (1995)	岡本・平井・朝倉(1991)、 中野(1992)、神戸市博 (1993)	四山田 本条(1000) 中国
所蔵・保管	岡山県古代吉 備文化財セン ター	不明	安仁神社・岡山県立博物館	消失	<b>盗難</b>	倉敷考古館	岡山県立博物 館〈1-03-03- 008〉	岡山大学, 邑 久考古館, 時 実黙水	文化庁	岡山大学文学 部	2		中山説太郎	津山市教育委 員会・津山郷 土博物館	不明	井原市教育委 員会保管	古代吉備文化 財センター	お子世十四十
伴出品																	後期初頭の 土器片	
遺																長約55cm、短径約35cm、発き約35cm の土壙に鰭を上下にして埋納	長径73cm、短径43 cm、深さ約40cmの土 壙に鰭を立てて埋納	# 典 4 子 子 子
同范関係						阿波17-1										40,01	7 0 4	
恒	57.7	62.4	31.2	約 42~45	約 36~39	28.5	42.3		53.8	(29.8)				29.8	2 + 09 2 + 09	44.3	57.7	
文様	3区流水文	6 区袈裟、近畿 I A	4区袈裟	級級		4 区袈裟	6 区袈裟	4 区袈裟	6 区袈裟	4 区袈裟	4 区		袈裟	4区袈裟		6 区袈裟	3区流水文	the Selv
型	不明	突線鈕2式	扁平錐式	不明	不明	扁平鈕式	扁平錐式	外緣付鈕 1 式	突線鈕1式	扁平鈿式	扁平鈴木	突線鈕式	不明	外緣付鈕 1 式	突線鈕式? 突線鈕式?	軍平館式	突線鈕式	The sales
出十年	1989	1845	1893	明治未	1932~1933	1944~1945	1950	1951	1962	1972				1950	1963	1992	1989	000
出土地	岡山市高塚高塚遺跡	和気郡和気町和気寺屋敷	岡山市藤井安仁神社 裏山	岡山市兼基笠井山麓	岡山市兼基集落南方 (鳥坂山)	倉敷市粒江種松山	岡山市兼基鳥坂山	岡山市百枝月	岡山市草ケ部大廻山	岡山市百枝月西畑		(伝) 岡山市吉原西庄 付近	(伝)備前国	勝田郡勝央町念仏塚	(伝) 苫田郡鏡野町	井原市下稲木町兼安 字明見	岡山市高塚遺跡フロ ヤ調査区	
日国名	華	備前	遍	備前	備前	備前	備前	龍前	備前	備前		備前	備前	美作	美作	中	中	
具名	9 印風	四田 2	8 円屋	6 円嵐	岡山10	國口11	岡山12	岡山13	岡山14	岡山15		岡山16	岡山17	岡山18	岡山19	岡山20	岡山21	00.1.1

养		许			善		存		9 3.28kg	鈕のみ現存。1886年 出土説		区内鋸歯文・4頭渦文、摂津IVに類似・	6.62kg		区画内出土後うちぬ き		友兼氏の控山出土						
備		裙部破片			邪視文鐸		拓本現存		追刻あり	館のみ 出土説			<b>小</b> 卷 2.5kg		区参回口		友兼氏				1.5kg		
文	高橋・河本(1987)、高橋 (1990)、中野(1992)	中国新聞(1989)、中野 (1992)	中野 (1992)	江見(1987)	谷井(1913)、梅原(1927)、春成 (1989)、広島県歴史民俗資料館 (1993)、神戸市博(1993)	松崎他(1966)、中野(1992)、広 島県歴史民俗資料館(1993)、神 戸市博(1993)	梅原(1927)	小杉(1914)、梅原(1927)	梅原(1927)、辰馬(1988)	梅原(1927)		梅原(1927)、三木(1971)、 魚島(1992)		梅原(1927)	梅原(1927)、東博(1981)	梅原(1927)、神戸市博 (1993)	田所(1917)、梅原(1927)	田所(1917)、梅原(1927)	梅原(1927)、東博(1981)	梅原(1927・1941)、神戸 市博(1993)		梅原(1941)	三木(1976)
所蔵・保管	岡山県博	玉野市教委、玉野 市文化会館		岡山県教育委 員会	光町清子	広島県教育委 員会			辰馬考古資料 館	鬼田高助		徳島県立博物 館			東博13262	田村藤太郎			東博7898	松浦菊男	辰馬考古資料 館	西野武明	東北大学·德島県 立博物館·同志社 大学、鎌田共済会 郷土博物館
伴出品				土器	剣と大																		
遺構	鰭を水平にして 土壙に埋納			土坑内より鈕を垂直 に立てた状態で出土																			
同范関係	400 1			11 ~2																			
南さる	31.3				19.5	28	約93		45.6	28.3+	<b>参</b> 530	64.25	41.0	約21	34.7+	29	推90.9	約145	41.0	42.4	身31、 現高34.5	約36	<b>*</b> 530
文様	4区袈裟				2 区横带	4 区袈裟	近畿IIIA		2 区流水文	近畿川かⅣ式		4 区袈裟	6 区袈裟		6 区袈裟	6 区流水文	推 近畿式	推 近畿式	6 区袈裟	6 区袈裟	6 区级%	6 区铁%	4 区袈裟
私	扁平鈕式	突線鈕式		小銅鐸	外緣付鈕 1 式 (福 田型)	扁平鈕式	突線鈕4式	不明	外緣付鈕2式	突線鈕4か5式	不明	扁平鈕式	扁平錐式	不明	扁平鈕式	突線鈕2式	推 突線鈕式	推 突線鈕式	扁平錐式	扁平鈕式	不明	扁平鈕式	扁平盤式
出土年	1985	1989		1987	1891	1961	1800	1835	1867以前	1867以前	1879~1880	1892~1893		$1894 \sim 1896$	1900	1911		1913	1915	1921		1927	1932
出	岡山市雄町137	玉野市沖海底	浅口郡船穂町柳井原	倉敷市矢部地内	広島市東区安芸町福 田木の宗山	世羅郡世羅西町黒川 下陰地	鳴門市大麻町櫓・乾谷	阿南市才見町	麻植郡川島町川島神 後	阿南市下大野町八貫渡	阿波郡阿波町久勝	(伝)阿南市山口町長 者ケ原		麻植郡鴨島町森藤	麻植郡鴨島町上浦王 子壇135-2	阿南市山口町末広ク レン谷179	德島市八多町	德島市八多町居内	板野郡上板町神宅字 山田98	阿南市椿町曲 9		小松島市立江町赤石勢合	徳島市上八万町・星 河内美田
旧国名	備前	備前	備前	備中	安芸	業後	阿波	回波	阿波	回波	阿波	阿波		阿波	阿波	阿波	阿波	阿波	阿波	回波		阿波	阿波
県 名	岡山23	岡山24	岡山25	岡山26	広島1	広島 2	徳島1	徳島2	徳島3	徳島4	徳島5	<b>徳島</b> 6		徳島7	徳島8	60000000000000000000000000000000000000	徳島10	德島11	徳島12	徳島13		徳島14	徳島15

備寿		2.22kg 現在残欠	1.26kg 554.4kg 360 g 193.2kg	内面突帯を欠く 6.3kg		4.46kg	御神体			銀頂欠、因幡Vと酷似・区画内に連渦文			方形周溝群の一角よ り出土 877.79g	17.5kg	阿部里司の調査によ る	シンネバエの1 鐸と する説あり
文		三木(1950)、東博(1981)、 神戸市博(1993)	Ξ★(1965)	三木(1967)、神戸市博 (1993)	小杉(1914)、梅原(1927)	梅原 (1927)、 辰馬 (1988)	西祖谷山村(1922)、梅原 (1927)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	置田(1971)、三木(1974)、 神戸市博(1993)			勝浦(1987)、一山・勝浦 (1988)、徳島 市教 委 (1987)	徳島県埋蔵文化財センター(1993)	阿南市教委(1987)	梅原(1927)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)
所蔵・保管		東博36494 東博36493 東博36495	高橋寬一(徳島県立博物館保管)	国立歷史民俗 資料館		辰馬考古資料 館	鉾神社			天理参考館						多和文庫
伴出品		中広銅剣1 中広銅剣1 中広鍋剣1														
遺構													長辺60cm、短辺35 cm、深30cmの不整 長方形の土壙, 鰭 を立てて埋納	長軸137cm、短軸61cm の隅丸長方形の土壙、 鰭を立てて埋納		
同范関係			備置5			大和 9				因権越路 讃岐一ノ			展 望城 参	長の離		
恒	約30 約30 約30 約30 約30 約30	52.0	29.5 21.7 24.6+ 身21	54.2		44.5	推55			42+		47.0	39.3	8.76	約50	40.2
文様	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	6 区	4 4 4 4 4 A B B B B B B B B B B B B B B	近畿IB		2区流水文	6 区袈裟			2 区流水文	4 区袈裟	4 区袈裟	6 区级燚	6 区袈裟	推近畿式	6 区袈裟
型	<b>三</b>	徐徽舒1式 扁平館式 扁平館式	用平 用 用 和 和 子 会 式 用 不 给 有 数 式 用 不 给 方 。 是 之 之 。 之 。 之 。 之 。 之 。 之 。 之 。 之 。 之	突線鈕2式	不明	外緣付鈕式	扁平鈕式	不明	不明	外緣付鈕式	外緣付鈕1式	扁平鈕式	扁平鈕式	突線鈕5式 (近畿 IV式)	推突線鈕式	扁平錐式
出土年		1948	1959	1965	1967以前	1868~	明治中		1879頃		1919		1987	1992	1937頃	1806
出出		德島市国府町西矢野 源田	德島市入田町・安都 真	阿南市下大野町畑田 583	(伝) 徳島市八万町下 八万福万谷	(伝) 徳島市榎瀬町	(伝) 三好郡西祖谷村 榎名	(伝)那賀郡長生村付 近	(伝)阿波郡阿波町本 町・久千田	(伝)吉野川沿岸	(伝)美馬郡脇町	(伝)阿波国	徳島市名東町名東遺 跡	徳島市国府町矢野遺 跡	阿南市上大野町小山 田	善通寺市大麻町大麻 山
旧匿名		回鉄	阿茨	回波	阿波	阿波	阿波	回波	阿波	阿波	阿波	阿波	阿汝	阿波	阿波	讃岐
県名	徳島15	徳島16	徳島17	得島18	徳島19	徳島20	德島21	<b>德島22</b>	<b>德島23</b>	<b>德島24</b>	徳島25	徳島26	徳島27	徳島28	德島29	₩ 

備				破片	豊田出土説あり4.347 kg			内面突带 2条。2.7kg		破片が出土	摂津東奈良R 1 鋳型製品	小破片10			大橋八郎旧藏。区画内絵画 3.294kg	東京にて購入 1.9 kg	大麻山出土説、県外 太平洋岸地域出土説 あり
文	矢原(1961)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)	関(1900)、沼田(1913)、梅原(1927)、辰馬(1988)、瀬戸内海歷史民俗資料館(1983)	上原(1924)、梅原(1927)、 瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)	梅原(1927)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)	上原(1923)、梅原(1927)、 三木(1968)、東博(1981)、 瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)	岡田(1931)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)	上原(1927)、東博(1981)、 瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)	寺田(1941)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)	寺田(1935・1937)、三木 (1940)、瀬戸内海歴史民 俗資料館(1983)	瀬戸内海歴史民俗資料館(1983)	石川·松本(1966)、瀬戸内海歷史民俗資料館(1983)、神戸市博(1993)	香川県教委(1979·1983)、 瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)			若林(1891)、田中(1894)、梅原(1927)、東博(1981)、瀬戸内海歴史民俗資料館(1983)	瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)	梅原(1927)、寺田(1927)、 瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)
所蔵・保管		<b>反馬考古資料</b> 館	大瀬井	多和文庫	東博9881		東博20118	千葉繁芳	土庄自動車株 式会社	焼失	文化庁	香川県教育委員会			東博37433	琴陵光重	幸運幸
伴出品	:						平形銅剣		平形銅剣								
華																	
靊																	
同范関係		·									摂津2-1					摂津 (兵 庫) 6	
恒		46	39.1+		45.8	<b>*</b> 530	42.4	35.8	31.2		29.8	30 ?			42.7	32.7	約51.6
文様		6 区袈裟	6 区袈裟	6 区袈裟	2区流水文	4 区袈裟	6 区袈裟	4区袈裟	4 区袈裟		2 区流水文	4 区袈裟			6 区袈裟	4 区袈裟	近畿IA
型	不明	扁平鈕式	扁平鈕式	(扁平鈕式)	外緣付鈕 2 式	扁平鈕式	扁平鈕式	外緣付鈕2式	外縁付鈕2式(扁平鈕式)	不明	外緣付鈕 2 式	扁平鈕式	不明	不明	扁平鈕式	外縁付鈕2式	突線鈕 2 式
出土年	1867以前	1872 ?	1904	1949	1923	1926	1927	1934	1929	1942~1943	1966	1978			1817以前		
出土地	善通寺市北原シンネ バエ	木田郡三木町下高岡白山	木田郡牟礼町源氏峰ノタバ	仲多度郡満濃町吉野	観音寺市古川町南下	綾歌郡綾南町陶内間	三豊郡高瀬町羽方西ノ谷	坂出市加茂町明神原	小豆郡内海町安田		<u>善通寺市吉原町我拝</u> 師山北面	大川郡寒川町加藤森 広	(伝)木田郡内	(伝)仲多度郡内	(伝) (讃岐国某山中)	(伝) (讃岐国)	(伝) 善通寺市善通寺 五重搭下
旧国名	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐	讃岐
県名	季川2	季川3	香川 4	季川 5	香川 6	季川7	香川8	季川9	香川10	香川11	香川12	香川13	香川14	香川15	香川16	香川17	香川18

									5.7				المال المال						<u> </u>
備	小銅鐸					内面突帯磨減	神社神宝	神社神体	鈕頂欠。復元高46.7	神社神体		病院建設中に発見	鈕欠、鋸歯文横帯、 山川七左衛門旧蔵			区画内に渦文		耳1対	、耳なし。吉川霊華旧 蔵
文	नंद्राम (1993)	清野 (1955)	梅原(1927)、岡本(1968)	- 1		梅原(1927)、岡本(1968)	梅原 (1927)、 岡本 (1968)	寺石(1889)、梅原(1927)、 岡本(1968)	岡本(1968)		東博(1981)、辰馬(1985)、辰馬(1988)、 辰馬(1988)、神戸市博 (1993)	中山 (1929)	梅原(1927)、辰馬(1978· 1988)、春成(1984)	辰馬 (1978)	辰馬 (1978・1988)	辰馬(1978・1988)、神戸 市博(1993)	质馬 (1978)	三木(1974)、辰馬(1978-1988)、神戸市博(1993)、森田(1994)	辰馬(1978・1985・1988)、神戸市博(1993)、森田(1994)
-	香川県教育委 北員会	不明清	争	型型	型 型	辰馬考古資料 楠 館	美良布神社 梅 美良布神社	琴平神社 詩		熊野神社	本 図 ①	#		辰馬考古資料   辰 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料   原   館	辰馬考古資料 原 館	反馬考古資料 館 館 37	底馬考古資料 區館
世田忠	弥生土器: 須恵器														:				
遺構	(包含層)										有環								
同笵関係																	伝近江2	兵庫8-1. 近江2-1. 伯耆3. 不明7	兵庫8-1· 近江2-1· 伯耆3· 不明6
恒	$3.7 + \alpha$	約60	約42.4	約70	115	48	75.7	約60	40.5+	59.6	47.7		23.7+	19.7+	27.4+	31.9	32.9	42.5	43.5
文様		2 区流水文	6 区袈裟	近畿IIA	近畿ⅢC	近畿IA	近畿IIB近畿IIA	近畿IA	全面1区流水文	6 区袈裟	4 区势淡		横带文	4 区袈裟	4 区袈裟	4 区袈裟	2 区流水文	2 医流水文	2区流水文
社	不明	外緣付鈕式	扁平鈕式	突線鈕3式	突線鈕4式 不明	突線鈕2式	突線鈕3式突線鈕3式	突線鈕2式	扁平鈕式	突線鈕2式	扁平盤式	鈕欠	菱環鈕2式	外緣付鈕1式	外緣付鈕1式	外緣付鈕2式	外緣付鈕1式	外緣付經 1 式	外緣付經 1 式
出土年	1992		1775	1805		1882~1983	1746以前1746以前	1643以前											
田井	善通寺市仙遊町	(伊予国)	南国市大 町田	香美郡土佐山田町楠 目	安芸市伊尾木切畑山	南国市田村正善	(伝) 香美郡香北町韮 生野付近	(伝)土佐郡土佐町土 居	(伝)香美郡	(伝)馬路村相名熊野神社附近	(伝) 高知県	福岡市東区馬出·九 州大学病院							
旧国名	讃岐	伊予	土佐	土佐	土佐	土佐	土佐	土佐	土佐	土佐	土佐	筑前							
県名	香川19	愛媛1	高知1	高知 2	高知3	高知 4	高知 5	高知 6	高知7	高知 8	高知 9	福岡 1	不明 1	不明2	不明3	不明4	不明 5	不明 6	不明7

備寿	鈕と身の裾部欠					裾部は「鋳放し」	飾耳欠、偽銘有り、 深見平次郎旧蔵	大和Vに酷似(同箔)、大和出土か	鈕欠	近江4の1個とは考 えられない。鈕の飾 耳欠		身部片面は縦に無文帯。 帯。神田孝平旧巌	区画内に絵画。伊達 弥助旧蔵	鈕頂欠		銀のみ	片面4区、他面6区	鈕内縁に車輪文、ゴー ランドコレクション	1885年以前近江出土?下郷共済会旧蔵	
文	辰馬(1978・1988) 紐	质馬 (1978)	辰馬 (1978)	辰馬 (1978・1985・1988)	辰馬 (1978・1985・1988)	梅原(1927)、辰馬(1978· 福 1985)、神戸市博(1993)	中山(1929)、辰馬(1985· 第 1988) 深馬(1988) 深	辰馬(1978-1985・1988)、大清野(1955)、難波(1991)、箱神戸市博(1993)	置田(1971) 翻	置田(1971) え 対	置田(1971)、神戸市塼 (1993)	梅原(1927)、東博(1981)、 春成(1984)、神戸市博 帯 (1993)	梅原(1927)、東博(1981)、区 神戸市博(1993) 弥	明治大学(1990) 鈕	明治大学(1990)、神戸市 博(1993)		三木(1974) 片	梅原(1927)、神戸市博 銀 (1993)	梅原(1927)、野洲町立歴 18 史民俗資料館(1988) 土	三木(1974)、泉北考古資 料館(1986)
所蔵・保管	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	天理参考館 [ (34-33)	天理参考館 : (35-55)	天理参考館 [ (33-5)	東博35509	東博36667	明治大学2号 [	明治大学3号 [	石原和子・岡 山県立博物館		大英博物館3 <sup>本</sup> 号	名古屋市立博 本物館	藤田美術館
伴出品											-									
構																				
蛔																				
同范関係																				
恒	12.7+	25.9	32.5	41.0	43.2	68.3	55.2+	60.2	19.3+	64.8+	114.5	22.3	31.2	38.4+	41	23.3+	39.5	42	約103.5	46.1
文	横6区袈裟	4 区袈裟	4 区袈裟	6 区级%	6 区级淡	6 区被淡	全面1区流水文	2区流水文	4 区袈裟	近畿ⅡB	近畿IIIC	横帯文	4区袈裟	8 医袈裟	4区袈裟	近畿1式	三萬八	6 区袈裟	近畿ⅢB	2区流水文
社	扁平錐式	扁平盤式	扁平錐式	扁平鈕式	扁平鈕式	扁平鈕式	突線鈕 1 式	突線鈕 1 式	扁平鈕式	突線鈕 3 式	突線鈕 4 式	菱環鈕 1 式	外緣付鈕 1 式	扁平鈕式	突線鈕 1 式	突線鈕2式	突線鈕3式	扁平錐式	突線鈕 4 式	外緣付鈕2式
出土年																				
椰								l'												
田田								<b>产</b> 奈良県												
旧国名								推定												
県 名	不明 8	不明 9	不明10	不明11	不明12	不明13	不明14	不明15	不明16	不明17	不明18	不明19	不明20	不明21	不明22	不明23	不明24	不明25	不明26	不明27

備			ンローコレクショ	8~94				舞に鋸歯文	X			鈕欠、縱横帯とも軸 突線あり。区画内研磨。兵庫9の後身	区画内絵画。拓本、 見取図現存。 谷文晁 旧藏		渦森型、平泉澄香1 号	鈕頂欠、平泉澄香2 号	鈕頂欠、平泉澄香3号、身22.8cm	銀欠、阪本保三コレ クション	鈕頂欠、鷺池コレク ション			鈕頂欠、シーボルトコレクション	長谷川桂山コレクション
禁			\rangle \gamma\rangle \gamma\r	本				棋	鉛欠			盘 祭 豳	区画] 見取[ 日数]			留中	御予	強く	場ッ			銀元	<b>製</b> m
女		梅原(1927)	梅原(1927)	梅原(1927)		藤井・田代他(1976)			中山 (1929)				梅原 (1927)		梅原(1927)、泉北考古資 料館(1986)	梅原(1927)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	繭山龍泉堂 (1966)	繭山龍泉堂 (1966)	繭山龍泉堂 (1966)	梅原 (1927)
所蔵・保管	救世熱海美術館	ダブリン博物 館	エヂンバラ博 物館	ルーブル美術	- B - 慶応大学	阿形邦三		片岡俊彦	崇福寺	笹野千代	笹野千代	笹野千代	不明	吉水神社						メトロポリタ ン美術館 <18、 68〉	ウースター美 術館 (1962、 15)	ウィン民族博 物館 <37437>	
出出																							
華							-																
刪																							
同范関係						兵庫6-1· 2·伝兵庫	2																
恒	62.0	約27	<b>*</b> 533	25前後	<b>参</b> 540.5	41.6		22.0		23.3+	29.0+	32.6+	42.4	84.5	46.5	21.3+	<b>*</b> 530+	19.5+	37.8+	110.5	46.6	54.0+	約30
文様	近畿IA	■区袈裟	6 区架装		6 区袈裟	4 区级淡		4 区袈裟	4 区袈裟	□区袈裟	□区袈裟	6 区粉淡	4 区袈裟	近畿IIC	4区袈裟	4区袈裟	流水文		6 区狭裟	近畿IIIC	6 区袈裟	6 区袈裟	箔水文?
本	突線鈕2式	不明	不明	不明	不明	外緣付鈕1式		外緣付鈕2式	外縁付鈕2式	不明	不明	突線鈕 2 式	扁平鈕式	突線鈕3式	扁平鈕式	扁平鈕式	外緣付鈕 1 式	外緣付鈕式	外緣付鈕2式	突線鈕 4 式	突線鈕 1 式	扁平鈕式	外緣付鈕2式
出土年																							
州																							
出出																							
旧国名出																							
	不明28	不明29	不明30	不明31	不明32	不明33	- 0	个明34	不明35	不明36	不明37	不明38	不明39	不明40	不明41	不明42	不明43	不明44	不明45	不明46	不明47	不明48	不明49

寿	山川七左衛門コレク ション	山川七左衛文コレク ション	ピーボディ博物館コ レクション	木村喜左門コレクシ ョン	鈕欠、森田一善堂	玉井久次郎コレクション	「厚手、古調」、細川 潤次郎旧蔵	鈕欠、中山豊男コレ クション	原嘉道コレクション	近江4の一個か。鈴 木駅次旧蔵		底部欠		渦森型、区画内に四 頭渦文	伝河内出土	三重磯山鐸 身下半 欠		長尾博物館旧蔵	岸和田市白井家旧蔵		
備	= ~	<u>=</u> "	7 ہ	本木ンド	鍛久	来る。	順響	留クッ	原嘉	近大		額		調響	位	三大		長月	岸		
文	梅原(1927)	梅原 (1927)		梅原 (1927)	梅原(1927)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	梅原 (1927)	梅原(1927)	梅原(1927)	梅原(1927)	梅原(1927)			泉北考古資料館(1986)	辰馬 (1985・1988)	辰馬 (1988)	泉北考古資料館(1986)	泉北考古資料館(1986)	神戸市博(1993)	神戸市博(1993)
所蔵・保管						焼失	焼失				住友博古館	誓願寺		松本清張	鳥取県立博館	辰馬考古資料 館	辰馬考古資料 館	大阪市立美術 館	大阪市立美術 館	大阪市立美術 館	関西大学考古 学等資料室
伴出品																					
遺構																					
同范関係																					
恒		30前後		23.3	33+	約21	22.5		61.5	64.5	79.5	約100+	61.2		41.4	23.8+	116.5	46.9	22.3	22.1	51.5
文様	2区流水文	搬線	6 区袈裟	4 区袈裟	4区袈裟	4 区袈裟		粉絲	6 区袈裟	近畿IIC	三遠式	近畿式	全面1区流水文	4 区袈裟	4区袈裟	4 区袈裟	近畿式	4 区级袋	4区袈裟	4 区袈裟	近畿Ⅰ
村	外緣付鈕1式	扁平鈕式	扁平鈕式	扁平鈕式	扁平鈕式	扁平鈕式	不明	不明	不明	突線鈕3式	突線鈕3式	突線鈕式	突線鈕1式	扁平鈕式	外縁付鈕式	外緣付鈕1式	突線鈕5式	扁平鈕式	外緣付鈕2式	扁平錐2式	突線鈕2式
出土年																					
型																					
田																					
旧国名																					
県名	不明50	不明51	不明52	不明53	不明54	不明55	不明56	不明57	不明58	不明59	09組坐	不明61	不明62	不明63	不明64	不明65	<b>小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小</b>	不明67	不明68	不明69	不明70

武器形青銅器出土地名表

并	m 博(1994)、甘楽町教委(1995)、 再加工を受け片側刃部下半のみ 995)		信濃史料刊行会(1956)、桐原(1966) 形態特異で、剣とも矛とも戈ともとれる 鋒 部のみ、中心に突線陽出	中山・坂口・森本(1929)、信濃(1956)、鋒部のみで、脊部に二次的加工を加え茎を作桐原(1966) りだし、関節に双孔を穿つ	而角 (1933)、信濃刊行会、大場 (1949)、福先端合致セず、脊上縞有桐原 (1966)、難波 (1986)	島田(1931)、小栗(1931)、梶山(1986) 関に双孔あり、再加工(小田「細形皿」?)	使用は   使用は   使用は   使用は   できます。   使用は   できます。   できます。   できままます。   近、計3孔あり。   しょままます。   できまます。   できままます。   できまます。   できままます。   できままます。   できままます。   できままます。   できままます。   できまままままままままままます。   できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	瀬川 (1978)、三木(1966)、迂路竹驢子   鋒部のみ、石斧、石槍の破片も採集 (1977)	堀田(1975) 「広形銅鉾」とあるが詳細不明	大阪文化財センター(1980)、岡崎 (1982)	<b>荻田 (1966)</b> 蜂部のみ	三好(1987) 樋内を再加工した小片、表裏で文様異なる、 小孔2 有	島田(1926)、種定(1990) 関部欠損、双孔あり、出土後の改変あり	高橋・松岡(1969)、種定(1990)、㈱有   近藤「平形銅剣C」 翼部欠失箇所多年考古館(1991)、吉田(1993)、兵庫県 史編集専門委員会(1992)	近藤「平形銅剣C」 翼部欠失箇所多	近藤「平形銅剣C」 鋒近くの断片	神戸新聞社(1959)、神戸市教育委員会 (1969)、種定(1990)、兵庫県史編集専 門委員会(1992)	神戸新聞社(1959)、神戸市教育委員会 関部双孔あり 身下半のみ 正法寺山と和田(1969)、種定(1990)、吉田(1993)、兵 山の鞍部より出土 庫界史編集専門委員会(1992)	神戸市教育委員会(1969)、岡崎(1982)、 兵庫県史編集専門委員会(1992)
1	Ĭ.	石川県立埋蔵文化 財センター	長野市博物館信割	佐良支奈神社→戸 中1 倉町歴史資料館展 桐原示	大町市海ノロ諏訪     両       神社蔵     相	長谷川虎雄 島田	大阪市教育委員会 瀬川	大阪府教育委員会 (1977)	現存せず堀田	大阪府文化財調査 大阪 支 研究センター (1982)	東大阪市立郷土博   荻B 物館	<u>#</u>	天一神社世話人 島田	有年考古館 高格年等 电线电流 电线电流 电线电流 电线电流 电线电流 电线电流 电线电流 医乳头虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫虫			魚吹八幡神社 神戸 (19) 門多	永尾 克 神戸 (199 庫場	神戸市立博物館 神戸 兵庫
世 世 世	E			不明						工器									外緣付鈕式銅鐸4、扁平鈕
地		河道跡内の包含層 (四線文期)		出土状態不明	出土地不明	畑地開墾時発見	竪穴式住居内周溝	盛土の中から採集 川底の遺物包含層に 属すか		弥生中期河川堆積層	工事現場の盛り土から採集	中期末の祭祀的様相 の強い土坑	積石の最低部	採土中表土層より出 土			出土地不明		埋納壙中
和	m-	中維形C?	不明	細形	未設定	細形IV?	鉄剣形	大阪湾型b	中広形	大阪湾型 c	大阪湾型c	大阪湾型c	中雒形 b (By)	東部瀬戸内系平形	東部瀬戸内系平形形	東部瀬戸内系平形	広形	中細形 c (Dy)	大阪湾型り7本
다. 첫	144	剣	不明	淘	*	劆	剣	兴	矛	料	¥	¥	魚	<b>₩</b>	<u></u>	<b>®</b>	齐	剣	**
H 中 本	7日楽町三ツ俣道	金沢市藤江B遺跡	長野市塩崎松節	埴科郡戸倉町若宮箭塚(伝)	北安曇郡小谷村	名古屋市守山区志段味	大阪市平野区加美遺跡	高槻市大塚町淀川河川敷	河内長野市金胎山(伝)	東大阪市瓜生堂遺跡2Bト レンチ3PT3区包含層	東大阪市瓜生堂	八尾市久宝寺遺跡南地区第 1調査区D-2地区土坑-15	佐用郡南光町西徳久宇高下 平松遺跡	赤穂郡上郡町別名前山			姬路市綱干区宮内	三木市別所町正法寺	神戸市灘区桜ケ丘町 (通称 神岡)
中	unE	石川	長野 1	長野2	長野3	愛知1	大阪 1	大阪 2	大阪3	大阪4	大阪5	大阪 6	兵庫1	兵庫2			兵庫3	兵庫 4	兵庫5

*	fe			つ、関部双孔あ													てあった	鋒部 4 個は確か				
#	加			複合鋸膚文、有軸綾杉文をもつ、関部双孔あり	関に双孔あり					身上半欠失、関に双孔あり	蜂部のみ 蜂部のみ	人体に残ったものと推定			<b>樋先端付近の半身を鑿に転用</b>		鋒と内を交互に三口ずつ重ねてあった	10余個の破片となって検出。鋒部4個は確か に存したという。		身下半のみ、関部双孔有	身先端部近くの部分	
4	× ·	神戸市教育委員会(1969)、樋口(1969)、 岡崎(1982)、兵庫県史編集専門委員会 (1992)	武藤(1971)、西宮市教委(1974)、兵庫 県史編集専門委員会(1992)	武藤・三木 歴史民俗博 兵庫県史編						тщ( ?	W W W	兵庫県教委(1984)、種定(1990)、兵庫 // 県史編集専門委員会(1992)	櫃本(1984)	奈良県立橿原考古学研究所(1989)	田原本町教委(1989) 権		高橋 (1925)、東博 (1980)、岡崎 (1982)、 和歌山県史編纂委員会 (1983)	倉光(1933) 1 <sub>1</sub>		(朝)鳥取市教育福祉振興会(1993)		近藤(1966)、勝部(1981)
Ħ	万 廢 布	保久良神社、京都 国立博物館寄託	西宮市教育委員会	文化庁→国立歷史 民俗博物館								兵庫県教育委員会		奈良県立橿原考古 学研究所	田原本町教育委員 会	桜井市教育委員会	東京国立博物館	東伯町教育委員会	鳥取県立博物館 現存せず 現存せず		岸本町教育委員会	出雲大社
Ę	######################################							,									南方より銅鐸 (現存セず)	土器				硬玉製勾玉
	周			土砂採取中、付近一 帯はかつての砂丘地								方形周溝墓10西溝內 木棺墓				藤原宮期の土坑	山の八合目の地下	小円墳の箱式石棺中				大石の下
		大阪湾型 c	型式未設定、無櫃式	中細形 b (B')	中畬形 b (By) 中雒形 b (Bv)	- 音形 (DZ) - 七雀	ト 香 か D (Dy) 中 雀 夢 D (B)	中	日 重 上 (Bx) 日 (Bx) 日 重 またり (Bx)	- 種形 b (Bx) - 一種形 b (By)	+ インスト → 中産 → 中産 → トラント → 中産 から → トラント →	盆形	不明	深樋式	<b></b>	維形ないし古 式中維形	大阪湾型a 6本	中維形c	中細形 c 中細形 c か? 中細形 c か?	中細形 b (By)	中細?	中盆形b
	~	<b>4</b>	兴	<b>₩</b>	<b>₹</b>	(金)		劉 剣	金鱼	<b>聚</b>	劉 劉	剣or矛 (鋒)	剣	剣 (鋒)	朱	剣 (蜂)	44	剣 (蜂)	鱼鱼鱼	魚	剣	料
	田田園の	神戸市羅区本山町北畑保久 良神社境内 	西宮市甲山町甲山山頂	三原郡西淡町古津路								神戸市西区玉津町田中	伝 <u> </u>	磯城郡田原本町多10次調査 pit2115剣	磯城郡田原本町唐古・鍵第 33次調查SD-120	桜井市大福13次調査	有田市箕島町山地	東伯郡東伯町田越イズチ頭		鳥取市西大路土居遺跡C-4区	西伯郡岸本町久古第3遺跡 (口別所地区)	簸川郡大社町杵築東真名井
	番布	兵庫 6	兵庫7	兵庫 8								兵庫9	兵庫10	奈良 1	奈良2	奈良3	和歌山1	鳥取1		鳥取2	鳥取3	島根1

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(関部に双孔はない)	関部に双孔あり	関部、茎のみ残存。双孔あり	(関部に双孔はない)		関部双孔あり。		358本一括理約				樋に綾杉文、剣下半に連続渦文を持つ。鋳か けあり。	関に蕨手文あり	関に双孔あり。棘状突起は三叉	関に双孔あり。剣身上半を二次加工。鋳掛有	関に双孔あり。	高橋によれば現東博蔵品と同型式であるが、 靖国神社現蔵品は柄に再加工した中国式銅剣 である。	
大	近藤(1966)、勝部(1981)、岡崎(1982)、 三宅・松本(1985)	近藤(1966)、勝部(1981)、岡崎(1982)、  小田・韓(1991)、三宅・松本(1985)	勝部(1981)、岡崎(1982)、三宅・松本   1 (1985)	鹿島町教委(1976)、勝部(1981・1982)、 岡崎(1982)、小田・韓(1991)、三宅・松 本(1985)		三宅・松本(1985)	松本・岩永(1991)	島根県教委(1985) :	島根県教委(1986)			末永(1957)、梅原(1951)、元興寺文化 財研究所(1993)、				高橋(1925)、中野(1992)、佐藤(1937)、 审壇(1980)		
所藏者	横田八幡宮 (八雲 立つ風土記の丘保 管)	平浜八幡宮 (八雲 立つ風土記の丘保 管)	海士町教委 (八雲 立つ風土記の丘保 管)	文化庁 (八雲立つ 風土記の丘保管)	長野県護国神社 (日本民俗博物館 出陳)	豊元国旧蔵品→八 雲立つ風土記の丘		文化庁(島根県埋 蔵文化財調査セン ター保管)				大質知子	蓮台寺 (岡山県立 博物館保管)	蓮台寺 (岡山県立	専物館体官) 倉敷考古館 現存せず、土砂中 に投棄	東京国立博物館 (塚木盤窓旧藤)	(%大台》后例) 靖国神社宝物遺品 館(矮本磐彦旧蔵)	
(本) 田			土器 (後期)、鉄槍片	外緣付鈕式銅 鐸1、扁平鈕 式銅鐸1					菱環鈕式銅鐸 1. 外緣付鈕 式銅霉5									
通	境内拡張時に発見	鉄塔建設工事の際発 見	<b>松</b> 脚	埋納坑中に納める				埋納坑中に納める	埋納坑中に銅鐸とと もに納める			山の斜面に5本揃えて				畑中の大石の下		
本	() ) ) )	維形IIb	中雒形 b ? (By)	中細形 c (Cy) 6 本	万悉?	<b>細形IIb</b>	維形 I	中細形 c (Cy) 358本	中維形 a 2 本	中広形a o 未	- 4 中広形 b 12本	平形Ⅱ	平形IIb	平形Id	平形 I ? 不明	雒形 I (x)	中国对	
品	霊	<b> ■</b>	剣	<b>*</b>	*	<b>●</b>	大 (蜂)	<b>₩</b>	*	炩	垰	阑	<b>●</b>	夣	剣 剣	憲	憲	
出出為名	2多郡横田町横日	伝 松江市竹矢町	隐岐郡海士町竹田	八束郡鹿島町佐陀本郷志谷 奥遺跡	伝 出雲大社内	伝 島根県内出土	美濃郡匹見町大字紙祖字荒 木イ238	簸川郡斐川町神庭荒神谷遺 跡				倉敷市児島琴浦瑜珈山由加				岡山市飽浦山本ノ辻		
卷	mx c4	島根3	島根4	島根 5	島根 6	島根7	島根8	島根9				岡山1			-	岡山2		

番号	田井路名	品名	計	遺構	体 出 品	所藏者	文	編
國口3	岡山市南方蓮田	剣 (蜂)	<b>*</b>	墓壙から出土?		岡山市教育委員会	岡山市教委(1971)、亀田(1991)	蜂部のみ。副葬品の可能性が高いが、他の墓 壙の攪乱ありえる。
岡山4	久米郡久米南町別所勝負田	剣	維形 I	尾根の稜線を開墾中 出土		岡山大学保管	神原(1969)	二次的加工により原形かなり損じている。
國口 2	伝 岡山県内	*	中広形			京都大学文学部考 古学研究室	京都大学(1960)	近藤「中鋒銅矛B」
9 円 座	倉敷市福田広江小字浜	<b>X</b>	細形 II			倉敷考古館	開壁他(1979)、小田・韓(1991)、間壁・ 間壁(1986)	極先端近くの断片。弥生土器が若干出土し、 2 次堆積の中から発見。
四田7	<b>笠岡市笠岡湾干拓地</b>	权	鉄戈形			笠岡市教育委員会、 笠岡市立郷土館保 管	網本 (1987)、間壁・間壁 (1986)、藤田・柳瀬 (1987)	海上がり
8 円風	岡山市百間川原尾島遺跡丸 田調査区堅穴住居 9	剣	鉄剣形			岡山県古代吉備文 化財センター	岡山県教委(1995)	
6 口阋	岡山市高松田中遺跡	展	番	後期の溝出土 (ただし、それが切る前期 し、それが切る前期 末~中期初の土壙墓 の副葬品の可能性も 有)		岡山県古代吉備文化財センター	伊藤 (1995)	鑿に転用
広島1	広島市安佐北区可部大毛寺両延八幡社境内	<b>₩</b>	平形11 7本			現存せず	藤(1796)、高橋(1925)	藤(1796)には「讃岐國美濃郡大見村刀五枚ヲ堀出ス…又安芸國諸延八幡両ノ境地銅器数枚ヲ堀出ズ」との記述の後に平形銅剣7ロの図があげられており、その7ロが、讃岐大見のものか、安芸諸延八幡のものかの指示はなし
広島2	広島市東区安芸町福田木の 宗山	剣 戈	中雒形 b ? (B) 中維形 b	山中の巨岩下より出土 土	福田型銅鐸。 附近の土中よ り土器出土	光町清子	谷井(1913)、中山(1918)、岡崎(1982)、 広島県歴史民俗資料館(1993)	関に双孔あり。岡崎「中細銅剣の前に入る一型式」再加工(突起を研ぎ落とす) 撃式」再加工(突起を研ぎ落とす) 鋒部二次的に湾曲して、幅が狭くなっている
広島3	広島市安芸区矢野町絵下谷川	剣	細形			矢野公民館	木下(1958)、広島県歴史民俗資料館 (1993)	再加工、茎尻に1孔・関部に2孔
広島4	三原市八幡町宮内鉾が峯	兴	鉄戈形			御調八幡神社	水野 (1928)、岡崎 (1982)、広島県歴史 民俗資料館 (1993)	
広島 5	府中市三郎丸町盾石	剣	深樋式	大石の裂目の小空隙	土器	愛知県知多郡美浜 町野間大御堂寺 水野巌	水野 (1928)、村上 (1959)、埋藏文化財 研究会第20回研究集会 (1986)	出土遺構は粗製組合式石棺の可能性あり。関 に2孔、茎に1孔計3孔あり。
広島 6	尾道市久山田町大峰916大峰山	剣 剣矛	中畬形 b (Bx?) 中畬形 b (B) 中畬形 b	石の下	附近より土器 出土	文化庁→広島県立 歴史博物館 文化庁 文化庁	木下(1960)、岡崎(1982)	2個の破片となっており、完形には繋がらない。関に双孔あり。石切作業中偶然発見 蜂に近い剣身の破片。石切作業中偶然発見 近藤「狭拳銅矛d」、岡崎「中細銅矛B」
広島7	沼隈郡沼隈町中山南森迫	剣	平形Ⅱ	山腹の巨大な立石の 前か		日枝神社	村上(1962)、広島県歴史民俗資料館 (1993)、村上(1959)	
広島8	福山市箕島町箕島	剣 (蜂)	*************************************	山中で農耕の時発見		所在不明	村上(1959)、埋蔵文化財研究会第20回 研究集会(1986)	

備		剣の場合細形or中細。背の断面に孔があるので矛か。	二次的加工。双孔あり。		斧に再加工	別々に表採されたもの、鋒部欠 鋒部のみ	森「細形銅劍 B I a」、土器牟代森「中期初頭」	出土地不明、近藤「中鋒銅矛B」	時期 高倉「前期後半」、集骨は「前期末~中期初頭」		有柄式	左記文献に「広形銅鉾」とあるが、確認のす ベなし	再加工により袋部末端に目釘孔2つあり		岡本論文によれば平形1に近い	文献の「矛2」は誤りで、徳島1の剣2と同一物ではなかろうか		近藤「平形銅剣C」	立縢「平杉銅剣JB IIb」	近藤「平形銅剣BIc」	近藤「平形銅剣B I a」かつて銹の状況等から 別個体とされていた鋒片はこれに接合
文	村上(1962)、広島県歴史民俗資料館 (1993)、村上(1951)・(1959)	村上(1959)、埋蔵文化財研究会第20回研究 集会(1989)、広島県歴史民俗資料館(1993)	村上(1965)、埋蔵文化財研究会第20回 研究集会(1986)	側広島市歴史科学教育事業団(1993, 1994)	側広島県埋蔵文化財センター(1985)、 広島県歴史民俗資料館(1993)	下関市史編集委員会(1965)	森本(1927)、東博(1980)、岡崎(1982)、 小田・韓(1991)、小田(1985)	防長新聞 (1924)	国分他(1970)、高倉(1976)、橋口(1987)、豊浦町教育委員会(1984)		島田・小川(1922)、岡崎(1982)、元興 寺文化財研究所(1993)	東京考古学会(1968)	高橋 (1925)、山高郷土史研究会 (1930)、 弘津 (1928)	山口県教育委員会(1993)	岡本(1977)	東京考古学会(1968)	東京考古学会(1968)	村木(1940)、高橋・松岡(1969)、岩永 (1980)		冲野(1956)、三木(1940)、岩永(1980)、 吉田(1993)	
所 蔵 者	小林笹夫現存せず	井上英弘(福山市 立福山城博物館)	行方不明	側広島市歷史博物 館→側広島市歷史 科学教育事業団	広島県立歴史博物 館	下関市教育委員会	東京国立博物館	神上寺 現存せず	豊浦町教育委員会 (梅光女学院大学地 域文化研究所保管)		八木義人		阿川重郎旧蔵	山口県埋蔵文化財 センター	現存せず			神山町 (徳島県立 博物館保管)		山根文雄(徳島県 立博物館保管)	
伴出品							多鈕細文鏡、 丹塗壺形土器 数個	* *	*	*	*	*									
遺構	小松の下で拾った	巨大な岩肌の露出し た下	中期の古墳2基の盛 土の間			遺跡附近 遺跡の北西方の畑地	箱式石棺	* *	土壙墓	3体分の集骨に混在			古墳石槨外部								
村	平形II平形	<b>-</b> 一	鉄剣形?	<b></b>	中広形	維形 I (x) 維形		中広形 中広形	不明	不明	細形 I (x)	広形? 2本	中細形?	<b></b>	平形? 2本	不明 2本		東部瀬戸内系 平形	平形II	東部瀬戸内系 平形	平形Ib
品	魚魚	矛 (鋒)	)	剣 (蜂)	*	剣 剣 (蜂)	剣 剣	**		剣 (蜂)	剣	*	季	剣 (蜂)	憲	4.3	憲	<b>憲</b>	淘	運	憲
出土地名	福山市熊野町 熊野神社裏	福山市御分町奈良木大迫	深安郡神辺町中条国成	広島市佐伯区五日市町下沖 2号遺跡	東広島市西条町大模3号遺跡SB11	下関市梶栗浜	下関市梶栗浜	(伝)豊浦郡豊田町華山山頂	豊浦郡豊浦町川棚中ノ浜		大津郡油谷町向津具	柳井市柳井津附近	山口市字野令白石茶臼山古 墳	美祢市於福砂地岡	三好郡西祖谷山村久及名五社大明神旧藏	三好郡西祖谷山村	那賀郡内	名西郡神山町下分左右山		名西郡神山町下分東寺	
番号	広島 9	広島10	広島11	広島12	広島13	ШП1	ШП 2	ШП 3	山口 4		山口 5	9 口川	1 III 7	10日8	徳島1	徳島2	徳島3	徳島4		商	

備		(九州の中広形とはやや異なる)				関部に双孔有		種先端付近の断片	安芸・諸延八幡の備考欄参照 五口中1口は 完形、長さ=尺5寸(一尺五寸の誤りか)、他 4口は折損、そのうちの1口を神田孝平旧蔵	Z)	片側突起に鋳掛有り						斜格子文を元翼に、刳方部に二重半円形文を 施す 片側刳部以下欠損
文	東京考古学会(1968)	三木(1950)、東博(1980)、元興寺文化 財研発所(1993)	東博(1980)	美馬町 (1989)		福家(1951)、瀬戸内歴史民俗資料館 (1983)、小田・韓(1991)、吉田(1994、 1995)、香川県教育委員会(1983)	高橋(1925)、矢原(1955)、矢原(1973)、 瀬戸内海歴史民俗資料館(1983)、香川 県教育委員会(1983)、元興寺文化財研 発所(1993)		藤(1796)、高橋(1925)、矢原(1973)		大平(1973)、瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)	上原(1927)、三木(1940)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)、香川県教育委員 会(1983)	高橋(1958)、長町(1915)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)	高橋(1925)、矢原(1955)、矢原(1973)、 三木(1940)		高橋(1925)、矢原(1973)、岡崎(1982)、 瀬戸内海歴史民俗資料館(1983)、香川 県教育委員会(1983)	
所藏者		東京国立博物館	東京国立博物館	個人蔵		大喜田勇→観音寺 市郷土館	弥谷寺	<b>光</b> 公士、无明	海1134 - 7.7 神田孝平遺品→所 在不明		瀬戸内海歴史民俗 資料館	東京国立博物館	国祐寺	黒木安雄遺品	島田乾三郎 (高橋 による) 大麻神社 (長町による)	東京国立博物館	
件 出 品		扁平鈕式銅鐸 2、突線付鈕 I 式銅鐸 1			銅鐸共伴?							扁平鈕式銅鐸					
遺構						累積する石積みの下 (石積みが本来のも のかどうか不明) 3 口重なって出土					自然石を50~60cm盛 り上げた中	山の斜面	地下げ中発見 岡の 突端部西斜面	土工中発掘		地下2尺の所に東に して埋没	
型		(中広形)	平形II	平形II	不明	維形 I (x) 3 本	平形Ⅱ	平平 平形 11 12 13 14 14 15 16 16 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	平形Ⅱ	半 本 を を を を が が が 形 が が が 形 が が が が が が が が	平形Ⅱ 3本	平形Ⅱ	中広形	平形か?	平形か?	中細形c	中細形 b (B")
品名	剣	壓	剣	剣	寒	憲	)	<b>医侧侧</b>	( ) ( )	剣剣剣剣	剣	厂	垰	夣	剣	¥	剣
出北地名	名西郡神山町下分	徳島市入田町矢野源田	伝 徳島県	美馬郡美馬町	三好郡西祖谷山村榎名	観音寺市栗井町藤ノ谷	三豊郡三野町大見弥谷山		三豊郡三野町大見		三豐郡高瀬町上高瀬北条	三豊郡高瀬町羽方西ノ谷 2841-2 (山林)	三豊郡山本町辻西3120	善通寺市大麻町大麻山大麻 神社附近		善通寺市善通寺町瓦谷	
番号	徳島6	<b>徳島</b> 7	徳島8	徳島9	徳島10	香川 1	香川 2				香川 4	香川5	香川 6	香川7		香川8	

備	斜格子文を元翼に、刳方部に二重半円形文を 施す 片側刳以下欠損	文献では「平形」広形」と記す	長1.5尺、幅0.3とあり恐らく平形		片側突起鋳掛有	片側突起に鎌かけあり、関部に文様有り(二 重半円形文)	梅雨後崩壊した砂と共に押し流されたもの		片側突起に鋳掛け有	近藤「中鋒銅矛B」		うとあるが不明	文献に「細形」とあるが不明、香川17と同一品か?	鋳かけあり		片側突起に鋳掛け有	
太		東京考古学会(1968)	寺田(1939)、矢原(1973)、三木(1940)	矢原(1948)、福家(1951)、近藤(1970)、瀬戸内海歷史民俗資料館(1983)、香川 県教育委員会(1983)	寺田(1939)、近藤(1970)、矢原(1973)、東博(1980)、瀬戸内海歷史民俗資料館(1983)	寺田(1939)、近藤(1970)、矢原(1973)、 東博(1980)、瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)、香川県教育委員会(1983)	長町(1915)、瀬戸内海歴史民俗資料館 (1983)、元興寺文化財研究所(1993)		失原(1955)、満濃町 史編集委員会(1975)、瀬戸内海歷史民俗資料館(1983)、香川県教育委員会(1983)	梅原(1940)、近藤(1969)、東博(1980)、近藤「中鋒銅矛B」 瀬戸内海歷史民俗資料館(1983)		瀬戸内海歴史民俗資料館(1983)	東京考古学会(1968)	岡本(1977)、長町(1915)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)	瀬戸内海歴史民俗資料館(1983)、寺田 (1942)	高橋(1925)、長町(1915)、瀬戸内海歴 史民俗資料館(1983)、古瀬(1985)、渡 部(1983)	
所 蔵 者			所在不明	讃岐宫→善通寺市 立郷土館	東京国立博物館	東京国立博物館	金刀比羅宫宝物館	不明 不明	長炭小学校 (瀬戸 内海歴史民俗資料 館保管)	東京国立博物館	イタリア東洋美術 国立博物館	大原神社		多和文庫	井上平三→井上祐   爾	多和文庫	関保之助旧蔵 東京国立博物館
件 出 品						分銅形土製品											
遺構			表土より4尺下に束 となって出土		開墾中発見	香川2に同じ	谷の砂中より		大岩石の陰に埋めら れていた。2口ほぼ 同方向に重ねて水平 に置かれる			不明	不明		不明	土中に三枚重ねて埋 めてあった	
社	中継形 (Cy)	平形か? 3本	平形か? 7本	平形Ⅱ 3本	平形Ⅱ 4本	平形Ⅱ		+ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	平形 II 2本	中広形	中広形	細形?	不明	中細形b	<b></b>	平形IIb	平形II 平形II
品	與劉劉劉 劉	剣	<b>憲</b>	剣	剣	魚	<b>€</b> §	<b>* *</b>	₩	*	*	剣	剣	*	憲	憲	魚 倒
出土地名		善通寺市善通寺町西ノ山鶴 ケ峯西麓	善通寺市善通寺町有岡南原 麻坂	<b>善通寺市与北町陣山</b>	善通寺市我拝師山980-1 (北麓斜面の東)	善通寺市我拝師山980- 116 (北麓斜面の西)	仲多度郡琴平町榎谷		仲多度郡満濃町長尾佐岡	高松市郷東町下ノ山(山林)		高松市西植田町剣山下	高松市西植田町	高松市庵治町円山	木田郡牟礼町羽間西ノ谷	大川郡寒川町石田東・森弘	
番号	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	香川 9	香川10	香川11	香川12	香川13	香川14		香川15	香川16		香川17	香川18	香川19	香川20	香川21	

献備		i内海歴 / 近藤「疋形銅剣C」 銅剣と銅鐸は一間許離れ・松 岡 て発見された 関部以上の刃部欠失 33)		— (1990) 極先端部付近断片、再加工痕有	袋部のみ	一(1992) 樋先端部分を再加工・転用	1 (1953)	松岡(1964)、寬文8年正月発見(発見者-長七)、近藤「広 西田(1953) 鋒銅子A,						松岡(1964)、寛文8年正月発見(発見者-長七)、愛媛2と 同一のものか	松岡(1964)、寛文11年発見(発見者―長七)、寛文8年5口 発見と同一のもの?		松岡(1964)、享保14年発見(発見者-三蔵)、15口の内日吉 神社の宝器となった14口は散失。領主に献じ た1口も不明。	松岡(1964)、宝永7年11月発見	西田(1953) 近藤「中鋒銅矛B」、本所池ないし神社の附近 で掘って寄進したものという	西田(1953) 近藤「広鋒銅矛B」、大窪台出土品の可能性あり	(1980)、近藤「平形銅剣BIIa」。西田によると松山附近出土の可能性あり。	
¥	長町 (1915)	幸田(1937)、三本(1940)、瀬戸内海歴 史 民 俗 資 料 館 (1983)、高 橋・松 岡 (1969)、香川県教育委員会(1983)		香川県埋蔵文化財調査センター	片桐(1992)	香川埋蔵文化財調査センター(	松岡(1964)、岡本(1969)、西田(1953)	長山(1916)、長山(1925)、松岡(1964) 岡本(1969)、西田(1988)、西田(1953)						長山(1916)、長山(1922)、松岡岡本(1969)、西田(1988)	長山(1916)、長山(1922)、松岡岡本(1969)、西田(1988)		長山(1916)、長山(1922)、松岡岡本(1969)、西田(1988)	長山(1916)、長山(1922)、松岡 岡本(1969)、西田(1988)	松岡(1964)、岡本(1969)、西田	松岡(1964)、西田(1988)、	松岡(1964)、岡本(1969)、岩永(1980)、 西田(1953)	
所 瀬 右		小豆島バス株式会社	香川県教育委員会	香川県教育委員会	*	香川県教育委員会	現地の小学校→伊 予市教育委員会	本田照昌	現存せず	現存やず	) []	現存せず	現存せず	現存せず	現存せず		現存せず	現存せず	八坂神社 (字和町歴 史民俗資料館出陳)	菅原稜雄(字和町 西山田)→三島神 社→所在不明	親寂寺 (字和町歴史民俗資料館出區)	派, 東雲小学校保管→ 松山市考古館
供 出 品	,	扁平鈕式銅鐸					土器残片 (不確か)															
遺構	山頂の岩石中におか れていた	大きな石の下		ピット出土	表採	I - 8 ⊠ SR01	開墾中地下1尺で発 見															
型	不明 3本	東部瀬戸内系平形	平形	平形Ⅱ	中広形	<b>-</b> 一	広形	広形	不明 (中広形: 17%)	が気あり 不聞(中広形	か伝形)	不明 (中広形されま)	がね形) 不明(中広形 や広形)	不明 (中広形 か広形) 8本	不明 (中広形 か広形)	€ ★	不明 (中広形 か広形) 15本	不明 (中広形 か広形) 12本	中広形	立形 立	平形Ⅱ	平形11平形11
品名	剣	剣	剣	剣	矛	剣or矛	≯	承	*	*	?	*	*	7.3	j 4.		子?	i *	*	*	₩	<b>劉</b>
出北地名	大川郡津田町北山北峰神社 後方	小豆郡內海町安田		観音寺市一/谷遺跡群平塚 地区	三豊郡財田町吉田	高松市林町空港跡地遺跡	伊予市上野向山東原	東宇和郡宇和町久枝大窪台						東宇和郡宇和町久枝	東宇和郡宇和町久枝		東字和郡字和町久枝	東宇和郡宇和町久枝	東宇和郡宇和町奎所附近 か? 詳細不明	出土地 詳細不明	東字和郡字和町清沢親寂寺 附近?	
番号	香川22	香川23		香川24	香川25	香川26	愛媛1	愛媛2						愛媛 3	愛媛 4		愛媛 5	愛媛6	愛媛7	愛媛8	愛媛 9	

備	近藤「中鋒銅矛A」			近藤「平形銅剣BIIb」 鋳かけあり、関部に 鹿を陽鏡							二次加工で新たに茎を作り出す	古くこの地で発掘されたもの	(小田「渔形Ⅲ」)	刃部欠損著		鋒部欠失		. 近藤「平形銅剣BIb」	関に双孔あり	. 近藤「平形銅剣BIa」従来丹原町古田出土と されてきたもの		
文	高橋(1925)、松岡(1964)、西田(1953)	上原(1930)、松山市教委(1991)、西田 (1953)		高橋(1925)、松岡(1964)、近藤(1970)、 東博(1980)、西田(1953)、西田(1954)	松岡(1964)、西田(1954)						松岡(1964)、西田(1953)	下條(1991)	松岡(1964)、小田・韓(1991)、西田 (1953)	東博(1977)、国立歷史民俗博物館 (1991)		岡本(1969)、国立歷史民俗博物館 (1991)	高橋(1925)、岡本(1969)、西田(1988)、西田(1953)	松岡(1964)、岩永(1980)、吉田(1993)、 西田(1953)、西田(1954)		松岡(1964)、吉田(1993)、長井(1987)、 文化財保護委員会(1981)		
所藏者	平勝成	上原準一→不明	不男 不男	東京国立博物館	愛媛大学附属小学校	柳原家		福岡八幡宮		所在不明(愛媛県 男子師範学校郷土 館旧蔵)		渡部家で伝世	青野徹 (今治城保管)	文化庁→国立歴史 民俗博物館		文化庁→国立歴史 民俗博物館		藤蔵寺	福岡八幡宮	京都国立博物館 5		
伴出品				傍に壺1個あり、現存せず																		
遺構	道路工事中地下5 ~6尺で発見	運動場開設中発見 道後公園東山麓		地下1.6尺の所、何等 包装なし							池の端から単独出土					崖の土掘り崩し、地下2mの地中で発見	崖の崩れた所より発 見			地下1.5mの所に平 に積み重ねる		
村				10本												2 *			'''			
副	中広形	平形Ⅱ	平形II 平形II	平形II	平形Ⅱ	平形Ⅱ		4	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	平形Ⅱ	異形	中 番 形 c	維形IV	平形Ⅰa	本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 来 和 工 年 本 光 形 工 本 光 光 工 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光	中広形	不明詳細不明	平形 I b 2本	中	平形Ib	平形 I c 平形 I a	平形Ib
品名	*	憲	魚魚	衡	剣	剣	寓 ७	《 軍 :	剣 剣	憲	憲	*	剣 (蜂)	憲	<b>鱼鱼鱼</b>	*	予 創か大	<b>₩</b>	<b>₩</b>	憲	剣 剣	剣
出土地名	東字和郡野村町四郎谷ニノ シリ	松山市道後公園山麓		松山市道後今市北1053 (旧 地名) 一万市筋	松山市道後樋又						松山市西野町	温泉郡川内町宝泉渡部氏巌品	+	越智郡朝倉村朝倉下保田 1038		越智郡玉川町別所藪谷乙 108-1	東予市三芳町旦ノ上大黒山	東予市壬生川町広岡竹谷	周桑郡丹原町願蓮寺扇田	東予市福成寺天神谷		
番	愛媛10	愛媛11		愛媛12	愛媛13						愛媛14	愛媛15	愛媛16	愛媛17		愛媛18	愛媛19	愛媛20	愛媛21	愛媛22		

*	従来丹原町古田出土とされてきた五口に共伴 した六口目	「本山考古室目録』に新居郡荻生村出土と紹介 してあるもの	刃部上半のみ	蜂部のみ	近藤「平形銅剣B IIb」	近藤「中鋒銅矛B」	蜂部のみ		関部双孔有	現存二口の銹の状況から存在を推定 (発見者)***				『中鋒銅矛A』	蜂部欠失	双孔なし。火事で焼けてちぢむ。高知4の2 本とともに3本同出の可能性あり。	双孔あり。高知3とともに3本同出の可能性あり。	双孔なし。高知3とともに3本同出の可能性あり。	:品 蜂部で2つに折損	伝世品 大正10年代に日高村波川より出土したものと推定
軟	(	今田 ()、西 (1993)			東博(1980)、近藤		<b>黎</b>				<u>溪</u>			岡本(1968)、岡本(1955)、  近藤「中鋒銅矛A」	1				山(1925)、伝世品	伝すった。
¥		松岡(1964)、関西大学(1973)、合田 (1978)、真鍋(1985)、吉田(1993)、西 田(1953)、元興寺文化財研究所(1993)	松岡(1964)、岡本(1969)	西田(1986)	松岡(1964)、近藤(1970)、東西田(1953)、西田(1954)	松岡(1964)、川之江市(1960)	高橋 (1925)、西田 (1953)	松山市教委(1991)	名本(1989)、西田·長井(1985)、吉田 (1993)、吉田(1994)					岡本(1983)、岡本(1968)、岡 岡本(1966)	岡本(1983)、岡本(1963)、岡本(1966)、 岡本(1968)	岡本(1983)、岡本・岡本(1994)、岡崎 (1982)、岡本(1968a)、岡本(1966)	岡本(1983)、岡本・岡本(1994)、岡崎 (1985)、岡本(1966)、岡本(1957)		岡本(1983)、寺石(1989)、松山(1925)、岡本(1968a)	
所 藏 者	越智数美 1	本山考古室→関西 核 大学 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)		田辺禅→鉾尾神社 団	東京国立博物館 松	奈良国立博物館 札	宮内庁書陵部	松山市教育委員会	土居町教育委員会 名	不明				中村市立図書館→ 暦 幡多郷土資料館 暦	宮崎嘉孝(伝世品)   岡	白雲神社→所在不   暦 明(盗難にあう)   (:	三島神社→所在不   B   円   円   円   円   円   円   円   円   円		小村神社	
件 出 品	112		赤手の土器(現存せず)			144	士器、琴柱形 7 石製品に類似 した石製品	K								<u> </u>	171		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
遺構			大石の下に横たえられていた	,		川床にきさっていた	粗製箱式石棺 (疑問 あり)	長推定67cm、幅推定 28cm、深17cmの長楕 円形の土壙に埋納	埋納土壙					深さ1.5mの暗褐色 粘土層	-					
村	平形 I a 平形 I a	平形Ⅱ	<b>》</b>	<b>以形</b>	平形11 2本	中広形	中広形	平形Ⅱ		蓄杉IID 畬形?	<b>御形</b> ?	番売? 番易り	<b>1</b>	中広形	中広形	中細形 b (Cy)	a 影 II D	維形 I (x)	中広形	中広形
品名	憲憲	<b>€</b>	K 14	垰	剣	*	¥	剣	<b>金</b> §	剣?	剣?	金 急	<b>聚</b>	*	*	剣	剣	Ą	*	圣
出土地名		新居浜市中荻町横山	字摩郡土居町津根西森立石	字摩郡新宮村鶴岡	川之江市川滝町柴生垣窪	川之江市金生町下分金生川 床	川之江市妻島町東宮山	松山市祝谷六丁場遺跡	宇摩郡土居町入野西番掛					中村市具同石丸	中村市八東山路 宮崎氏巌 品	高岡郡葉山村姫野々 白雲 神社巌品	高岡郡葉山村姫野々 三島 神社蔵品		高岡郡日高村下分宮ノ内小村袖社藤品	
番号	愛媛22	愛媛23	愛媛24	愛媛25	愛媛26	愛媛27	愛媛28	愛媛29	愛媛30					高知 1	高知 2	高知3	高知 4		高知 5	

-	現在は神宝としてい	神体 火災による損傷有、本来米奥銅戈 (高 知8)・高加茂神社蔵銅戈 (高知9) とともに 窪川町米奥付近より同出か 神体 火災により鋒近くの断片のみ残	河内神社滅銅太(高知7)、高賀茂神社滅銅太 (高知9)とともに3本同出の可能性ありという。	で1714年版を入して、1714年の日本の子の子の子の子が14年の日本の日本が同出かどうかは不明。すべ	て神社伝世品				開墾中に発見 関部以下欠失		*うち1口連結式鋳型による;片岡 (1993)			すれば、仁井田神社所蔵のものということになる。現在も高岡神社の祭礼に用いられる。 損傷者。			もと近くの神社にあったものを長崎氏の厳父	がもらい受けられたものという。	関部双孔あり。火災にあい縮少す			高橋 (1926)の「高岡郡多ノ郷村大字神田名 護屋坂水ケ峠」と同一。明治17年出土後古物 商に売渡したため詳細不明。
文	岡本(1972)、岡本(1983)	岡本(1983)	岡本(1983)、岡本(1968b)	岡本(1983)、岡本(1968b)、岡本					圈本(1983)、圈本(1968b)、圈本	(1966)、岡本(1968a)	岡本(1983)、岡本(1975)、岡本(1966)、	岡本(1968a)	岡本(1983)、岡本(1963)、岡本(1966)、	岡本(1968b)			岡本(1983)、武藤(1813)、岡本(1966)		岡本(1983)、岡本・岡本(1994)、岡本 (1966)、岡崎(1982)	文化財保護委員会(1959)、三木・岡本 (1961)、岡本(1983)、岡本・岡本 (1994)、岡崎(1982)、東博(1980)、岡 本(1966)		高橋 (1925)、岡本 (1983)、岡本 (1974)、岡本 (1968a)、岡本 (1968b)
所藏者	久礼八幡宫	河内神社	岡内英吉→高知県 立歴史民俗資料館 ニューニー	11.74、53 高賀茂神社神体					高知城懐徳館→高	知県立歴史民俗資 料館	田井宣男→高知県	立歷史民俗資料館	窪川町高岡神社				熊野三所神社→長	崎南外史→長崎梅 尾	賀茂神社	東京国立博物館		所在不明
構 伴 出 品											事中偶	後の発 ]ピット	1)発見				熊野三	7 (2本)		Jemで発		
薑									開墾中発見		水路を作る工	然発見、その後の発 掘で袋状埋納ピット	小山丘の裾より発見				もとは小野川	所神社の神体(2本 あったと記す)	世	開墾中地下60cmで発 見		
型	中細形の	中	中a新表	子 香 馬 か : 一 平 丘 広 歩 ・	<u> </u>	— 平 5 表 一 年 5 表	中広形	中中 中 子 所 形 形 形 形 力	中広形		中広形 1本	広形 4 本	中広形		4 万形		<b>万形</b>		a Marian	中細形 a (Ay)	中雒形 a (A') 中雒形 c (Cy)	中広形か広形 2 本
品名	*	Y k	44 .	X K	7 1	- * *	· 14	**	*		*		*		Me Me	r # #	*		剣	剣	魚魚	茶
出北地名	高岡郡中土佐町久礼	高岡郡窪川町上作屋 河内神社蔵品	高岡郡窪川町米奥	高岡郡窪川町市牛原 高賀					高岡郡窪川町作屋ホコノコ	Δ.	高岡郡窪川町作屋西ノ川口		高岡郡窪川町根々崎				高岡郡窪川町七里小野川		須崎市多ノ郷竹ノハナ	須崎市新荘波介1119		須崎市多ノ郷飛田坂本1729
番	高知 6	高知 7	高知 8	高知 9	- <del>-</del>				高知10		高知11		高知12				高知13		高知14	高知15		高知16

米		倒と戈は5m離れて出土				紐に孔あり。各部寸法一ともに袋部に鋳掛け有	〔武藤平道・稲毛実著〕								<b>貫に絵画(シカ・サギ・</b> 手			
=	、関部双孔あり	関部双孔あり。				近藤「中鋒銅矛A」 致より同笵品か?、	『探古録』(江戸後期) に図だけ残っている							蜂部のみ	身上半欠失、両面元翼に絵画 カエル・カマキリ) 有		耳欠失	神体
大	周本(1983)、周疇(1982)、石川(1986)、 岡本・岡本(1994)、吉田(1994)、岡本 (1957)	岡本(1983)、岡本・岡本(1994)、岡崎 (1982)、岡本(1962)、岡本(1966)	高橋(1925)、岡本(1983)、岡本(1968 a)、寺石(1891)、岡本(1966)	岡本(1983)、岡本(1978)、岡本(1968 a)、岡本(1966)、寺石(1891)	高橋(1925)、岡本(1977)、岡本(1968 a)、岡本(1983)	岡本(1968)、岡本(1963)、岡本(1966)、岡本(1968a)	岡本(1983)、岡本(1966)、岡本(1968a)	高橋(1925)、岡本(1983)、岡本(1966)、	岡本(1968a)				岡本(1983)、岡本(1975)	岡本(1983)、岡本(1966)	岡本・岡本(1994)、吉田(1994)	岡本(1977)、岡本(1983)	岡本(1977)、岡本(1983)	岡本(1983)
所藏者	明治大学考古学博 物館	森本興業所→高知 県立歴史民俗資料 館	高知城懷徳館→高 知県立歴史民俗資 料館蔵	高知県立歴史民俗 資料館	東京国立博物館→ フランス・パリ ルーブル博物館	高知城懷德館→高 知県立歷史民俗資 料館 個人蔵→行方不明	現存せず	郎→高知		石川兼太郎→高知     古浦戸町石川家	- m./ 、 1 1	石川兼太郎→高知 市浦戸町石川家	南口市図書館→高 知県立歴史民俗資 料館	安芸市立歴史民俗 資料館	高知県立歴史民俗 資料館	山の神神社	星神社	熊野神社
作出																		
遺構	水田を掘り下げ中出土	<b>至の掲示2.5∼3 m</b>			山腹崩壊の箇所より 出土	池の岸辺で発見		溝の土あげ中出土					袋状埋納ピット					
本	細形 I (x)	中徭形 a (A) 中広形	中広形広形	中広形 2本	中広形	中 中 市 万 形	広形	<b>広形</b>	万形	万赤	<b>万</b> 形	広形	中広形	<b>万</b> 影	中維形 a (Ax)	中広形 3本	広形	中広形 2本
品名	剣	剣 戈	* *	*	*	* *	垰	*	*	₩	*	朱	*	垰	剣	圣	矛	*
出北地名	吾川郡伊野町八田岩滝	吾川郡伊野町天神溝田	吾川郡春野町西畑フケ	土佐市波介東本村万福寺内	長岡郡本山町北山瀬ノ上	高知市三里池字長崎	高知市久万 久万神社旧蔵品	南国市田村カリヤ					南国市十市遅倉	安芸市川北江川	香美郡野市町兎田八幡宮巌	土佐郡土佐町駒野山の神神 社蔵	土佐郡土佐町柚ノ木星神社蔵	香美郡物部村大栃中谷川熊 野神社巌
番号	高知17	高知18	高知19	高知20	高知21	高知22	高知23	高知24					高知25	高知26	高知27	高知28	高知29	高知30

備		「細形銅剣 В II」	近藤「狭鋒銅矛d」、岡崎「中細銅矛A」 中細皿の最大の部類ないし中広の最小の部類 か?	発見箇所、出土状態不明 1・2を一個体として石膏復元		八木文献に同出として金環をあげるが別出で あろう	文献には「細形銅剣」とある		中山文献には甕棺出土と明言していないが、 岡崎文献の図には「甕棺」出土とある	岡本出土の戈によく似ている (京大報告)	内に人面を鋳出する。遺構の実態、共伴遺物 は不明	森「細形銅剣BIa」	飯倉唐木のものと同一	:難波「有田型」	文献には「細形」とあり	
		楪	選 年を	-(1)			文献			国	内に人には不明に不明	茶	飯倉	川岩	文献	
文	日高村教育委員会(1955)	青柳 (1823)、福岡県教委 (1985)、後藤 (1981)、塩屋 (1986)、岡崎 (1982)、小田・韓 (1991)、吉田 (1993)		渡辺(1960)、岡崎(1982)、柳田(1983)		八木(1900)、高橋(1925)、岡崎(1982)、柳田(1983)	東京考古学会(1968)	中山(1917)	中山(1917)、岡崎(1982)、東博(1980)、柳田(1983)		森・橋口(1968)、後藤(1980)	森(1968)、岡崎(1982)		森(1968)、岩永(1980)、岡崎(1982)、小田(1991)	岡崎 (1982)	柳沢 (1977)、 岡崎 (1982)
所 藏 者	小村神社	聖福寺→京都国立 博物館保管	現存せず	糸島高校	不明	許斐儀七旧蔵→東 京国立博物館		行方不明	鈴木基親旧蔵か→ 東京国立博物館	東京国立博物館	福岡市立博物館	福岡高校保管、破 損し現存セブ		福岡市博物館	東京国立博物館	福岡市博物館
伴出品		雅内より重圏 電子体験、 四光 画画 大体験、 国光体験、 正光体験、 正光体験、 正光线等 連 画 國 計 大力等														
遺構		甕棺外、甕棺高倉「中期中頃」橋口「K IIIb式」				耕地より発見		円墳 (箱式石棺)?	甕棺?		土砂の流れたあとに 発見	甕棺・森「金海式」 橋口「K I c式」、高 島「III式」		甕棺・森「金海式」 橋口「KIc式」、高 島「III式」		包含層にピットを掘 って埋める
松		(有两	~ ~ ~ ~ ·		銀の			*	1964		11 MV	₩u ±2= ππα		Wu 按 Imp	5井)	ΔD /
副	中広形	中 式 (A) (C)	維形 II a (x) 維形 II a (x) 中維形 c ?	維形 I (y)	細形 (脊部の   み)	濫形Ⅰ(y)		残片 27	維形IIb		中広形	細形 I	盆形	維形II a	細形(刃部片)	中細形a 3 本
品名	*	₹	苯苯戈	剣	憲	礟	憲	憲	厂	**	<b>X</b>	₩	寒	**	*	*
出北地名	高岡郡日高村下分宮ノ内 小村神社参道	前原市三雲南小路1号甕棺		前原市前原旧糸島高女敷地内	·	前原市井原赤崎	前原市原添	前原市泊大塚	糸島郡二丈町吉井	(伝) 糸島郡	福岡市早良区西入部白塔	福岡市西区飯倉唐木	福岡市西区飯倉丸尾	福岡市西区有田口西福岡高 校第2号甕棺	福岡市西区南大橋県営住宅	福岡市西区下山門字敷町
番号	高知31	福 国 1		福岡 2		福岡3	福岡 4	福岡 2	福岡 6	福岡7	個國8	福岡 3	福岡10	福岡11	福岡12	福岡13

献備	)、岡崎 細形銅剣の刳方上半から刃部中位までを再加 エ (茎は元部脊) 関に2孔、茎に1孔あり	近藤「広鋒銅矛A」	通津寺過去帳に出土の記載あり	中山(1920)、森「細形銅剣BIa」、甕棺・森「金海式」橋 小田・韓 ロ「KIc式」、高島「田式」 近藤「狭蜂銅矛 b」岡崎「細形銅矛」	資料館 111ロ一括出土の可能性高い 18)、岡		昭和28~29年頃忠魂社建設の際に出土。文献には「細形銅剣」とあり	)、岡崎   近藤「狭鋒銅矛c」岡崎「中細銅矛A」	破片、文献「細形鋼矛」とあり	80)、陌   株「雒形巒劍BⅡ」	80)、岡 森「細形銅剣BIb」、『古代史発掘』地名表の「岡本北方」と同一物
×	折尾(1977)、福岡市教委(1981)、岡崎 (1982)	渡辺(1963)		中山(1917)、中山(1918)、中山(1920) 東 博(1980)、岡 崎(1982)、小 田・韓 (1991)、小田(1985)	高橋(1925)、福岡市立歴史資料館 (1975)、中山(1917)、中山(1918)、岡 崎(1982)、下條(1977)	高橋 (1925)	福岡市教委(1970)	福岡市教委(1970)、東博(1980)、 (1982)	福岡市教委(1970)	京都帝国大学(1930)、岩永(1980)、 崎(1982)	京都帝国大学(1930)、岩永(1980)、崎(1982)、小田・韓(1991)
所藏者	福岡市博物館	九州大学文学部考 古学研究室	現存せず	東京国立博物館	住吉神社	現存せず	万—田皇	東京国立博物館	石井忠(福岡市博 物館保管)	京都大学文学部考 古学研究室	京都大学文学部考 古学研究室
伴出品						鏡、銅矛鎔箔					
遺	土壙墓	海底より出土		獲相3ヵ所6口 繼相・兼「金舗式」 権 相・兼「金舗式」 「K I c 込」、 高島 「Ⅲ 込」	神社伝世品につき詳細不明 社殿裏出土		甕棺?			甕棺·森「須玖式」橋口「K IIIa式」、高島「IV式」	
型	盆无	万	不明 5本	番売 I (x)	世中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	不明 4本	細形?	細形II a	細形?	細形IIP	細形Ix
品名	剣	矛	¥	剣 剣剣剣矛矛矛	矛 矛矛矛矛戈戈戈戈戈	不明	剣	承	¥	憲	剣
出土路名	福岡市西区今宿横浜	福岡市西区唐泊後浜	福岡市博多区板付通津寺境 内	福岡市博多区板付田端	福岡市博多区住吉町住吉神社歳品	福岡市博多区席田月隅	福岡市博多区諸岡	福岡市南区野間門の浦	福岡市南区三宅宕野	春日市岡本町(須玖岡本B 地点1号甕棺)	春日市岡本町 (須玖岡本B 地点付近)
番号	福岡14	福岡15	福岡16	福岡17	福岡18	福岡19	福岡20	福岡21	福岡22	福岡23	福岡24

a 未	「শ形繪像IC」	難波「水城型」	[「細形銅剣B 1 b」四折	文献には「中広戈」とあり		福岡30のうち5口が連結式鋳型による	難波「須玖久我氏屋敷型」 樋をもたない (断面形態は細形の剣・矛に共通)	バンジャク出土の銅剣と同一か	長二尺余という点「住吉社の蔵にあるものと 同物」という点からして中細か?	岡本5丁目出土9本と同一か	須玖東端出土の剣と同一か	禁「雒形鶴劍 B I a」
女	京都帝国大学(1930)、東博(1980)、岡 森崎(1982)、小田・韓(1991)、井上(1994)、岩永(1982)、古谷(1911)、八木(1910)、中山(1922)、中山(1927)、梅原(1937)	福岡県教委(1976)、岡崎(1982)、小田・ 難韓(1991)	福岡県教委(1976)、岩永(1980)、岡崎 森 (1982)、小田・韓(1991)	東京考古学会(1968) 文	森(1960)、東博(1980)、岡崎(1982)、 井上(1994)	中山(1922)、片岡(1993) 福	天理参考館(1971)、岩永(1980)、岡崎 (1985) (1982)	岡崎(1982)	高橋(1925) 長	春日市(1973) 岡		岡崎(1982)、小田・韓(1991)、馬渕・ 森平尾(1990)、吉田(1993)
所 瀬 本	東京国立博物館 (九州大学・京都大 学にも破片あり)	九州大学文学部考 古学研究室	九州大学文学部考 古学研究室		鈴木基親旧蔵→東 京国立博物館	內7本福岡磯野七平、1本東京国立 博物館、1本福岡 高岡半太郎	天理参考館	九州大学玉泉館旧 蔵、現存せず	現存せず		九州大学玉泉館→?	亀井勇 (春日市收 蔵庫保管)
(本田) 出	庫 國 国											
遺構	<ul><li>獲権・森「須玖式あるいは立岩式」橋口</li><li>「KⅢb式」高倉「須玖式」(一部の銅剣は有外)</li></ul>	甕棺・橋口「K III b 式」高倉「須玖式」	甕棺・森「須玖式」 橋口「K IIc式」高島 「V 式」			地表下5~6 寸で石1個有 り、そのさらに1尺5~6 寸下に埋蔵。刃をうちちが えて密接したまま埋没		甕棺	畑を築っているとき 出土			甕棺の可能性あり
村	多裔 衛子 番子 番子 番番 2 食子 (食子) (食子) (食子) 一種 一番 一番 一番 の 一種 一番 の 一種 一種 一種 の 一種 一種 の 一種 一種 一	細形IIc	細形 I (x)		中細形a	広形 9本	細形Ib	維形 I (x)	中細形の可能 性あり	中広形 9本	細形IIb	細形 I a (Ay)
品名	國國國家亦亦亦 齐	权	剣	*	44	*	赵	剣	*	矛	剣	剣
出土地名	春日市岡本町(須玖岡本D地点)	春日市岡本町(13号甕棺)	春日市岡本町(15号甕棺)	春日市岡本町	春日市岡本町	春日市岡本辻	春日市岡本町久我氏屋敷内	春日市須玖東端	春日市岡本バンジャクジン	春日市岡本バンジャクジン	春日市岡本バンジャク	春日市春日原キャンプ
番号	福岡25	福岡26	福岡27	福岡28	福岡29	福岡30	福岡31	福岡32	福岡33	福岡34	福岡35	福岡36

献備	京都 近藤「中鋒銅矛B」、折れ口は古いという	バンジャクジン出土の9本と同一か	近藤「中鋒銅矛B」	小倉新池湖畔の土取作業においてダンプカー に積み上げられた採集土から発見	・佐々 水道管埋設工事中に路面下約80cmの黒色土層中から発見 数本、中細形でを含むが他は中広、ただし中 広の内では古手のものが多い 48ロー括のうち、1 点のみ成分が異なることが分析で判明	近藤「広鋒銅矛B」		「鉾之記」の絵及び長1.33尺から推測	形質等不明。「剣」が出たとのみあり	近藤「広鋒銅矛A」、蜂半欠	<ul><li>(60) 近藤「広峰銅矛B」、 蜂半欠 連結式鋳型による</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(1993)</li><li>(19</li></ul>	近藤「甲鋒銅オA・B」 出土地不明、片野山出土11口の内からしかな	田上海台が30 / 月 田田山 II ロッパが りつ 1 に
文	中山(1917)、天理参考館(1971)、京都 帝国大学(1930)	夕刊フクニチ (1972)	渡辺・小田・松岡(1961)	東垮(1977)	西谷(1969)、東博(1977)、平尾・佐々木・竹中(1995)	中山(1918)、福岡県教委(1977)	福岡県教委(1979)	中山(1930)	坂本(1928)	中山 (1930)	中山(1930)、京都大学文学部(1960) 中山(1930)、黒沢(1989)、片岡(1993) 中山(1020) 自田(1020)	中山(1930)、島田(1939) 喜榛(1995) 由山(1930)	同備(1929)、 中田(1990)
所藏者	天理参考館	亀井勇 (春日市收 蔵庫保管)	松尾義長→福岡市 博物館保管	文化庁 (25本) 春日市教育委員会 (2本)	文化庁 (春日市教育委員会保管)	現存せず	福岡県教育委員会	現存せず	不明	東京大学文学部考 古学教室	京都大学文学等 由 计等 一	岸原善太郎	
作出	-						土器・木器	星雲鏡					
遺構	田地より掘出す		長1、幅0.4、深さ 0.2~0.3の長方体ピットの中に収められ ていた	出土状況不明	48日を基と鋒を交 <u>日</u> に並べ、身を織にした状態で埋納	水田の地下げ中発見	包含層	甕棺		安徳台の下の低所2.5 尺位下に12本まとめて 刃を互い違いにして横 に並べてあった	ト野 7 ( の) 7 ( ) 4 日 数 日 十 数 日 十 章 1 ( ) 市 1	採土中発見、小高い丘	
型	中広形 (袋部 のみ)	中広形	中広形 9本	中広形 26本 中細形 1本	中細形 C と中 広影 48本	<b>広形</b>	広形、断片	中細形 b (Ax?)		広形	¢	中広形 3本由下態。	F/AF :
品名	*	*	*	×	<b>4</b> 7	米	*	ᢀ	寒	*	र से से से से से से से	H 4	マ
出土地名	春日市坂本	春日市岡本5丁目	春日市小倉西方	春日市小倉1582-1	春日市原町3丁目無番地	春日市上白水門田	春日市上白水辻田	筑紫野市二日市峰	筑紫野市山家船町ヤツエ	筑紫郡那珂川町安德原田	や 脱細 加で出 出土 二 土 ブ 台	筑紫郡那珂川町岩戸恵子向	<b>人学时巾人学时位场</b> (
番号	福岡37	福岡38	福岡39	福岡40	福岡41	福岡42	福岡43	福岡44	福岡45	福岡46	日東	福岡47 超图48	1年回48

番号	出北地名	品名		遺構	供 田	所藏者	文献	備
福岡49	太宰府市安楽寺東南嶺	不明	不明 9本			*******************************	高橋 (1925)、中山 (1930)	安元元年(1175)発見。発掘地点今日もはや位置不明
福岡50	太宰府市片野山	¥	中広形 11本			太宰府天満宮 1 本その他10本は不明	高橋 (1925)、中山 (1930)、後藤 (1983)	天明四年発見、耄一部次。大きなもの長1.5尺幅0.3尺、小さなもの長1.2尺、幅0.25尺とあり、長1.5尺は大きすぎるか幅からしてほぼ中広としてよかろう。太宰府天満宮所蔵のものに関しては青柳種信「古器物図面」に「交野山出土」とあるが「数十一形状皆如図」とあるので「片野山」と同一であろう。
福岡51	太宰府市竈門神社巌品	*	中広	出土地不祥		竈門神社	高橋(1917)、岩永(1980)	茎に文様あり。『古代史発掘』5地名表に「中 広戈広子10」とあるのは誤り。
福岡52	太宰府市水城丸山	#7	細形 II c	土取作業現場での採集	Legis de la constante de la co	観世音寺	高倉(1976)、岩永(1980)、岡崎(1982)、 小田・韓(1991)	(難波「水城型」)
福岡53	(伝) 筑紫郡	矛	細形IIa(x)			東京国立博物館	森(1968)、東博(1980)、岡崎(1982)	近藤「狭鋒銅矛C」、岡崎「中細銅矛A」
福岡54	大野城市瓦田	¥	型式不明			津田信秀(福岡) →?	若林(1897)	詳細不明
福岡55	朝倉郡三輪町栗田	*	中細形 (蜂部 のみ)	甕棺 (合口)		坂本栄弥	坂本(1928)、柳田(1984)	折損部拓本によると背の折面に穴があるので 矛であろう 鋒と刃部中位の2片
福岡56	甘木市下渕	¥	中広形	大木の下より掘出す		太宰府天満宮	坂本(1926)、高橋(1925)、七田(1976)、 柳田(1984)	近藤「中鋒銅矛B」研ぎ分け有
		*	中広形 (蜂部 欠失)			朝倉高校		近藤「中鋒銅矛B」
		*	人久/ 中広形					近藤「中鋒銅矛B」
福岡57	甘木市馬田 (旧大刀洗飛行場)	魚 魚	権形I(y) 不明			坂出市鎌田共済会 郷土博物館 不明	渡部(1982)	
福岡58	朝倉郡朝倉町古毛	*	中広形	井戸堀中出土		旧朝倉中学校→坂 本栄弥	坂本(1926)、柳田(1984)	
福岡29	甘木市三奈木町板屋田中原	* *	中盆形り 弱らく中盆形り			甘木歷史資料館 不明	柳田 (1984)	鋳掛け有
4個團60	甘木市荷原池辺	*	中広形 3本			甘木歷史資料館	柳田 (1984)	
福岡61	小郡市三沢北牟田遺跡12号 木棺墓	剣 (鋒)	<b>a</b> 那?	木棺		福岡県教育委員会	高倉(1976)、福岡県教委(1979)、片岡 (1984)	南木口板付近の棺外底面に密着して出土。時 期高倉「前期末」
福岡62	小郡市立石胡麻野	¥	詳細不明 (中 広形?)				矢野(1853)、坂本(1928)、高橋(1925)、 片岡(1984)	嘉永初発見。坂本・高橋は狭鋒とするが、矢 野の文献からすれば中広の可能性あり
福岡63	小郡市乙隅	*	中広形?			所在不明	矢野(1853)、高橋(1925)、中山(1918)、 片岡(1984)	高橋・中山は広鋒とするが、矢野の文献から すれば中広であろう。
福岡64	小都市乙隅東畑542-1	兴 :	中広形	地表下60cmの深さで 2 ロが20cmの間隔で 水平に置かれていた。	\$\$ . \$\$ . A	小郡市教育委員会	井上・柴田・渡辺(1962)、片岡(1984)	茎半損、関一部欠。
]		K	中区形	- 1				鋒欠、刃部ほとんど欠。
福岡65	小郡市大板井	* *	中雒形a 中雒形a	甕棺(合口)		三井高校三井高校	九州考古学会(1950)、片岡(1984)	

# **	矢野の文献の図から中細形銅矛か	矢野の文献の図から中細形銅戈aと思われる	元禄十年、享保七年各々13口と5口出土。鋒 欠。近藤「中細銅矛A」 有文のものを18口の内に含めるか否かは矢野 文献の文章に混乱あり	完形品	<b>残欠、出土地不祥</b>	茎に糸をまいた痕跡あり		『関大資料図鑑』では長崎県下出土とされる	『関大資料図鑑』では長崎県下出土とされる : 岡崎 (1982) では玄海町出土とされる	近藤「広鋒A」、刃部片	身下半のみ、刃端欠	1964・3・3浜田常次郎より購入	節帯一条、関の下左右に棘状突起2個づつ持 つ等、板付、徳須恵のものなどとは異なる	文献に「銅剣」とあり	、一括資料だが詳細不明。 近藤「狭鋒銅予 d 」 岡崎「中細銅予 B 」		身下半残片、難波「有田型」	成分分析のためあけた孔たくさんあり	近藤「쑜鋒銅矛d」岡崎「中細銅矛B」
文	矢野 (1985)、高橋 (1925)		矢野 (1985)、高橋 (1925)、七田 (1976)	八女山門社会研究会(1967)	高橋 (1925)	古谷(1911)	森(1973)、岡崎(1982)、小田・韓(1991)	岡崎(1982)、花田(1995)	7七日(1995)、岡崎(1982)	森(1973)、花田(1995)	花田(1995)、天理参考館(1971)	元興寺文化財研究所(1993)、花田 (1995)	宗像神社復興期成会(1958)、岡崎 (1982)	若林(1897)	原田(1961)、岡崎(1982)、岩永(1980)、岡垣町教委(1981)	岡垣町教委(1981)、岡崎(1982)	岡垣町教委(1981)、岡崎(1982)、中島 (1980)	高橋(1925)	岡 崎 (1977)、岡 崎 (1982)、小 田・韓 (1991)
所藏者	福島大庄屋竹重→ 町在不田	7. I. H. I.	高良大社 1本 秋葉神社 1本 イタリア 1本 その他15本は現存 せず	麻生神社旧蔵→星 野村教育委員会	高良神社	東京大学人類学教 室→現存セず	皇石神社	関西大学	関西大学	宗像高校		天理参考館	致道博物館		九州大学考古学研究室	京都大学文学部考 古学研究室	九州大学考古学研 究室 池口洋一蔵	東京大学理学部人 類学教室	<b>奴塚市博物館</b>
出										土師器・銅鐸を 伴ったという									連弧文清白鏡、連 弧文日有喜鏡2、 重圈清白鏡、重圈 精白鏡、重圈米皎 鏡、鉄剣、鉄錐、 砥石2
遺						甕棺(合口) 森「中期中頃」		箱式石棺											鍪棺・森「立岩式」 橋口「KⅢc式」高島 「Ⅶ式」
型	中維形の可能	H人 中維形aの可能性大	中広形 18本	中広形 2本	中広形	細形IIC	細形Ia	中維形?	細形	<b>万</b> 影	維形 I	平形IIb	<b>盖</b>		中 日	中雒形D	維形 II a 維形 II (y)	中広形	中細形a
品名	*	*	*	圣	*	<b>●</b>	*	剣 (蜂)	剣 (蜂)	*	兴	憲	*	憲	剣 予戈	*	* *	**	长
出土地名	八女郡広川町吉常八ノ久保		<b>八女郡広川町藤田天神浦</b>	八女郡(伝)星野村十篭	久留米市高良大社所藏品	粕屋郡古賀町鹿部		宗像郡玄海町鐘崎上ハ	宗像市宗像町仲尾田隅608-4	宗像市宗像町釣川河床	宗像市宗像町高塚	宗像郡津屋崎町勝浦	宗像郡大島村沖の島	遠賀郡岡垣町吉木	遠賀郡岡垣町	遠賀郡岡垣町山田大坪	遠賀郡岡垣町元松原	鞍手郡若宫町金丸	飯塚市立岩堀田10号甕棺
番号	福岡82		福岡86	福岡87	福岡88	個岡89		個團80	福岡91	福岡92	福岡93	福岡94	福岡95	4個國96	福岡97	福岡98	福岡99	福岡100	福岡101

番	出土地名	品 名	私	通	作出品	平藏本	本	無
福岡102	嘉穂郡稲築町岩崎熊野神社 境内	ト	畬形IIa(x)	箱式石棺		熊野神社近くの個 人?	森(1960)、岡崎(1982)	
福岡103	嘉穂郡庄内町綱分	¥	中広形 3本	神亀年中に三振の宝 剣が三つの瓶より出 土		綱分八幡宮旧藏 · 所在不明	松岡(1786)、庄内町(1966)	
福岡104	嘉穂郡嘉穂町千手	<b>●</b>	<b></b>			千手小学校? 現存 せず	岡崎 (1982)	
福岡105	北九州市八幡西区大字馬場 山第27号土壙墓	矛 (蜂)	盆売	土壙墓	石剣共伴	北九州市教育委員 会	(助北九州市教育文化事業団(1980)	「時期は中期前半」
福岡106	北九州市小倉南区上長野	44	中広形			護念寺	原口・小田(1957)、小田(1976)	1920年長野城跡の土中より発見、寄贈
福岡107	北九州市小倉南区上長野61 番地	*	広形 2本			池永輝男	小田(1976)、北九州市史編纂委員会 (1985) ※うち1口連結式鋳型: 片岡 (1993)	鋒范石型の継ぎ目痕あり。1960年2月発見
福岡108	田川市権上の原	演	雒形 I (x)	箱式石棺	なし	植木 忠	花村(1974)、小田(1976)、岡崎(1982)	主軸を南北にした箱式石棺内の西南隅から出土
福岡109	田川市糒上の原	剣	細形IV	採土工事中単独発見。 土壙墓か?		福岡県教育委員会	花村(1974)、小田(1976)、小田・韓 (1991)	時期・小田「恐らく中期後半頃」(小田「細 形皿」)
福岡110	田川市糒上の原	₩		箱式石棺か?			7탄村 (1974)	花村によれば、上の原からは銅剣3本が出土し、共に箱式石棺からの発見で、鋳造、研磨ともにすぐれた細形銅剣だという。小田氏の記述と出土本数、出土遺構に関しずれがある
福岡111	田川郡糸田町	M <del>r</del>	中広形か広形 10本	<b>殖地から出土</b>		現存せず。発見者の長谷川九郎七氏が小倉県令に提出し、9口は県に留め1口は下付きれたが、その1口もたが、その8の後別の人に譲ったが、その8別の人に譲り渡された。	若林(1897)、 高橋(1925)、 三島(1979)	文献では「広鋒」「広発」「豊前、筑前其他出土考古品図譜」によると銅鉾十二箇、明治三年田川郡糸田村土中発見」とあり、同一事例を指すとすれば出土数に混乱有り。
福岡112	田川郡糸田町宮山 大宮神社	权	中広形 9本			東京国立博物館 8本 天理参考館 1本	花材利彦の県埋文カードには「宮山集 落跡、弥生中期社宅敷地整理中銅之8 個発見」、「糸田町史』には1940年1月 発見素焼の楕円形の壺の中より発見。 「福岡日日新聞・1940年1月25日付』に は大宮炭坑の社宅敷地造成地から高さ 45cmの素焼の壺が発見されその中から 出土。 東博(1980)、岩永(1980)	<b>鋳かけ痕跡、茎欠、鋒灰</b>
福岡113	田川郡糸田町雪浦	*	中広形 6本	一括出土		地元個人?		大宮出土の9本との関係が問題。あるいは重 復しているか。
福岡114	田川市鉄砲町夫婦塚	剣	不明 3本			不明	花村(1974)、大任町教委(1976)、花村 (1966)	
福岡115	田川郡金田町方城	47				不明	東京考古学会(1968)	文献には「広形銅戈」とあり

番号	出土地名	品	型	遺	件 出 品	所藏者	文	備
福岡116	田川郡大任町柿原	剣 (蜂)	<b></b>	石棺内。1948年発見		上城深治	大任町誌編纂委員会、大任町教委 (1976)、橋口(1976)、七田(1976)	時期・橋口「前期末~中期前葉」『大任町誌』 の復元図には疑問が有る。
福岡117	遠賀川流域?	圣	広形 (蜂部)			直方高校		
福岡118	行橋市天生田大将軍	*	広形?			尾形昌三旧蔵	高橋 (1925)	文献には「広鋒」とある。鋒部欠
福岡119	行橋市天生田農家所伝	44	中広形			小川敬善旧蔵	高橋(1925)	出土地不祥。大将軍遺跡に関係か?
福岡120	行橋市馬ケ嶽	¥	中広形			柏木勘八郎旧蔵	高橋(1925)、三島(1979)	茎に重圏文あり。出土地不祥。大将軍遺跡に 関係か?
福岡121	伝 行橋市周辺	*	広形 2本			福島 依		出土地不祥
福岡122	行橋市天生田	*	中広形	横穴?		所在不明	三島 (1979)	鋒部欠。詳細不明。他のものと重複か?
福岡123	「仲津郡」	*	中広形			所在不明	三島 (1979)	詳細不明。他のものと重複か?
福岡124	築上郡権田町湊	*	広形			浜田正一旧蔵・行 方不明	東京考古学会(1968)	袋部のみ
福岡125	築上郡大平村東下友枝	*	中広形			宮崎県総合博物館	後藤(1980)	茎部に1ケ所鋳かけあり
福岡126	伝 築上郡	**	中広形			高向 保旧藏・行 方不明	原口・小田 (1957)	茎に半円同心円文あり
福岡127	伝 福岡県	*	中広形			福岡市博物館	後藤 (1980)	人面茎
福岡128	伝 福岡県	剣	細形 I (x)			明治大学考古学博 物館	石川 (1986)	
福岡129	伝 福岡県	*	広形			許斐信一郎		
福岡130	糸島郡二丈町深江井牟田	剣	中国式	約50cm四方の土壙に 埋納	後期土器共伴、 遺跡から楽浪 系漢式土器	二丈町教育委員会	フクニチ新聞 (1991)	長15cm前後、故意に屈折
福岡131	前原市伝三雲	剣	中国式			伊都歷史資料館	馬渕・平尾(1990)	
福岡132	前原市井原松井	剣	<b></b>		甕棺墓		埋文研究会第20会研究集会(1986)	
福岡133	前原市高上石町	憲	<b></b>		箱式石棺墓		埋文研究会第20会研究集会(1986)	
福岡134	前原市高祖遺跡群	剣	細形		甕棺墓		埋文研究会第20会研究集会(1986)	
福岡135	前原市西堂遺跡群	剣	細形				埋文研究会第20会研究集会(1986)	
福岡136	福岡市早良区西新町C地区 19号甕棺	剣 (蜂)	<b></b>	KIVa式甕棺			福岡市教委(1982)	
福岡137	福岡市早良区東入部957号 木棺墓	<b>₩</b>	<b>二</b>	木棺		福岡市埋蔵文化財 センター	福岡市教委(1993)、元興寺文化財研究 所(1993)	前期末
福岡138	福岡市早良区東入部84号甕 棺墓	)	細形	甕棺		福岡市埋蔵文化財 センター	福岡市教委(1993)、元興寺文化財研究 所(1993)	中期初頭
福岡139	福岡市早良区飯倉	剣	維形			福岡市埋蔵文化財 センター		樋先端部近くのみ、あるいは飯倉唐木出土品 の一部に復元されていたものか
福岡140	福岡市西区飯盛88号甕棺	剣 (蜂)	<b></b>	甕棺(金海式)			福岡市教委(1986)	
福岡141	福岡市西区吉武高木100号 甕棺	<b></b>	細形 I (y)	甕棺 (金海式)		福岡市博物館	福岡市教委(1986)	
福岡142	福岡市西区吉武高木115号 甕棺	<b>運</b>	<b>* * * * * * * * * * * * * * * * * * *</b>	金海式甕棺	城ノ越式小壺 共伴	福岡市博物館	福岡市教委(1986)	

献備					(小田「細形川」) 蜂坊損後剣菱状に研ぎ直し 難波「古武高木型」		緊縛紐残存	網布付着	異形単独出土		袋部より木柄		(難波「字木汲田型」)		刃部に研ぎ分け (難波「吉武高木型」?)			(難波「吉武高木型」)	木製鞘遺存	
×	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)		福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)	福岡市教委(1986)		福岡市教委(1986)	下村・二宮(1990)
所藏者	福岡市博物館	福岡市博物館	福岡市博物館	福岡市博物館		福岡市博物館	福岡市博物館	4 福岡市博物館	福岡市博物館	福岡市博物館	福岡市博物館	福岡153に同じ	福岡市博物館	福岡市博物館	福岡市博物館		福岡市博物館		福岡市博物館	- 福岡市埋蔵文化財 - センター
世 田 世	城/越式小壺 共伴	碧玉製管玉 20·城/越式 小壺共伴	トスイ製勾玉 1・碧玉製管 玉135・城ノ越 式小壺共伴	<ul><li>参鉛細 文鏡</li><li>1・ヒスイ製</li><li>り玉1・碧玉</li><li>製管正95・城</li><li>/越式小壺井</li><li>イ 種式小壺井</li></ul>	:	城/越式小壺 共伴	青銅製方柱付 十字把頭飾共 伴	鍔金具1共伴		先端近くの樋 の部分		碧玉製管玉11 共伴	磨製石剣鋒4 共伴				城/越式小壺 共伴			青銅製方柱付 十字形把頭飾 共伴
遺構	金海式甕棺	木棺	木档	木棺		木棺	須玖式甕棺	須玖式甕棺		金海式甕棺	金海式甕棺	金海式甕棺	汲田式甕棺	金海式甕棺	金海式甕棺	金海式甕棺	木棺			汲田式甕棺
型	細形 I (y)	<b>維形Ⅰ(y)</b>	a N II P	維形 I (y)	維形IV 維形II 維形IIa?	細形IIb	細形 II b	細形 I (y)	細形皿	細形	細形 I (y) 細形 I	細形 I (x)	維形IIa	細形IIa	細形 IIa?	維形 I (y)	a 新形IIb	維形IIa?	細形IIb	<b>鳌形Ⅱb</b>
品名	剣	<b>(4)</b>	剣	<b>₩</b>	剣予戈	剣	礟	剣	剣	权	鱼不	剣	#	来	*	剣	壓	#	剣	剣
出土地名	福岡市西区吉武高木116号 甕棺	福岡市西区吉武高木1号木棺	福岡市西区吉武高木2号木棺	福岡市西区吉武高木3号木棺		福岡市西区吉武高木 4 号木棺	福岡市西区吉武樋渡75号甕棺	福岡市西区吉武樋渡77号甕棺	福岡市西区吉武樋渡	福岡市西区吉武大石1号甕棺	福岡市西区吉武大石45号甕棺	福岡市西区吉武大石51号甕棺	福岡市西区吉武大石53号甕棺	福岡市西区吉武大石67号甕棺	福岡市西区吉武大石70号甕棺	福岡市西区吉武大石140号甕棺	福岡市西区吉武大石 1 号木棺		福岡市西区吉武大石 4 号木棺	福岡市西区野方久保 5 号甕棺
番号	福岡143	福岡144	福岡145	福岡146		福岡147	福岡148	福岡149	福岡150	福岡151	福岡152	福岡153	福岡154	福岡155	福岡156	福岡157	福岡158		福岡159	福岡160

申	4 章	4	书	郵	山中秋	4 指	*	垂
世 [ ]		E 1			E	が 原 出		
福岡161	福岡市西区野方久保25号甕棺	<b></b>	a	汲田式甕棺		福尚市埋蔵文化財 センター	ト村・一宮 (1990)	
福岡162	福岡市西区野方久保	)	維形 I (x)	汲田式甕棺		福岡市埋蔵文化財 センター	元興寺文化財研究所(1993)	
福岡163	福岡市博多区比恵28号甕棺	剣	雒形 I (x)	須玖式甕棺		福岡市博物館	福岡市教委(1983)、元興寺文化財研究 所(1993)	絹布付着
福岡164	春日市須玖岡本日地点15号 甕棺	剣	細形 I (x)			春日市文化財収蔵庫	春日市教委(1995)	
福岡165	春日市須玖岡本	*	中広形			京都大学文学部博 物館		岡本5丁目出土9口の1口か?
福岡166	春日市須玖岡本	承	中広形			京都大学文学部博 物館		岡本5丁目出土9口の1口か?
福岡167	春日市日拝塚	剣					春日市教委(1973)	
福岡168	筑紫野市永岡第2次95号甕 棺	剣 (蜂)	盆形	KIIb式甕棺			筑紫野市教委(1990)	右腸骨に嵌入
福岡169	筑紫野市永岡第2次100号 甕棺	剣 (蜂)	<b>a</b>	KIIb式甕棺			筑紫野市教委(1990)	左腸骨、仙骨に嵌入、石剣鋒共伴
福岡170	筑紫野市隈·西小田第2地 点279号甕棺	剣 (蜂)	<b></b>	KIIIa式甕棺			橋口(1987)	
福岡171	筑紫野市隈·西小田第2地 点296号甕棺	剣 (鋒)	細形	KIIIa式甕棺	石之・打製石 鏃共伴		橋口(1987)	
福岡172	筑紫野市隈·西小田第3地 点109号甕棺	剣	細形IIb	甕棺		筑紫野市教育委員会	草場・渡邊(1991)	
福岡173	筑紫野市隈·西小田第5地 点10号甕棺	剣 (蜂)	細形	甕棺			馬渕・平尾(1990)	
福岡174	筑紫野市隈·西小田第7地点	*	中細形 23本	重機による表土掘削 中に発見		筑紫野市教育委員会	草場・渡邊(1991)	鋒を交互に組み合わせて埋納していたものと 推定
福岡175	朝倉郡夜須町東小田峯367 号甕棺	剣	細形 I (x)	甕棺		九州歴史資料館	馬渕・平尾(1990)、夜須町(1991)	特異なプロポーション 中期中頃
福岡176	甘木市平塚川添	矛 (耳)	広形				甘木市教委(1993)	
福岡177	久留米市東櫛原町石丸	矛 (鋒)	細形			久留米市教育委員会	フクニチ新聞(1988)	
福岡178	浮羽郡浮羽町 日永	*	<b>広</b>	長き100cm、幅25cm、 深さ15cmの長楕円形 の土坑		九州歷史資料館	福岡県教委 (1994)	広形銅戈とともに鋒をそろえて刃を立てた状態で埋納
-		*	<b>広形</b>			九州歷史資料館		広形銅矛とともに鋒をそろえて刃を立てた状態で埋納
福岡179	伝 浮羽郡内	¥	広形			神戸市立博物館	神戸市立博物館(1993)、福岡教委 (1994)	
福岡180	八女市柳瀬茶ノ木ノ本 5 号甕棺	剣	深樋式	甕棺		八女市教育委員会	八女市教委(1994)、中川・赤崎(1994)、 片岡(1995)	鋒より24cmのみ、樋内ベンカラ付着
福岡181	八女市野田	矛	細形	土壙墓		八女市教育委員会	#上(1994)	鉛製、翼部ほとんど欠失
福岡182	八女郡立花町北山今小路	44	不明				中村 (1994)	

備	中期中葉前後	双耳、中期中葉前後	中期初頭 (難波「字木汲田型」)	前期初頭、現狀銅鏃	前期初頭、現状銅鑿				木質の柄遺存 (難波「水城型」)	再加工複有、下端抉り有	<b>习部中位断</b> 片		鋼剣3口出土と伝えられるうち1口の可能性 も有	銅戈の可能性も有	岡本5丁目出土9ロの1ロか?	岡本5丁目出土9口の1口か?		研ぎ直し	蜂に「高良玉垂命」と陰刻、高良大社から分 与されたものと伝えられる	<b>蜂</b> 欠損		後期中頃~後半の竪穴住居内に埋納後、複数 回の埋納の痕跡有		
女	安部・清水(1987)、小田・韓(1991)、 中 花田(1995) 皇後市巻悉(1988)		小池(1993)、橋口(1992)、花田(1995) 中 (3	津屋崎町教委(1981) 前	津屋崎町教委(1981) 前	福島(1993)	福島(1993)、岩永(1994)	福島(1993)、岩永(1994)	福島(1993)、岩永(1994) 木	(朝北九州市教育文化事業団埋巌文化財   再調査室(1989)、藤丸(1996)	-	柳田 (1983)	柳田(1983) 編		<b>反馬考古資料館(1988) 阿</b>	東博(1980) 岡	国立歷史民俗博物館(1991)	柳田(1984)、馬渕・平尾(1990) 研	福岡県教委(1994) 与	中島(1980)、岡垣町教委(1981) 6	岡崎 (1982)	※回	花田 (1995)	
所藏者	九州歷史資料館		宗像市教育委員会			嘉穂町教育委員会	嘉穂町教育委員会	嘉穂町教育委員会	嘉穂町教育委員会			不明	太宰府天満宮	京都大学文学部博 物館	辰馬考古資料館 (鈴木基親旧蔵)	東京国立博物館	国立歴史民俗博物 館	廿木歷史資料館	天満神社			北九州市教育委員会	宗像郷土館旧蔵→ 行方不明	入江忠蔵旧蔵→行 方不明
件 出 品	碧玉製管玉12						磨製石剣蜂1															工器	人骨・袋状口 縁壺	
遺構	土壙墓		墳丘墓内の土壙墓			墳丘墓内木棺墓	墳丘墓內木槨墓	墳丘墓内甕棺 及田 式 (後半)	墳丘墓内甕棺	包含層 (前期末~中 期初頭)												住居内埋納穴内	組合式石棺	
型式	細形 II b	細形IIa	雒形 雒形IIa	遼寧式?	遼寧式?	細形	中細形a	中細形a	維形IIc	遊讏式	広形	盆形	細形II (x)	中細形 or 中 広形	中盤形の中 広形 中広形	中広形	広形	中国式	広形	細形II(y)	異形	広形	中 蓄 版 (∀,?) 日錐売。	不明
品名	剣	*	子 (蜂) 大	剣?	剣?	剣 (鋒)	*	¥	兴	剣 (茎)	*	<b>₩</b>	*	承	* *	*	*	劆	**	*	剣?	矛	<b>€</b>	(軍
出土地名	宗像市久原IV-1号土壙墓		宗像市朝町竹重SX-28	宗像郡津屋崎町今川	宗像郡津屋崎町今川	嘉穂郡嘉穂町馬見鎌田原2 号木棺墓	嘉穂郡嘉穂町馬見鎌田原6 号木槨墓	嘉穂郡嘉穂町馬見鎌田原8 号甕棺墓	嘉穂郡嘉穂町馬見鎌田原 9 号甕棺墓	北九州市小倉南区上徳力第 19地点	北九州市小倉南区山本岡遺 跡III区	糸島郡二丈町吉井	糸島郡二丈町吉井	春日市須玖岡本	春日市須玖岡本	春日市	伝 太宰府	廿木中寒水屋敷	大川市鐘ケ江天満神社蔵	遠賀郡岡垣町元松原	伝 飯塚市	北九州市小倉南区重留1丁目	宗像郡玄海町鐘崎上ハ中羅尾	
争	福岡183		福岡184	福岡185	福岡186	福岡187	福岡188	福岡189	福岡190	福岡191	福岡192	福岡193	福岡194	福岡195	福岡196	福岡197	福岡198	福岡199	福岡200	福岡201	福岡202	福岡203	福岡204	

着		文献に「狭鋒」とあり	鋒部のみ現存	出土が伝えられているのみ	森「細形銅剣BIa」、玉類と剣との共伴については疑問もあり	古代史発掘「地名表」には『唐津市史』によるとして、甕棺より広予出土とするが、「唐津市史』にはなし	近藤「狭蜂銅矛f」 研ぎ分け有 耳2つ			近藤「狭鋒銅矛d」 鉛製			1号甕棺の南約2mのところから単独出土	森「細形鋼剣BII」とあるが『唐津市史』の 図とくいちがう	森「細形銅剣C」『唐津市史』の図の「久里石 ケ崎」出土銅剣と同一物。鋒部次。佐賀11-1 との関係疑問。だぶるか?小田「細形Ⅲ」)、 無刳方	森「細形銅剣 B I a」	出土地疑問有り。詳細は文献参照	森「細形銅剣BIIorC」小田「細形銅剣BIIb」	近藤「狭鋒銅矛C」
大	大阪市立博物館(1994)	松尾(1958)	吉村·松尾(1949)、梅原(1950)、杉原· 原口(1961)、岡崎・木下(1982)、	杉原・原口(1961)	松岡 (1962)、岡崎 (1982)		吉村(1936)、松岡(1962)、岡崎・木下 (1982)、岩永(1982)		古代史発掘「地名表」には「唐津市央』 によるとして、甕棺より広形銅戈出土 とするが、「唐津市史』にはなし	松岡(1962)、岡崎(1982)、東博(1980)、 中島(1982)、井上·松浦(1993)、平尾· 榎本(1993)		松岡(1962)、橋口(1987)、高倉(1976)、中島(1982)	松岡(1962)、東博(1980)、中島(1982)、 井上・松浦(1993)、唐津市(1980)	松岡(1962)、森(1968)	森本(1930)、岡崎(1982)、岡崎(1982)	森本(1930)、東博(1980)、岡崎(1982)	高橋(1925)、東博(1980)	森本(1930)、藤田・高島・岡崎・森 (1982)、小田・韓(1991)	
所藏者	大阪市立美術館		西岡広志・唐津城 保管		中尾勇		酒井満代			東京国立博物館			東京国立博物館		竜渓顕雄	東京国立博物館	東京国立博物館	字木区末廬館保管	
(本) 出					硬玉勾玉1· 碧玉管玉4 ~10					碧玉製管玉9						丁字頭勾玉2		硬玉製勾玉2、碧玉製管玉22	
遺構					<b>甕棺松岡「須玖II式」</b>		甕棺			甕棺松岡「須玖式皿式」		甕棺松岡「須玖式II 式」、高倉「中期前 葉」、橋口「中期前葉 ~中頃」	土壙墓?	<b>%</b> 相	甕棺	<b>発枯</b> :		甕棺	
型	<b>広形</b>		広形		細形 I (y)		維形II d	中細形cの可能性あり		中繪形D	中盤 かり	<b>本</b>	雒形Ⅱa	不明不明	a 形IV	番形Ⅰ(x) 中緒形b 中維形c	中細形a	細形IIb	番形 II b
品名	孝	*	*	*	)	*	*	¥	¥	并	*	剣 (蜂)	圣	魚 卡	惫	剣矛矛	¥	憲	*
出土地名	伝豊前市河原田	唐津市平野町	唐津市桜馬場4丁目桜馬場 遺跡Cトレンチ近傍	唐津市桜馬場4丁目桜馬場 遺跡付近	唐津市山本字中尾	唐津市千々賀庚申山	唐津市千々賀庚申山		唐津市千々賀庚申山	唐津市久里大牟田久里小学 校構内2号甕棺		唐津市久里大牟田久里小学 校構内	唐津市久里大牟田久里小学 校構内	唐津市久里字徳武・釘山	唐津市久里字徳武・釘山 (「石ケ崎遺跡」)	唐津市柏崎石倉	東松浦郡浜玉町大字谷口字立中	唐津市宇木汲田	
番号	福岡202	佐賀 1	佐賀 2	佐賀3	佐賀 4	佐賀 5	佐賀 6		佐賀7	佐賀8		佐賀 9	佐賀10	佐賀11	佐賀12	佐賀13	佐賀14	佐賀15	

析	茶「細形銅剣 B II」	「細形鋼剣 BIb」	禁「維形鑑愈BIb」	(難波「字木汲田型」)	禁「維形劉剣BIa」		近藤「狭鋒銅矛c」	近藤「狭鋒銅矛c」	(難波「字木汲田型」)	「細形銅剣BIa」	「狭鋒銅矛C」	森「細形銅剣BIa」	戦国式銅剣の可能性有り。東博藤・伝安徽省 寿州出土剣に類似するか?三折・鋒欠	欠失		近藤「狭鋒銅矛b」。	
備	森「維形	茶	茶	(難波「与	茶		近藤「狭	近藤 (狭)	(難液「字	禁	近藤「狭	森「細形	戦国式銅 寿州出土(	鋒・刃端欠失		近藤「狭	
大	小田 (1967)、松岡 (1962)	小田 (1967)、松岡 (1962)	小田 (1967)、松岡 (1962)	小田 (1967)、松岡 (1962)	小田 (1967)、松岡 (1962)	小田(1967)、松岡(1962)、高倉(1976)	小田 (1967)、松岡 (1962)	小田 (1967)、松岡 (1962)	가 때 (1967)	小田 (1967)	岡崎 (1977)	小田 (1967)	松岡(1962)、岡崎(1982)、小田・韓 (1991)		松尾(1958)、相知町史編纂委(1971)	吉村(1936)、岡崎(1982)、小田(1985)	佐賀県教委(1949)、岡崎(1982)、武雄 市(1982)
所藏者	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所一在賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	京都大学人文科学 研究所→佐賀県立 博物館	九州大学文学部考古学研究室	九州大学文学部考 古学研究室	九州大学文学部考 古学研究室	九州大学文学部考 古学研究室	坂本市松→佐賀県 立博物館	松岡 史		北波多村教育委員 会(佐賀県立博物 館保管)	大井亀吉旧蔵
作 出 品		丁字頭硬玉製 勾玉	多鈕細文鏡					大形管玉1									
遺構	甕棺松岡「須玖川式」 橋口「K IIb式」森 「汲田式」	甕棺松岡「須玖II式」 橋口「KIIb式」森 「汲田式」	甕棺松岡「須玖II式」 橋口「KIIb式」森 「汲田式」	甕棺松岡「須玖II式」 橋口「KIIb式」	甕棺松岡「須玖」式」 橋口「K I c式」森「金 海式」	甕棺松岡「須玖」式」 橋口「KIc式」森「金 海式」高倉「中期初 頭~前半」	甕棺松岡「須玖川式」 橋口「KIIIa式」高島 「V式」	獲枯松岡「須玖Ⅱ式」 橋口「KⅡb式」高島 「V式」	甕棺橋口「K IIb式」 高島「V式」	甕棺橋口「K IIb式」 森「汲田式」	112号甕棺・橋口「K IIIa式」の付近	雞棺橋口「K II c 式」、森「汲田式」	麵棺	採集品		甕棺	甕棺
村	細形IIb	細形 I (x)	細形 I (x)	細形IIa	維表 I (y)	常	雒形II(x)	雒形II(x)	<b></b>	雒形 I (x)	細形 II (x)	細形 I (x)	有柄	中細形a	不明	細形 I (y)	細形 I (x)
品名	剣	<b>●</b>	<b>●</b>	*	●	剣 (蜂)	茶	弄	*	<b>※</b>	矛	憲	漁	47	¥	齐	剣
出北地名	唐津市宇木汲田6号甕棺	唐津市字木汲田11号甕棺	唐津市宇木汲田12号甕柏	唐津市宇木汲田17号甕柏	唐津市宇木汲田18号甕棺	唐津市宇木汲田32号甕棺	唐津市宇木汲田37号甕柏	唐津市宇木汲田41号甕柏	唐津市宇木汲田58号甕棺	唐津市字木汲田61号甕棺	唐津市宇木汲田112号甕棺 付近	唐津市宇木汲田129号甕棺	唐津市宇木鶴崎	唐津市宇木鶴崎	東松浦郡相知町大野	東松浦郡北波多村徳須恵	武雄市朝日町上滝
番号	佐賀16	佐賀17	佐賀18	佐賀19	佐賀20	佐賀21	佐賀22	佐賀23	佐賀24	佐賀25	佐賀26	佐賀27	佐賀28	佐賀29	佐賀30	佐賀31	佐賀32

米			が有ったことから甕棺内出土			A control of the cont	ケ里出土銅剣」	鋒欠。神埼郡神埼町神埼ケ里北方宝剣神社に 祀られていた	分け有				三田川町苔野寺家出土としても扱われてきた	松尾「中形銅矛」とあり。恐らく神埼郡目達 岡山井の1米1回一脚がなるこ	[11] — 120 C (2) (2) (1		穿の関に接する部分に紐を巻き付けた痕あり (難液「安永田型」)		茎未端に繊維を巻いた痕跡有り。森「細形銅剣B I b」	ŋ	В
備	「玉江遺跡」		付近に甕棺破片が有ったこ とするのは疑問			所伝のみ	指定名称「吉野ケ里出土銅剣」	蜂欠。神埼郡神 祀られていた	2 · 3 号に研ぎ分け有					松尾「中形銅予」とあり。	東田上の446		穿の関に接する部分 (難波「安永田型」)	詳細不明		太の可能性もあり	近藤「広鋒銅矛B
文	杉原 (1971)	松尾(1936a)	松尾(1936b)	松尾(1936b)、岩永(1980)	佐貿県教委(1978)、岡崎(1982)、元興 寺文化財研究所(1993)	松尾(1958)	松尾(1958)、岡崎(1982)、元興寺文化 財研究所(1993)	中園(1976)、佐賀県教委(1976)、岡崎 (1982)	七田(1976)、七田(1985)				三木(1943)、岩永(1980)、岡崎(1982)、 小田・韓(1991)、佐賀県教委(1949)、 小田(1985)	松尾(1958)			中山(1918)、岡崎(1982)	松尾(1958)	金関・金関・原口(1961)、岡崎(1982)、小田・韓(1991)	柳田(1969)、松尾(1951)	松尾(1949)
所勝者	江口真一郎→武雄 市教育委員会(佐賀 県立博物館保管)	永淵恒雄旧蔵→所 在不明 祐徳博物館	馬郡芳郎 (佐賀県 立博物館保管)	牛尾神社→小城町 教育委員会(佐賀 県立博物館保管)	佐賀県教育委員会、 佐賀県立博物館保管	所在不明	七田民子(佐賀県 立博物館保管)	神埼町保管	七田民子(佐賀県 立博物館保管)		三田川町教育委員	会(佐賀県立博物   館保管)	佐賀県立博物館保管				東京国立博物館		祐德博物館		
作出																			木柄破片、ゴホ ウラ製貝輪10		
遺構	礫敷直上出土	溝を掘り下げる時溝 底より出土	地下げ中出土		甕棺「中期前葉」	甕棺	表面採集						前方後円墳封土下の 甕棺				甕棺		甕棺橋口「K IIb式」高島「IV式」森「須 玖式」	甕棺	留から出土
社	影	広形 広形	中広形	中盆形 b 2 本	維形		鑑形Ⅰ(x)	鑑形 I (x)	中広形	中 日 日 万 恵	- 77月		細形 I (x)	中広形?	中広形?	中	a 型 II D		細形 I (x)		広形
品	<b>№</b>	* *	<b>4</b> 7	47	剣 (蜂)	剣	厂	剣	*	**	× *		)	*	*	**	#	*	<b>₩</b>	<b>剣</b>	*
出出格名	橘町大字永島字4	佐賀市高木瀬町大字高木字 四本杉	佐賀郡大和町尼寺	小城郡小城町 牛尾神社蕨	小城郡三日月町久米25号甕棺	神埼郡東脊振村辛上	神埼郡三田川町田手四本杉	神埼郡神埼町神埼ケ里	神埼郡三田川町目達原				神埼郡三田川町寺家瓢簞塚	神埼郡某所			鳥栖市柚比町安永田	鳥栖市田代?	三養基郡上峰町大字堤字四 本谷切通4号甕棺	三養基郡中原町大字原古賀字上地	三養基郡北茂安町大字東尾字
番号	佐賀33	佐賀34	佐賀35	佐賀36	佐賀37	佐賀38	佐賀39	佐賀40	佐賀41				佐賀42	佐賀43			佐賀44	佐賀45	佐賀46	佐賀47	佐賀48

米					遺跡からは擬朝		柄と、身の中			清、蒸下端ま						
= = = = = = = = = = = = = = = = = = =	(難波「字木汲田型」)	図のみある。有文		茎状の内(難波「IIIAaイ型」)	身上半欠失、中期前半以前、遗 鮮系無文土器多数出土	前期末、現存長4.6cm	方柱付十字形把頭飾付き有柄、 軸のズレ等から鋳造工程は複数		茎に細かな溝多数有	刳方下端に上端同様の突起・節帯、 で研ぎ					後期	後期前半以降
	岡崎(1982)、北茂安町教育委員会 (1986)	高橋(1925)、七田(1976)	武雄市教 (1990)、小田・韓 (1991)	武雄市教 (1990)、小田・韓 (1991)	佐賀市教 (1991)	佐賀県教 (1984)	佐賀県教委(1992)	佐賀県教委(1992)	佐賀県教委(1992)	佐賀県教委(1992)	佐賀県教委(1992)	佐賀県教委(1994)	佐寶県教委(1994)	佐寶県教委(1994)	佐賀県教委(1992)、小田・韓(1991)	佐賀県教委(1994)
所藏者	北茂安町教育委員 会(佐賀県立博物 館保管)	現存せず	武雄市教育委員会	武雄市教育委員会	佐賀市教育委員会	佐賀県教育委員会										
件 出 品			銅鉇1、碧玉 製管玉5				ガラス製管玉79			青銅製方柱付 十字形把頭飾				青銅製方柱付 十字形把頭飾		
遺構	甕棺		甕棺	甕棺		甕棺	甕棺須玖式 (立岩式 に近い)	甕棺須玖式	甕棺汲田式(新段階)	甕棺須玖式	甕棺須玖式	甕棺須玖式	甕棺須玖式	甕棺須玖式	環濠埋土中より出土	長さ48cm、幅24cmの 平面楕円形の土壙に 刃を水平に埋納
甘	細形 II a	中広形か?	細形 I (y)	細形 I b	細形 I (y)	<b>a</b>	細形 I (x)	維形IIb	魯形Ⅱb	雒形Ⅱc	細形 I (y)	細形 I (x)	<b>繪形Ⅰ(x)</b>	中維形 b (By)	深緬式	中広形
品名	*	¥	剣	*	)	剣 (鋒)	)	寒	寒	憲	剣	厂	<b>剣</b>	<b>₩</b>	剣(鋒)	¥
出土地名	三養基郡北茂安町大字東尾字東尾	三養基郡(鳥栖市)内	武雄市橘町片白釈迦寺 SJ279甕棺	武雄市橘町片白釈迦寺 SJ246甕棺	佐賀市鍋島町鍋島本村南遺 跡SP002土壙墓	佐賀郡大和町東山田一本杉 SJ075甕棺	神埼郡三田川町田手四本杉吉 野ケ里丘陵地区∨区ST1001 墳丘墓SJ1002甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉 野ケ里丘陵地区V区ST1001 墳丘墓SJ1005甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉 野ケ里丘陵地区V区ST1001 墳丘墓SJ1006甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉野ケ里丘陵地区V区ST1001墳丘墓SJ1007甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉 野ケ里丘陵地区V区ST1001 墳丘墓SJ1009甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉 野ケ里丘陵地区V区ST1001 墳丘墓SJ1054甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉 野ケ里丘陵地区V区ST1001 墳丘墓SJ1056甕棺墓	神埼郡三田川町田手四本杉吉野ケ里丘陵地区V区ST1001墳丘墓SJ1057甕棺墓	神埼郡神埼町大字鶴字下ノ 辻 吉 野 ケ 里 地 区 V 区 SD0925環濠跡	神埼郡三田川町田手四本杉吉野 ケ里丘陵地区 VI 区SD1122北郭環濠跡
番号	佐賀49	佐賀50	佐賀51	佐賀52	佐賀53	佐賀54	佐賀55	佐賀56	佐賀57	佐賀58	佐賀59	佐賀60	佐賀61	佐賀62	佐質63	佐賀64

備	10本に研ぎ分けあり	通称「北尾」出土	鉛分高い		身上半欠失、厚手大型		玉飾漆鞘に収納された状態で出土			中期前半以前、石製十字形把頭飾・舟形盤部 金具・鍔金具・青金具をもつ木製柄を装着		春部破片 長さ8.4cm・幅1.1cm			近藤「広鋒銅矛A」連結式鋳型による	出土地不祥	鋒部欠
文	北茂安町教委(1986)、七田(1985)	岡崎(1982)、岩永(1980)、佐賀県教育 委員会(1962)、小田・韓(1991)、北茂 安町教委(1986)	向田 (1994)	渋谷(1994)	佐賀県教委・佐賀県博(1994)、渋谷 (1994)	佐賀県教委・佐賀県博(1994)、渋谷 (1994)	佐賀県教委·佐賀県博(1994)、渋谷 (1994)	佐賀県教委・佐賀県博(1994)、渋谷 (1994)	渋谷(1994)	渋谷(1994)	原田 (1989)	古庄(1994)	寺沢 (1990)	格ノ首遺跡調査団(1974)、小田・韓(1991)、片岡(1993)、東亜考古学会(1953)		東亜考古学会(1953)	上対馬町教委(1984)
所藏者	文化庁(佐賀県立博物館保管)	北茂安町教育委員 会(佐賀県立博物 館保管)									上峰町教育委員会	小城町教育委員会	所在不明	対馬歴史民俗資料館	不明	舟志久頭乃神社	庄司祐 <b>次郎</b>   不明
世 田 出					大型青銅製方柱 十字形把頭飾			青銅製方柱付 十字形把頭飾						銅釧7、碧玉 製管玉、丹、 人骨 (歯冠破 片)、ガラス小 玉、土器			
遺構	1・2号と3~12号 は埋納時のグループ 別、長さ約1.5m、幅 約1.3mの隅丸長方 形の土坑に刃を立て、 耳を上にして蜂を互 い違いにして埋納と 補定復元		長楕円形の土坑に刃 を立てて埋納	須玖式甕棺	汲田式甕棺棺外	汲田式甕棺	汲田式甕棺	汲田式甕棺	汲田式甕棺	木棺	甕棺(「中期前半代」)		甕栺	石棺			
五	中広形 12本	維形IIb	中広形	中細形 b (By)	中維形 b (By)	中細形 b (By)	細形IIb	中維形 b (By)	細形 I (x)	細形 II b	維形	<b></b>		<b>広形</b>		万形	広形 不明
品名	₩.	<b>4</b> 7	ト	憲	憲	憲	厂	寧	淘	闽	矛 (鋒)	剣	急・予 (数量 不詳)	*	*	¥	**
出土地名	三養基郡北茂安町大字白壁字―の幡 (通称検見谷)	三養基郡北茂安町白壁字一 の幡	鳥栖市江島町本行	鳥栖市柚比町字前田柚比本 村SJ1114甕棺	鳥栖市柚比町字前田柚比本村SJ1124号甕棺	鳥栖市柚比町字前田柚比本村SJ1135号甕棺	鳥栖市柚比町字前田柚比本村SJ1137号甕棺	鳥栖市柚比町字前田柚比本 村SJ1140号甕棺	鳥栖市柚比町字前田柚比本 村SJ1148号甕棺	鳥栖市柚比町字前田柚比本 村SP1100木棺墓	三養基郡上峰町大字堤字一 本谷船石南遺跡104号甕棺	小城郡小城町大字小城字桜岡	神埼郡三田川町田手四本杉 吉野ケ里遺跡吉野ケ里丘陵 地区V区ST1001墳丘墓	上県郡対馬町古里塔の首第 3 号石棺		上県郡上対馬町舟志田代 久頭乃神社蔵品	上県郡上対馬町唐舟志津和浜
番号	佐賀65	佐賀66	佐賀67	佐賀68	佐賀69	佐賀70	佐賀71	佐賀72	佐賀73	佐賀74	佐賀75	佐賀76	佐賀77	<b>反</b> 下		長崎2	長崎 3

米	「豊崎にてえたといふ」とあり、多少出土地不確実	ったといふ」とあり、出土地不祥	したという		遺跡は宗教的意味をもった特殊理納遺跡であるという		出土地不祥、近藤「中鋒銅矛A」		「石づみ」が本来のものかどうか不明。「出土 の状況は要領をえない」という。出土数2は?			出土地不祥	·B」	矛が有ったという伝承のみ。文献では「広鋒 銅矛であろう」とする。	の断片」としている	ゴンクマという尾根の後の山から出たという	出土状態、遺構不明だが土壙のようなものに 収められていたとすれば、特殊埋納遺跡の公 算が大という。二折		予は E 地点の蓋石の下に露出していたと推定される
二	「豊崎にてえた 確実	「かつて青銅矛があったといふ」とあ	かつて矛が出土したという	茎に一孔あり			出土地不祥、近	蜂部のみ	「石づみ」が本う の状況は要領を			蜂の一部のみ。出土地不祥	近藤「中鋒銅矛B	予が有ったという伝承の 調予であろう」とする。	文献では「広鋒の断片」	ゴンクマという			
文	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)、小田(1977)、東 博(1980)		東亜考古学会(1953)		東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	長崎県教委(1974)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)、後藤(1922)	東 亜 考 古 学 会 (1953)、長 崎 県 教 委 (1974)、元興寺文化財研究所 (1993)		東亜考古学会(1953)、長崎県教委(1974)
所藏者	鳥居傳(木坂)→現 東 存せず	現存せず東	現存せず東	所在不明東	東京国立博物館 東博		佐護神御魂神社  東		現存せず 東	現存せず東	上県町教育委員       長         会・佐須奈中央公       民館保管	鉾山の小祀東	川本源盛東	伝承のみで現存せず 東	現存せず東	友谷地区の火鎮神社 東三	長崎県立美術博物館 東 (19	不明	所在不明 東 (116
件 田 品				剣把頭飾、有 鉤銅釧、角形 銅器	銅鎮(石棺内) 朝鮮系陶實土 器2、脚付弥 生式土器(石 蓋上)														上摘内〈鉄剣、鉄刀、ガラス小玉771〉土塘外玉771〉土塘外(弥生土器、南鮮系陶質土器、本田報等を開発の第一番を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を
遺構				遺跡・出土状態一切 不明	石蓋をもった石槨				石づみの中におきめ てあった		水田下より発見								石蓋土壙 (特殊埋納)
型式	広形(袋のみ)			深種式		及形 広形 中広形	中広形	広形	広形 (蜂部の み) 2本	断片 2本	中盤形aない し b	広形	中広形		断片	広形 (袋部のみ)	中広形 (柄部欠)	中広形 不明	中広形
品 名	矛	矛	*	寒	₩ ¥	~ K K	*	*	*	*	*	*	矛	¥	*	*	*	戈矛	冷
出土地名	上県郡上対馬町豊崎(伝)	上県郡上対馬町葦見剣島	上県郡上県町佐護井口浜	上県郡上県町佐護白岳	上県郡上県町佐護クビル		上県上県町郡佐護字小坂 神御魂神社巌品		上県郡上県町仁田内 ハチマンダン	上県郡上県町仁田内 へボノダン	上県郡上県町瀬田中来栖 亀のさえ遺跡	上県郡上県町大ガ浦鉾山小 祀蔵品	上県郡上県町樫滝槻の内	上県郡上県町飼所上鉾渕	上県郡上県町飼所下鉾渕	上県郡上県町佐護クビル字 ゴンクマ	上県郡峰町三根ガヤノキA 地点		上県郡峰町三根字がヤノキ ガヤノキE地点 下ガヤノ キ遺跡
番号	長崎4	長崎5	長崎6	長崎7	長崎 8		長崎 9		長崎10	長崎11	長崎12	長崎13	長崎14	長崎15	長崎16	長崎17	長崎18		長崎19

中	H	111	作	典	五	24	有	垂
133		憲	影	石棺?	武石()  形石()	[善右衛門	950)、東亜考古学会 (195 4)	1 「中期後半」もとB地点と <sup>3</sup> 5別々である。B地点は金鋼 剣・鉄斧・土器などの組合わ <sup>4</sup> に位置付けられるという
長崎21	上県郡峰町三根タカマツノダン	壓	<b>智形II</b>	箱式石棺	無角式剣把頭 1、小形方襲 1、小形方襲 2、節銃3、 上部2、馬簿 小片、ガラス 小干、ガラス	一 操田操	対馬遺跡調查会(1963)、東亜考古学会 (1953)、岡崎(1982)、小田・韓(1991)、長崎県教委(1974)、元興寺文化財研究 所(1993)	
長崎22	上県都峰町三根サカドウ	■ ★	番番番割のは	箱式石棺	無角式忽把頭 1、角形雞器、 双頭環状網器、 经頭形網器、 種工環状網路 有工環状網路 有孔上字形金 具、不用網器	東京国立博物館	対馬遺跡調査会(1963)、東亜考古学会(1953)、東摩(1980)、長崎県教委(1974)	<b>極先端付近断片</b> (1) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
			似の双耳					点解 ************************************
長崎23	上県郡峰町木坂 海神神社 藤品	茶	広形 6本			海神神社	東亜考古学会(1953)、片岡(1993)、片 岡(1994)	木坂石棺群1号石棺出土の可能性大 連結式 鋳型による 1本は元部のみ残る この1本は坂田によれば、木坂石棺群3号石 棺に副葬されていたのではないかという
長崎24	上県郡峰町木坂木坂石棺群 1号石棺	*	広形 (関部破片)	箱式石棺内	弥生式土器1、 金海式土器2、 ガラス小王 190、 東玉1	峰町教育委員会	坂田 (1976)	木坂・海神神社所蔵子6本の内、同出と考えられる5本の内の1本と同一個体。時期坂田「後期後葉」
長崎25	上県郡峰町木坂木坂石棺群5号石棺	长	<b>汤</b>	箱式石棺内	応力 〈木品製 切・土工1、 オ カ カ ナ 土 1、 カ カ カ ナ 土 1、 カ カ カ カ 田 調 製 別 海 利 財 別 財 制 銀 製 加 財 制 別 財 制 別 サ カ カ サ カ サ カ サ カ サ カ サ カ サ カ サ カ サ カ	峰町教育委員会	坂田 (1976)	4 片に折って、破片を積み上げて副葬していた。 近藤「広鋒銅矛A」時期「坂田後期終末」
長崎26	上県郡峰町木坂木坂石棺群6 号石棺	剣	×шжIV ?	箱式石棺外		峰町教育委員会	坂田(1976)、岩永(1980)、岡崎(1982)、 小田・韓(1991)、元興寺文化財研究所 (1993)	剣は副葬にあたって折られているという。時 期坂田「後期初頭あるいは中期末までさかの ほる?」(小田「細形Ⅲ」?)

備		2 つに折って重ねあわせて副葬してあったという (小田「細形皿」?)	出土地不祥、2本同出かどうかも不明		出土地不祥、近藤「広鋒銅矛B」 連結式鋳型 による		出土地不祥、近藤「広鋒銅矛B」	時期坂田「後期後半」	出土地不祥	拳と下端を欠く 連弧文明光鏡が剣とともに 蔵されているので、もと剣・矛・鏡の3者が 同所から出たと想像されるという	剣は鋒が極端に長く、型式認定難、もと部に 双孔あり		海に面した断崖の上に近年まで鉾が置いてあ ったという		拳欠
文		坂 田 (1976)、岡 崎 (1982)、 小 田・韓 (1991)、小田 (1976)、元興寺文化財研発所 (1993)	東亜考古学会(1953)、岡崎(1982)、元 興寺女化財研穿所(1993)		東亜考古学会(1953)、片岡(1993)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	峰町教委(1974)、元興寺文化財研究所 (1993)、岡崎(1982)、小田・韓(1991)	東亜考古学会(1953)、片岡(1995)	東亜考古学会(1953)、後藤(1922)		東亜考古学会(1953)、東博(1980)	中山(1950)、東亜考古学会(1953)	高橋(1925)、東亜考古学会(1953)、長 崎県教委(1969)	対馬遺跡調査委員会(1974)、岡崎 (1982)、小田・韓(1991)
所藏者		峰町教育委員会	今宮神社		鉾山神社→天諸羽 神社	天諸羽神社	白嶽神社・行方不明	峰町教育委員会	金子神社	滝山日出 次郎旧蔵・所在不明	現存せず	東京国立博物館	現存せず	現存せず、原友一 郎旧蔵	文化方
伴出品		箱内〈高坏〉棺外、弥生式土器分、金海式土器3、金海式土器2、鉄剣1、蹿金馬工器						弥生式土器1							双齡付十字形 把頭金具1、 輪先状金具1、 粟粒文十字形 把頭金具2、
遺構		箱式石棺外						箱式石棺内				殊い谷の東向き斜面。 地下20~30㎝に袋部と 蜂部を交互にしあたか も箱に収めたようにな っていた。そのうえに を約20㎝の円形自然石 があったという。その 石のさらに1~2尺下 に、地下3~4寸に2 っ、地下3~4寸に7 に、地下3~4寸に7 に、地下3~4寸に7 に、地下3~4寸に7		南向きの山の中腹	<b>埋</b> 藏土 攝
型式	細形IIc	維形IV?	細形 II	中広形	広形	中広形	広形	深樋式	広形 13本	中維形?	中広形	中広形 11本	不明	不明	松屋大
品名	矛	<b>€</b>	剣	矛 (鋒)	*	*	*	剣 (蜂)	*	憲	*	N <del>r.</del>	*	*	₩
出土地名		上県郡峰町木坂 木坂石棺群7号石棺	上県郡峰町吉田 今宮神社		上県郡峰町吉田 鉾山神社 蔵品 鉾大明神	上県郡峰町吉田 天諸羽神 社巌品	上県郡峰町吉田 白嶽神社 歳品	上県郡峰町吉田 恵比須山 遺跡6号石棺	上県郡峰町志多賀中原 奈 須加美金子神杜巌品	上県郡峰町櫛ムコガザイケ 住吉神社旧巌品		下県郡豊玉町大綱	下県郡豊玉町大綱	下県郡豊玉町小綱	下県郡豊玉町佐保シゲノガン
番号	長崎26	長崎27	長崎28		長崎29	長崎30	長崎31	長崎32	長崎33	長崎34		<b>反</b>	長崎36	長崎37	長崎38

備		連結式鋳型による	近藤「広蜂銅矛A」			予が1本出たという		近藤「広鋒銅矛A」	「土中より唐金の矛壹本を掘出す」とあり	出土地不祥、近藤「広鋒銅矛A」	出土地不祥、近藤「広鋒銅矛A」	出土地不祥
大		東亜考古学会(1953)、東博(1980)、片 岡(1993)	東亜考古学会 (1953)、東博 (1980)	東亜考古学会(1953)		後藤(1922)、東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)、岡崎(1982)、長崎県教委(1974)	後藤(1922)、東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953) ;うち一口岩永 (1980)、岩永(1985)	東亜考古学会(1953)	東亜考古学会(1953)
所 藏 者	文化片	東京国立博物館	東京国立博物館	奈良国立博物館	細川家蔵→東京国 立博物館	現存せず	仁位 淳	現存せず	現存せず	和多都美神社	和多都美御子神社	小
供 出 品	馬鐸1、貨泉 1、鐘形銅器 1、鉄剣、鉄 刀子、鉄ヤリ ガンナ、鉄鏃 3、鉄釣針1						小形方製鏡、青 銅製半球形飾 金具、鉄剣1					
遺構		二本が鋒先をうちちがえてあり、他の一本は不明。積み石、板石等の施設は無し。	<b>個地の地下二尺内外の</b> ところから出土。積み 石等の施設もなく、併 出物なく、ただ並列に あったという				箱式石棺 石棺の蓋の上にあったという	大きな一枚石の下か ら一本出た				
型	中広形	広形 3本		拉拉拉拉拉拉拉拉 形形形形形形形形	光光光	不明	番形IIb 。 。 深楹式	広形		広形 4本	広形	広形
品名	*	*				矛	<b>劉</b> 劉	矛	矛	矛	¥	矛
田土地名		下県郡豊玉町卯麦糠	下県郡豊玉町 佐志賀黒島			下県郡豊玉町貝口赤崎	下県郡豊玉町仁位和宮鹿之島 東の浜遺跡	下県郡豊玉町佐志賀宮鹿之島	下県郡豊玉町貝鮒玉崎	下県郡豊玉町 仁位和多都 美神社蔵品	下県郡豊玉町 仁位和多都 美御子神社蔵品	下県郡豊玉町 仁位嶽神社 巌品
番号	長崎38	長崎39	長崎40			長崎41	長崎42	長崎43	長崎44	長崎45	長崎46	長崎47

奉	# # #	地名	品名	松	遺構	朱 出 品	所藏地	女	備
44	1 日本	佐保キロス	₩	広形 (袋部のみ)	唔		豊玉町教育委員会	東亜考古学会(1953)	長崎49と同一個体と考えられる。箱式石棺の 棺内遺物の可能性大
長崎49	下県郡豊玉町 工遺跡	佐保イノサ	*	広形 (上半部のみ)	土取り作業中板石の 囲いから出たという。 布で包まれていたという		厳原町教育委員会	東亜考古学会(1953)、永留(1965)、長崎県教委(1974)	長崎48と同一個体と考えられる。箱式石棺の棺内遺物の可能性大
長崎50	下県郡豊玉町天神山山麓	神山山麓	*	広形(耳のみ)			豊玉町教育委員会	東亜考古学会(1953)、長崎県教委 (1974)	正確な位置・出土状況は明らかでない
長崎51	下県郡美津島町高浜ヒナ 南海浜	高浜ヒナタ	*	広形 2本	石棺内(?)	鉄剣、土器(?)	所在不明	東亜考古学会(1953)、後藤(1922)	近藤「広鋒銅矛B」、遺構、伴出品については 不明瞭
長崎52	下県郡美津島町高浜ヒナタ 地蔵堂横	高浜ヒナタ	*	広形 (上半部のみ)	箱式石棺?		厳原町教育委員会	東亜考古学会(1953)	畑の仕事中に掘出し地蔵堂横に放置したもの。 畑に棺材らしい板石があるので、箱式石棺出 土かもしれない。長崎51と重復?
長崎53	下県郡美津島町 幡宮所巌品	黑瀬城八	*	広形 7本			大吉戸神社	東亜考古学会(1953)	出土地不祥、近藤「広鋒銅矛A」
長崎54	下県郡美津島町 詞神社巌品	加志太祝	*	広形			太祝詞神社	東亜考古学会(1953)	出土地不祥、近藤「広鋒銅矛B」
長崎55	下県都厳原町山上神社蔵品	久根田舎銀	* *	中広形 (上半 部のみ) 広形 (蜂部のみ)			銀山上神社	東亜考古学会(1953)	出土地不祥、神社には青銅斧頭1も所蔵されており、矛と同出か?
長崎56	下県郡厳原町久根	根	*	中広形? (蜂 部のみ)	古墳 (?)		所在不明	東亜考古学会(1953)	
長崎57	下県郡厳原町阿連 戸原遺跡	庫 阿連瀬	* *	広 不 明	開墾にあたりX字形 にさしちがえて出土		長崎県立美術博物館所在不明	東亜考古学会(1953)、元興寺文化財研 究所(1993)	付近は箱式石棺群集地である。近藤「広鋒銅矛A」
長崎58	下県郡厳原町久田ハゲノサイ	ハゲノサイ	於	広形	石取りの際、石下よ り出土		現存せず	東亜考古学会(1953)	『津島紀事』付録に図がある。長2.8尺、幅0.37 尺からいえば広形
長崎59	下県郡厳原町	八幡宮神社	剣	異形			八幡宮神社	元興寺文化財研究所(1993)	
長崎60	上県郡上県町仁田観音堂	田観音堂	矛	広形 (袋部のみ)			仁田観音堂		
長崎61	下県郡豊玉町大字貝口学7 ルツキ	字貝口字フ	*	広形か中広形			現存せず		永留氏がかつて実見
長崎62	下県郡豊玉町佐保 ガ浜	保 キロス	弄	中広形	不明	不明	豊玉町教育委員会		五折
長崎63	下県郡豊玉町仁位ハロウA 地点	位へロウA	*	中広形 q	第5号箱式石棺下	小形方製鏡1、 弥生式土器、 ガラス小王	豊玉町教育委員会	豊玉町教委(1980)、豊玉町教委(1984)、岩永(1985)	1979・11・18発見
長崎64	下県郡豊玉町仁位ハロウ 地点	位ハロウB	老	広形 (袋部のみ)	第2号箱式石棺棺内	小形方製鏡1、 ガラス小玉多 数、土器片	豊玉町教育委員会	豊玉町教委(1980)、豊玉町教委(1984)	1979・11・17発見
長崎65	伝 対馬		¥	中広形?			大阪市立博物館		
長崎66	壱岐郡芦辺町原の辻	の注	剣	細形 鉄剣型			京大人文科学研究所		刃部 (蜂部か?)
長崎67	壱岐郡芦辺町原の辻大原18   号甕棺	の辻大原18	⑥	戦国式銅剣? (鋒部)	甕棺 時期高倉「中 期中頃 (須玖式)」		長崎県教育委員会	高倉(1976)、岡崎(1982)、小田・韓 (1991)	

_	出土地名	品	社	通	保 出 铝	所薦者	文	2000
愚 兩 品	壱岐郡勝本町勝本熊野神社 蔵品	來	中広形			熊野神社	中山(1920)	現在は一部残存、近藤「中鋒銅矛B」
讏	壱岐郡勝本町東触天ケ原	*	中広形	砂丘上		勝本町教育委員会	勝本町教委(1977)、岡崎(1970)、岩永 (1985)	文献にはセジョウガミとよばれる石祠の下か ら出土したとある。内1本近藤「中鋒銅矛B」
		**	中広形中広形			壱岐郷土館 芦辺町立那賀中学校		
⑩	壱岐郡勝本町東触高原	礟	不明				『古代史発掘』 5 地名表に「樋口資料」 によるとしている	
		**	人 人 馬 馬					
拍	壱岐	<b>●</b>	細形 I (y)			松浦史料博物館	岡崎(1982)、小田・韓(1991)、元興寺 文化財研究所(1993)	壱岐出土という所伝等があるわけではない
		剣戈	蓄表 II b 蓄影 I a				岩永(1980)、岡崎(1982)、小田・韓 (1991)	舶載品 難液 [鹿部型]・[貞柏洞型]
艦	棘早市立石町	)	盤形	甕棺		長崎県立美術博物館	正林(1971)、元興寺(1993)	有文ではない。恐らく細形 I であろう。下半部欠失
-IIIH	島原市三会景華園 1号甕棺	<b>●</b>	鉄剣形	甕棺 森「中期中頃 あるいは後半」	碧玉製管玉 (個数不明)	大津益雄	小田(1959)、岡崎(1982)	1957年発見。茎に糸巻の痕跡よくとどめる。 鋒欠
HITH	島原市三会景華園 2号甕棺	<b>●</b>	鉄剣形	2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	管玉(個数不明)	大津益雄	小田 (1974)、岡崎 (1982)	蜂欠
100	島原市三会景華園	₩	細形 (蜂部のみ)	表面採集		大津益雄	小田(1974)、岡崎(1982)	
-IIIII	島原市三会景華園	*	中쑓形a	甕棺 (単棺・石蓋) の棺外	勾玉1、管玉 15、布片	長崎県立美術博物館	島田(1931)、岩永(1980)、岡崎(1982)、 元興寺文化財研究所(1993)	
_		圣	中維形で					
頹	: 長崎県下	剣	細形 (蜂部)			関西大学考古学教室	関西大学(1973)	
4	上県郡峰町三根上ガヤノキ	剣	深樋式				朝日新聞長崎版(1994)	
<u> </u>	下県郡美津島町かがり松鼻	<b>€</b>	深種式		青銅製戦国式 把頭飾 (流雲 形 花 文 の 浮 彫)・ガラス玉 約1200個		美津島町教委(1988)、小田・韓(1991)	
<u> </u>	下県郡厳原町久田増田山	¥	<b>広形</b>	ハゲノサエ遺跡から 山一つ隔てた山中で 発見		厳原町郷土館	長崎新聞 (1989)	林道工事中に発見
		***	<b>石</b>			所在不明		
# 41	北松浦郡鹿町町深江兔大野台下地占第36号漕權	r #	<b>万</b>	不整形土壙 (祭祀遺 ದ )	後期土器	不明	鹿町町教委(1983)	袋部のみ、支石墓群中
Ш	D. J. B. A. J.			/: t				

備	中期末~後期初	刃部 (蜂部か?)	身の中央部のみ	破片 植先端部付近	袋部、節帯・耳・関部・樋に特異な文様を施す		近藤「狭鋒銅矛d」、岡崎「中細銅矛B」	内の片面に鳥か虫の異形化したような絵あり	近藤「広鋒銅鉾A」			最初から鋒部のみが副葬されていたらしい		近藤「狭蜂銅矛 d」竪穴住居址内の高床上に 4本並べてあった。高床の外側を破って黒髪 式の小児甕棺が埋葬されている			地下約60cmの所で周囲に何らの施設もなし
大	峰町(1981)、小田・韓(1991)	副島・正林(1995)、田川・副島(1995)	原口(1970)、八代市立博物館未来の森 ミュージアム(1993)	田添(1971)、岡崎(1982)、八代市立博 物館未来の森ミュージアム(1993)	長山(1930)、七田(1976)、井上(1989)	高倉(1976)、殿(1978)、橋口(1987)、岡崎(1982)、小田・韓(1991)、隈(1987)、八代市立博物館未来の森ミュージアム(1993)	熊本県(1925)、岡崎(1982)、八代市立 博物館未来の森ミュージアム(1993)	熊本県(1925)、富田(1988)、八代市立 博物館未来の森ミュージアム(1993)	熊本県(1925)、八代市立博物館未来の 森ミュージアム(1993)	文化財保護委員会(1962)、坂本(1967)、 岡崎(1982)、富田(1988)、八代市立博 物館未来の森ミュージアム(1993)	坂本(1967)、八代市立博物館未来の森 ミュージアム(1993)、富田(1993)	乙益(1965)、富田(1979)、八代市立博 物館未来の森ミュージアム(1993)	富田(1979)、八代市立博物館未来の森 ミュージアム(1993)	坂本(1967)、東博(1965)、岡崎(1982)、 八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)、岩永(1980)		川村(1935)、坂本(1967)、隈(1987)、 八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)	川村(1935)、熊本(1925)、隈(1987)、 八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)
所藏者	不明	長崎県教育委員会	山鹿市立博物館	岱明町公民館	不明	山鹿市立博物館保管	菊池武彦→東京国 立博物館	新開 巌	日吉神社	京都国立博物館保管	坂本傳男	八鉾神社→北部町 教委	熊本市立熊本博物館	京都国立博物館		鹿本商工高校	星子 清→鹿本高校
年 田 出	青銅製鍔金具 1・青銅製把 頭飾1・弥生 土器高杯脚2 共伴						不明		何かあったら しい					弥生土器片, 磨製石斧			付近から弥生式 土器の類発見
遺構	石棺			工事中表面採集	田中より発掘	甕棺「中期もやや下がる」ないし「黒髪式」、橋口「中期前葉」	地を掘っていて出土	耕作中出土	林を開く時に出土	水田の地下げ工事中 に掘出す。特に施設 なし	桑畑に堆肥を埋める 鎌を掘っている時出 土	箱式石棺		地下げ工事中出土。 竪穴住居址内に築か れた高床		深さ二尺にして発見	水田地下げの際に発見
村	維形IIc	鉄剣形	広形	細形	細形 II c? 2本	細形IIa	中細形a	中広形 2本	<b>以</b>	中細形 b 2 本	中広形	中広形		中細形a	中 音 音 音 音 形 あ	中広形	中広形
品名	<b>)</b>	剣	¥	*	圣	太(羅)	¥	¥	*	4 <b>Y</b>	*	大(蜂)	¥	*	***	¥	來
出土地名	上県郡峰町大字志多寶権/ 浦遺跡1号石棺	壱岐郡芦辺町原の辻	玉名郡南関町上坂下	玉名郡岱明町野口年の神遺跡	鹿本郡鹿央町	山鹿市蒲生下原	<b>菊池市隅府町玉祥寺</b>	菊池郡大津町後追大松山	菊池郡大津町陣内下町出分	菊池郡大津町真木西津留	菊池郡旭志村川辺上西原 1939	飽託郡北部町和泉川東八鉾 神社	飽 託郡 北部町鶴羽田	鹿本郡植木町今古閑		鹿本郡鹿本町御宇田	<b>鹿本郡鹿本町庄太郎丸</b>
番号	長崎82	長崎83	熊本1	熊本2	熊本3	熊本 4	熊本5	熊本 6	熊本7	熊本8	<b>藤本</b>	熊本10	熊本11	熊本12		熊本13	熊本14

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	小片なので器種不明		細川侯の寄進といい、阿蘇出土の疑い有り。	三折	出土地不祥、おそらく神杜付近?		出土地不祥	出土地不祥、1986年発見、近藤「中鋒銅矛 B」、鋒欠	出土地不祥		表採、袋部と片側関部のみ	「金銅鉾二枚」とあるのみで詳細不明		大分4と大きさ、形態にいたるまできわめて 近似。大正12年筑後より奉納(箱書)	大分3と大きさ、形態にいたるまできわめて 近似。大正12年筑後より奉納(箱書)		鋒部のみ		茎にまで研ぎが及ぶ	<b>壺片現存。高三潴式の複合口縁。</b>	内に同心円文施す。
大	高木(1979)、岡崎(1982)、関(1987)、 八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)	高木(1979)、岡崎(1982)、隈(1987)、 八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)	熊本県(1925)、八代市立博物館未来の 森ミュージアム(1993)	乙益(1954)、岡崎(1982)、八代市立博 物館未来の森ミュージアム(1993)	熊本県(1925)	熊本県(1925)	熊本県(1925)	熊本県(1925)	熊本県(1925)、八代市立博物館未来の 森ミュージアム(1993)	八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)	八代市立博物館未来の森ミュージアム (1993)	若林(1897)	質川(1953)、小柳(1989)	質川(1953)、小田(1970)、小柳(1989)	小用 (1970)、小柳 (1989)	質川(1953)、玖珠郡史編集委員会 (1965)、小柳(1989)	質川(1953)、小柳(1989)	質川(1953)、玖珠郡史編集委員会 (1965)、小柳(1989)	天理参考館(1971)、玖珠郡史編集委員会(1965)、岩永(1980)、岡崎(1982)、小卿(1989)、小田・韓(1991)、元興寺文化財研究所(1993)	玖珠郡史編集委員会(1965)、小柳 (1989)	質川(1953)、小柳(1989)
出品所藏者	熊本県教育委員会	熊本県教育委員会	藤崎宮	亀居正喜→熊本市 立博物館保管	鳥子三宮神社	笹原助→早稲田大 学文学部?	下城神社	両神社	天満宮神社→菅原 神社	京都国立博物館	熊本県教育委員会	行方不明	大分県立字佐風土記の丘資料館	日田市田島町大原 神社	大山町中央公民館	三島神社→行方不明	三島神社→行方不明	若八幡神社	天理参考館	附近より弥生 松田 実 式壺片	久住神社 久住町 民センター保管
遺構件	27号土壙墓のほぼ中 央部 前期の木棺墓 の可能性大	削平された土の中		箱式石棺と推定		地下四尺の所なし						作畠之間に掘出した								附近よ	開墾中発掘という。
本	不明	不明	中広形 2本	細形 I	中広形 2本	中細形aかb	中広形 4本	中広形	中細aかb	中広形	中広形	不明 2本	中広形?	中広形	中広形	中広形	中広形	中広形 2本	a 形 II c	中広形	中広形
品名	(蜂)	剣 (鋒)	权	<b>€</b>	垰	赵	¥	*	44	*	*	不明	*	*	*	*	朎	*	<b>₩</b>	*	#
出土地名	鹿本郡鹿本町大学下原宇天 神字天神免	鹿本郡鹿本町大字下原字天 神字天神兔	熊本市藤崎宮巌品 出土地 不祥	球磨郡多良木町大久保ヤリ カケ松	阿蘇郡西原村上鳥子 鳥子 三宮神社蔵品	阿蘇郡阿蘇町乙姫鏡山	阿蘇郡小国町下城神社巌品	阿蘇郡小国町宮原 両神社 蔵品	阿蘇郡小国町市原 天満宮 神社旧巌品	伝 菊池郡	阿蘇郡阿蘇町狩尾・下の原 遺跡	日田市津江山	日田市石井 出土地不祥	日田市豆田 出土地不祥	日田郡大山町 出土地不祥	玖珠郡玖珠町大字森字樋の口	玖珠郡玖珠町大字森角埋山	玖珠郡玖珠町帆足 出土地 不祥	玖珠郡玖珠町仲平	玖珠郡玖珠町大太田字元畑91	直入郡久住町大字久住字鉾 ノ木
番号	熊本15	熊本16	熊本17	熊本18	熊本19	熊本20	熊本21	熊本22	熊本23	熊本24	熊本25	大分1	大分2	大分3	大分4	大分5	大分6	大分7	大分 8	大分9	大分10

備		竹田町の古道具屋から買ったもの。文献に「クリス形狭鋒銅剣」とあるが詳細不明。 鉾ノ木出土の1ロか?	「クリス形狭峰銅剣」とあるので、戈であろう。文 献によっては「広蜂銅鉾」とするが疑問あり。	耳欠失。	袋部欠。							「長一尺一寸」からすれば中細こが近い。	1978年発見。ほぼ完形。埋納遺構は既に破壞され検出できず。	1979年 6 月発見。旧竜王小学校グランド。付着の砂に別の矛の圧痕あり。		7 ロまとめて埋納されていたが、ブルによる 破損を一度に受けたと推測。下半部半欠。う ち3 口研ぎ分け有、うち 1 口鋳掛け有	蜂部のみ。	出土地不祥。渡辺真澄が何づこよりか持来れるもの。2口の可能性も有	鋳放しとあるので広形だろうが、全長2.5尺は 庁形にしては毎いかり			長1.3尺は中広の最大の都頼が近い。数は「12」 ロの可能性もあり。
文		長山(1930)、小柳(1989)	高橋 (1925)	中山(1920)、小柳(1989)	質川(1954)、小田(1975)	質川 (1954)、小田 (1975)、小柳 (1989)					質川(1953)、熊野(1989)、小柳(1989)	高橋 (1925)、二宮 (1797)	字佐市教委(1979)、小柳(1989)、国立 歷史民俗博物館(1991)	安心院町教委(1984)、小柳(1989)		小田(1968)、東博(1977)、安心院町教 委(1984)、小柳(1989)、国立歷史民俗 博物館(1991)、七田(1976)、後藤(1980)	岡崎(1982)、小柳(1989)	高橋 (1925)、小柳 (1989)	高橋 (1925)	岡 崎(1982)、小柳(1989)、小田・韓 (1991)	高橋 (1925)、質川 (1953)、小柳 (1989)、 福岡県教委 (1994)	
所蔵者	現存せず	橋爪家	現存せず	田川郡後藤寺町津 留正一→行方不明	字佐八幡宮庁		所在不明				明治大学考古学陳列館	所在不明	国立歷史民俗博物館	安心院町教育委員 会 大分県立歴史民俗	資料館	文化庁→国立歴史 民俗博物館	不明	渡辺太郎→渡辺敏 喜代か?	1口は北馬城松本 苦旧語か?	豊後高田市中央公民館	近藤俊馬	豊前国築上郡字島 町柴田某旧巌か?
件 出 品			鉄剣2、多く の土器																			
遺構			円墳の箱式石棺	国道開設のため土掘 り中発見							箱式石棺	水田中より発見	道路の側溝工事の際 発見			原野を耕地中に発見され出土状況等は不明。	箱式石棺				小円墳の箱式石棺	前方後円墳のくびれ 部基底線上に墳丘斜 面に平行して鋒を上 にして埋没。
型	中広形か? 中広形か?	<b>中</b>		広形	中広形	4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4	中広形	4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	子 石 石 大 志	- 中 - 子 - 万 万 万 万 万 万 万 万	中広形	中細形か?	広形 不盟	中広形 2本		中広形 7本	維形	<b>広形</b>	広形 or 中広 表 13本	a 監 形 II a	広形 2本	中広形か? 3本
品 名	* *	*	兴	*	**	<b>₩</b>	¥	兴 :	K P	1	1 44	*	*	矛		*	剣	*	圣	太(蜂)	47	44
出土地名		直入郡内か?	字佐市金屋廟森	字佐市大字法鏡寺字上平703	字佐市 出土地不祥						字佐市大字南字佐	速見郡山香町大字小武山口赤迫	宇佐市法鏡寺上原	字佐郡安心院町大字鳥越字 切客780の3		字佐郡安心院町且尾谷迫 966-1	字佐郡安心院町大字新原	豊後高田市嶺崎字横峰	豊後高田市来縄	豊後高田市払田字大原	豊後高田市美和字雷	豊後高田市草地字猫石
县 皋	大分10	大分11	大分12	大分13	大分14						大分15	大分16	大分17	大分18		大分19	大分20	大分21	大分22	大分23	大分24	大分25

無		「考古学集刊」によれば、型式不明。小田によれば 「広鋒」。山口赤迫と同一品の可能性もある。	出土地は(神宮野の古墳、尾首山照川山カナソビラ)等諸説あり断定できず。実測図あり。	内に同心円文あり。		方2mほどの竪穴の中に納められていた可能性あり。鋒小欠。		長1.39尺、幅0.5尺からすれば、広形か中広の 島士34番	AX_V EPVSH		近藤「平形銅剣 I a」、出土遺構に関しては2 説有り。	鋒部のみ、脊縞有 難波「腹部型」	難波「鹿部型」	内1本近藤「中鋒銅矛A」				近藤「広鋒銅矛A」	蜂部、茎欠。二折。	
文	小田 (1968)	小田 (1968)	高橋 (1925)、日出町 (1986)、小柳 (1989)	質川 (1953)、小柳 (1989)		質川(1961)、岡崎(1982)、小柳(1989) ※うち1ロ;岩永(1980)	若林(1901)、高橋(1925)			質川(1953)	佐藤(1961a)、佐藤(1961b)、小田(1965)、小柳(1989)、吉田(1993)、文(比財保護委員会(1981)	小田 (1965)、岡崎 (1982)、小柳 (1989)、小州 (1981)、小田 (1991)	質川 (1953)、小柳 (1989)	瀬之口(1918)、中山(1920)、東博(1980)、東博(1980)、小崎(1980)	(1300)、74%p(1303)		小田 (1968)	質川(1953)、近藤(1974)、小柳(1989)	質川 (1953)、高橋 (1976)、小柳 (1989)	小柳 (1989)
田 所 藏 者	焼失	不明	浮島神社旧蔵 行 方不明	東京大学文学部考	古学教室 行方不明	京都国立博物館	熊本御城下に差出した	(		太田亘旧蔵→平安 博物館→不明	京都国立博物館保管	太田亘→東京国立 博物館→京都文化 博物館	大分市教育委員会 保管→大分市歷史 資料館	東京国立博物館	内藤記念館→宮崎	県立博物館保管 内藤記念館→不明 行方不明	小野忠彦	京都国立博物館	是	不明
半																			弥生式土器	
遺構			「古墳」とあるが不明	土器の夥しい包含地		畑地を掘っている時 出土。鋒重ねで外部 設備なし。					開墾に伴う偶然の発見	鉄道設置作業中砂丘 より発見		uo F			箱式石棺	山の中腹	小円墳の箱式石棺	
本	維形? 詳維不 明	広形?	広形 7本	中広形	中広形	中細形 b (By) 4 本	型式不明	型式不明 広形か中広形	広形か中広形 広形か中広形	盆形	平形1a	細形Ia	維形 I a	中広形	中広形中広形	中 好 万 形	中広形	広形 7本	中細a	不明
品名	剣	矛?	*	*	幺	寒	4.3	¢. ₹	X X	*	剣	*	47	*	**	**	*	*	¥	*
出土地名	<b>杵築市野田字新宮</b>	速見郡山香町広瀬北ノ原	速見都日出町真那井尾首山 鋒出	速見郡日出町藤原下野		大分市浜283	大分市木田名辺山			大分市細字浜	大分市丹生岡清水ケ迫	大分市久原字松崎	大分市滝尾字岩屋	大分市松岡字京ケ尾			北海部郡佐賀関町幸ノ浦	白杵市下北津留字中尾坊主山	<b>臼杵市大字諏訪中山</b>	玖珠郡玖珠町仲平 (三島神 社日藩)
番	大分26	大分27	大分28	大分29		大分30	大分31			大分32	大分33	大分34	大分35	大分36			大分37	大分38	大分39	大分40

析						大石付近から出土し	<b>は棺内副薬</b>		とあるが詳細不明					あるいは須玖岡本出土の可能性		ているが、型式的に			・耳に2条の綾杉文を陰刻、刃部		
備		袋部欠失	袋部欠失		先端のみ	神社裏の高尾山腹にある大石付近から出土したと伝えられる	鉄剣と銅戈は外甕内、他は棺内副葬	棺外副葬、立岩期	文献には「広形銅剣」と	出土地根拠極めて薄弱	近藤「中鋒銅矛B」			身下半欠失 あるいは須 も有	袋部下半のみ	目録では中国出土とされているが、 日本出土品と推定	<b>蜂欠損、突起下に鋳掛有</b>		節帯に3条・耳に2条の3 研ぎ分け		
文	小柳 (1989)	小柳 (1989)	小柳(1989)、片岡(1993)	小倉・佐藤(1994)	大分県教委(1989)	大分市史編纂委員会(1987)	日田市教委(1995)、土居・永田(1996)	日田市教委 (1995) 日田市教委 (1995)		渡部 (1982)	瀬之口(1917)、東博(1980)、河口(1988)	下野(1982)	仲宗 (1992)			京都大学文学部(1963)	近藤(1970)、馬渕·平尾(1986)、間壁· 間壁(1986)		井上(1989)、矢野(1853)	東博(1980)	黒沢(1995)
所 蔵 者	不明	大分県立歴史民俗 資料館	大分県立歴史民俗 資料館		大分県教育委員会	水分神社旧蔵→所 在不明	日田市教育委員会			鎌田共済会郷土博 物館(坂出市)	東京国立博物館	吉良 祝→種子島 開発総合センター		京都大学文学部博 物館	京都大学文学部博 物館	京都大学文学部博 物館 [1840]	倉敷考古館蔵	辰馬考古資料館	有馬家旧蔵 (現東 博蔵)	東京国立博物館 [10423]	明治大学考古学博
作出品							ゴホウラ製貝 輪15 鉄 剣 1・ガラス碩 玉製勾玉1・ 菅玉490以上	青銅製十字形把頭飾													
遺構				祭祀土壙出土	包含層	,	4号甕棺	2 号甕柏 1 号木柏			地下三尺の所で立っ たまま発見										
型	不明	広形a	広形b	細形	細形	中広形? 2 本	<b>*</b>	中細形 細形IIb		中広形	中広形	中広形中国式	無形	<b>警</b>	中広形	<b>細形Ⅱ(x)</b>	平形Ⅱ	平形Ⅱ	中広形	中広形	中 番 形 に
品名	大 (蜂)	*	*	剣 (鋒)	剣	朱	N N	火剣	剣?	¥	*	<b>水 寒</b>	剣 (茎)	剣	*	*	剣	剣	*	*	兴
出土地名	直入郡久住猪鹿狼寺旧本堂	字佐市大字小向野	字佐市大字小向野	字佐市川部	下毛郡三光村大字佐知	大分市大字横尾字二目川	日田市大字小迫字吹上原		宫崎県内	伝 宮崎県内	曾於郡有明町野井倉土橋 (ツチバシ)	西之表市松畠吉良家伝世	中頭郡読谷村字渡慶次中川原貝塚								
番号	大分41	大分42	大分43	大分44	大分45	大分46	大分47		宜崎1	四	應児島1	鹿児島2	沖縄 1	出土地不 詳1	出土地不 詳2	出土地不 畔3	出土地不 詳4	出土地不 詳5	出土地不 詳 6	出土地不 詳7	出土地不

新							全長84.6cm	全長38.6cm	出土地根拠薄弱、石野博信は「銅矛」寺沢薫 は「広形銅戈」とする『橿原考古学研究所論 集』4	製作場所、年代、疑問あり	北九州からの特込み品	全長72.6cm	全長74.2cm	全長80.1cm	全長83.0cm 耳をもれない、袋部内側鋳放していない	
文	国立歷史民俗博物館 (1991)	国立歷史民俗博物館 (1991)	国立歷史民俗博物館(1991)	国立歷史民俗博物館(1991)	国立歷史民俗博物館(1991)	国立歷史民俗博物館(1991)			高橋 (1925)、後藤 (1943)、東博 (1980)	吉田 (1932)	梅原(1940)	天理参考館 (1971)	天理参考館(1971)	天理参考館 (1971)	天理参考館 (1971)	
所藏者	国立歷史民俗博物 館 [A-266]	国立歷史民俗博物 館 [A-339]	国立歷史民俗博物 館 [A-270]	国立歷史民俗博物 館 [A-270]	国立歷史民俗博物 館 [A-370]	国立歷史民俗博物 館 [A-251]	福井県立博物館	福井県立博物館	東京国立博物館		栗井神社	天理参考館	天理参考館	天理参考館	天理参考館	鎌田共済会郷土博 物館
件 出 品										仿製鏡2面						
遺構										横穴式石室						
#										**						а
融	番	中広形	不明	人 思	中盤	中戊形	広形	中広形	中広形	異形	中広形	中広形	中広形	中広形	広形b	中細Ia
品名	<b>®</b>	*	*	*	#	料	*	料	*	*	*	*	*	*	*	<u></u>
出土地名																
番	出土地不 畔9	出土地不 詳10	出土地不 詳11	出土地不 詳12	出土地不 詳13	出土地不 詳14	出土地不 詳15	出土地不 詳16	出土地不 詳17	出土地不 詳18	出土地不 詳19	出土地不 詳20	出土地不 詳21	出土地不 詳22	出土地不 詳23	出土地不 詳24

# 第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器 関連資料文献目録

- 1、この文献目録は、付編第2章の埋納遺跡調査表ならびに第3章の銅鐸・武器形青銅器出土 地名表に引用した参考文献の一覧表である。
- 2、青銅器に関する論文や書籍は多数存在するが、ここでは各遺跡あるいは出土青銅器についてなるべく初現の報告文または代表的な論文を掲載するように努め、結果として多くの論文の記載を割愛した。
- 3、目録は、銅鐸と武器形青銅器の二編に分け、執筆者あるいは発行者を五十音順に掲載した。

#### 銅鐸関係文献一覧

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発行所
愛知県埋文センター	1982		朝日遺跡	
赤松啓介・三木文雄	1969	宍粟郡山崎町青木出土の銅鐸	桜ケ丘銅鐸 銅戈	
足立克己	1985		荒神谷遺跡銅剣発掘調査概報	島根県教育 委員会
阿南市教育委員会	1987		阿南市史 第1巻	
淡路文化史料館	1987		図説・邪馬台国の時代と淡路島	
池田正男	1978	但馬国日高町久田谷出土の銅鐸	月刊文化財 11月号	
石神 怡	1977	池上弥生ムラの変遷	考古学研究 23-4	
石川 巌・松本豊胤	1966	香川県善通寺市我拝師山出土銅鐸	日本考古学協会第32回総会研究発 表要旨	
石黒立人・宮腰健司	1990	愛知県朝日遺跡の銅鐸	考古学雑誌 75-4	
石野博信	1972	奈良県纏向遺跡の調査	古代学研究 65	
一山典・勝浦康守	1988	徳島市名東遺跡出土の銅鐸	考古学雑誌 73-4	
伊東富太郎	1928	伊勢国三重郡八郷村伊坂発見の銅鐸に就て	考古学雑誌 20-4	
井上洋一	1982	但馬気比銅鐸をめぐる2、3の問題	考古学雑誌 68-1	
印牧邦雄	1951	坂井郡雄島村米ヶ脇出土の新銅鐸について	福井県文化財調査報告 1	
上田三平	1920	越前及び若狭における古代遺跡 (銅鐸発見の遺跡)	福井県史蹟勝地調査報告 第1冊	
上田哲也・河原隆彦	1966	加古川市八幡望塚出土の銅鐸	播磨の弥生文化	
上原準一	1923	讃岐国三豊郡一ノ谷村古川発見の銅鐸につい て	考古学雑誌 13-11	
上原準一	1924	讃岐訪古小録 (一)	考古学雑誌 14-1	
上原準一	1927	讃岐国三豊郡二ノ宮村大字羽方字西ノ谷発見 の銅鐸及び銅剣とその出土状態について	考古学雑誌 17-9	
魚島純一	1992	エネルギー分散型蛍光 X 線分析による伝長者 ケ原銅鐸の表面顔料の調査	徳島県立博物館研究報告 第2号	
字野隆夫	1982	銅鐸のはじまり	考古学論考 小林行雄博士古稀記 念論文集	平凡社
梅原末治	1918	昨年の我が考古学界(上)	考古学雑誌 8-5	
梅原末治	1919	三河内村梅林寺 (銅鐸)	京都府史蹟勝地調査報告 第1冊	
梅原末治	1921	銅鐸に就いて(上・下)	芸文 12-4	
梅原末治	1921	河内恩智新発見銅鐸調査報告	民族と歴史 6-5	
梅原末治	1924	東伯郡八橋町発見の銅鐸	鳥取県史蹟勝地調査報告 第2	
梅原末治	1926	欧州に齎らされた銅鐸	人類学雑誌 41-7	

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発行所
梅原末治	1927		銅鐸の研究 資料篇・図録篇	大岡山書店
梅原末治	1933a	『銅鐸の研究』出版以後発見の銅鐸一覧表	考古学雑誌 23-4	
梅原末治	1933b	銅鐸研究の一新資料	考古学雑誌 23-4	
梅原末治	1934	有環銅鐸の新発見	歴史と地理 33-4	
梅原末治	1935	近江発見の小銅鐸	人類学雑誌 50-10	
梅原末治	1937	紀伊新出土の銅鐸に就いて一森氏稿に対する 付記—	考古学 8-9	
梅原末治	1940		日本考古学論攷	弘文堂書房
梅原末治	1941a	銅鐸に関する若干の新知見	考古学雑誌 31-5	
梅原末治	1941b	名古屋市出土の銅鐸	人類学雑誌 56-2	
梅原末治	1951	岡山県下発見の銅鐸	吉備考古 83	
梅原末治	1951	装飾文ある銅剣について―備前瑜伽山と讃岐 瓦谷の出土品所見―	吉備考古 83	
梅原末治	1952	備中下稲木出土の銅鐸について	吉備考古 84	
梅原末治	1953	一群の同笵鋳造銅鐸の絵画について	上代文化 24	
梅原末治	1953	谷文晁旧蔵の銅鐸に就いて	人類学雑誌 63-1	
梅原末治	1968	越前大石村出土の銅鐸の絵画	日本民族と南方文化	平凡社
梅原末治・赤松敏秀	1939	舞鶴市発見の銅鐸	京都府史蹟勝地天然記念物調査報 告 第20冊	
梅原末治・小泉顕夫	1923	大和山辺郡丹波市町石上発見の銅鐸と其の出 土状態	考古学雑誌 13-5	
江見正己	1987	岡山県倉敷市足守川矢部南向遺跡出土の小銅 鐸について	考古学雑誌 73-4	
大口町	1982		大口町史	
大阪府埋蔵文化財協 会	1994		第9回 泉州の遺跡展	
太田陸郎	1928	播磨神種発見の銅鐸	考古学雑誌 18-9	
太田好治他	1990		都田地区発掘調査報告書 下巻	
大野延太郎	1912	遠江引佐郡中川村悪ケ谷発見の銅鐸に就いて	人類学雑誌 28-9	
大場磐雄	1944	信濃国の銅鐸と鉄鐸	信濃 II 2-8	
大場磐雄・原嘉藤	1961	長野県塩尻市柴宮発見の銅鐸	信濃 III 13-4	
近江風土記の丘資料 館	1981		近江の銅鐸と銅鏡	
小笠原久和	1982	愛知県豊川市千両町出土の銅鐸について	考古学雑誌 68-1	
岡本健児	1966	銅鐸(弥生文化一古銅器)	高知県の考古学	
岡本健児	1968		高知県史 考古編	
岡本健児	1975	埋納穴を有せる銅鉾形祭器	季刊どるめん 7	
岡本健児	1983	高知県発見の銅矛について	高知の研究 1	
岡本健児・山本哲也	1984	熊野神社の銅鐸	馬路村の文化財 3	
岡本寛久·平井泰男· 朝倉秀明	1991	岡山県岡山市高塚遺跡	日本考古学年報 42 1989年版	日本考古学 協会
岡山県教育委員会	1990	山陽自動車道建設に伴う発掘調査(高塚遺跡)	岡山県埋蔵文化財報告 20	
岡山県教育委員会	1993	確認調査概要〔9〕井原市明見銅鐸出土遺跡	岡山県埋蔵文化財報告 23	
岡山県教育委員会	1995		足守川矢部南向遺跡	
小川栄一	1913	美濃国十六発見の銅鐸	考古学雑誌 3-10	
置田雅昭	1971	銅鐸と銅利器	資料案内シリーズ 9	天理大学附 属参考館
奥村清一郎・松本秀 人	1982	京都府相楽山銅鐸	考古学ジャーナル 210	
小野田勝一	1965	田原町大字西神戸発見の銅鐸	田原町史資料	
貝殼山貝塚資料館	1991		特別展・愛知の銅鐸	
加賀見省一	1982	   兵庫県久田谷遺跡出土の銅鐸	考古学雑誌 68-1	

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発 行 所
香川県教育委員会	1979	森広遺跡II	香川県埋蔵文化財調査年報	
香川県教育委員会	1983		新編香川叢書考古編	
賀川光夫	1953	新たに発見された東九州の銅鉾銅戈	考古学雑誌 39巻2号	
賀川光夫	1961	大分県浜遺跡	日本農耕文化の生成	
笠井新也	1933	銅鐸の一異例一内部天井面に環状突起を有す る鐸について	考古学雑誌 23-6	
笠井敏光	1979		西浦銅鐸〈羽曳野市埋蔵文化財調 査報告書〉1	
鍛冶利夫	1932	考古学より瞥見したる淡路の遺跡遺物に就い て	考古学雑誌 22-11	
鹿島町教育委員会	1976		志谷奥遺跡	
春日町教育委員会	1990		野々間遺跡	
勝浦康守	1987	徳島県徳島市名東遺跡	日本考古学年報 40	
勝田良太郎	1933	銅鐸ノ出土地	和歌山県史蹟名称天然記念物調査 報告 12	
勝部 昭	1981a	出雲・隠岐発見の青銅器	古文化談叢 第8集	
勝部 昭	1981b	志谷奥遺跡の発掘	えとのす 16	
勝部 昭	1982	島根県志谷奥出土の銅鐸・銅剣	考古学雑誌 68-1	
羯磨正信	1955	海草郡西山東村吉里字小山出土銅鐸古図	紀伊考古図録	
鎌木義昌	1961	岡山県兼基遺跡	日本農耕文化の生成	
鎌木義昌・間壁忠彦	1961	岡山県猿ノ森遺跡	日本農耕文化の生成	
蒲郡市郷土資料館	1981		三河の銅鐸	
<b>亀田修一</b>	1991	青銅器	岡山県史 原始・古代 I	山陽新聞社
川田信敏	1938	土佐青銅器時代遺物	土佐考古叢書 第2輯	
木崎愛吉	1921	安養寺銅鐸	考古学雑誌 12-2	
北川時治	1969	古代遺跡および遺物	郡家町誌	
北山健一郎	1993	弘田川西岸遺跡	香川県埋蔵文化財調査年報 平成 4年度	
木津町教育委員会	1982		相楽山銅鐸出土地発掘調査現地説 明会資料	
木下 忠	1960	尾道市大峰山出土銅鉾銅剣について	広島考古研究 2	
木村幹夫	1973	原始・古墳時代	上道町史	
清野謙次	1955		日本考古学人類学史 下巻	
桐原 健	1966	信濃国出土青銅器の性格について	信濃 III 18-4	
金関 恕	1982	神を招く鳥	考古学論考 小林行雄博士古稀記 念論文集	平凡社
久野邦雄	1979	伝羽曳山出土銅鐸観察	橿原考古学研究所紀要考古学論攷 第三冊	
	1933	伯耆新発見の銅鐸	考古学 4-3	
倉光清六	1933	伯耆八橋町銅鐸出土遺跡	考古学雑誌 23-4	
栗原雅也	1988	静岡県引佐郡細江町穴ノ谷出土銅鐸	考古学雑誌 73-4	
栗原雅也・佐原 眞	1991		<b>滝峯才四郎谷遺跡発掘調査報告書</b>	
小出義治	1951	日高郡晩稲クジ峠出土銅鐸	上代文化 20	
高知県教育委員会	1962	高知県伊野町天神出土の銅剣・銅戈	高知県文化財調査報告書 第12集	
神戸市立博物館	1993		銅鐸の世界展 一地の神への「い	
工楽善通	1964	袈裟襷文銅鐸	日本原始美術 4	講談社
国分直一	1979	越前出土銅鐸の船文	東アジアの古代文化 20	
国立歴史民俗博物館	1995		銅鐸の美	
小島俊次	1965	竹之内銅鐸出土地	奈良県の考古学	
小島俊次・伊達宗泰	1963	奈良市山町早田銅鐸出土地	奈良県文化財調査報告 6	

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発 行 所
小杉榲邨	1913		阿波国徴古雑抄	
後藤守一	1924	三河に於ける見聞(二)	考古学雑誌 14-4	
後藤守一	1937	駿河国駿東郡浮島村大字東井出発見小銅鐸	帝室博物館古墳・発掘品調査報告	
小林行雄	1938	青銅器	新修日本文化史大系 1	
近藤喬一	1984	日・朝青銅器の諸問題	東アジア世界における日本古代史 講座 2、倭国の形成と古墳文化	学生社
近藤喬一	1985	銅剣・銅鐸と弥生文化	古代出雲王権は存在したか	山陰中央新 報社
近藤喬一	1986	東アジアと青銅祭器	銅剣・銅鐸・銅矛と出雲王国の時 代	日本放送出 版協会
近藤 正	1966	島根県下の青銅器について	島根県文化財調査報告書 2	
近藤 正	1978	島根県下の青銅器について	山陰古代文化の研究(再録)	近藤正遺稿 集刊行会
近藤義郎	1951	美作国植月村念仏塚発見の銅鐸	吉備考古 83	
近藤義郎	1961	備前百枝月発見の銅鐸	古代吉備 4	
近藤義郎	1986	百枝月銅鐸出土遺跡	岡山県史 第18巻 考古資料	
近藤義郎・根木 修	1973	岡山市百枝月発見の銅鐸	考古学研究 19-4	
斎宮歴博・三重県埋 文センター	1994		三重県の祭祀遺跡―まつりのかた ちさまざま	
酒井龍一	1978	銅鐸・その内なる世界	摂河泉文化資料 10	北村文庫会
酒井龍一	1980	銅鐸(邪気と封じこめのオブジェ)論	摂河泉文化資料 21	
向坂鋼二	1968	静岡県引佐郡細江町中川不動平出土の銅鐸	考古学集刊 4-2	
桜井市教育委員会	1987		大福遺跡—大福小学校地区—発掘 調査概報	
桜ケ丘銅鐸・銅戈調 査委員会	1966		桜ケ丘銅鐸・銅戈 図版篇〈兵庫 県文化財調査報告〉1	
桜ケ丘銅鐸銅戈調査 委員会	1969		神戸市桜ケ丘銅鐸・銅戈 解説篇 〈兵庫県文化財調査報告〉 1	
佐原 眞	1960a	銅鐸の文様	世界考古学大系 2	平凡社
佐原 眞	1960b	銅鐸文化圏	図説世界文化史大系 20	角川書店
佐原 真	1964	銅鐸	日本原始美術 4	講談社
佐原 真	1968	銅鐸の美	日本美術工芸 363	
佐原 眞	1974a	銅鐸の祭りほか	古代史発掘 5	講談社
佐原 眞	1974b	銅鐸出土地名表	古代史発掘 5	講談社
佐原 眞	1978	朝鮮式小銅鐸と日本の銅鐸	字佐一大陸文化と日本古代史一	吉川弘文館
佐原 眞	1979	銅鐸	日本の原始美術 7	講談社
佐原 眞	1980	弥生式土器の絵画	考古学雑誌 66-1	
佐原 眞	1981	銅鐸と武器形青銅祭器	三世紀の考古学 中	学生社
佐原 眞	1982	三十四のキャンパス連作四銅鐸の絵画の「文 法」	『考古学論考』 小林行雄博士古稀記念論文集	平凡社
佐原 眞・春成秀爾	1982	銅鐸出土地名表	考古学ジャーナル 210	
佐原 眞・町田 章	1968	和歌山市有本出土銅鐸	和歌山県文化財学術調査報告書 3	
山陽新聞	1973	『鐘野(岡山)で"幻の銅鐸"2つ』	3月13日付記事	
静岡県教育委員会	1969		引佐郡細江町中川地区銅鐸分布調 查報告	
柴田常恵	1905	遠江に於ける銅鐸の発見地	東京人類学会雑誌 228	
芝田文雄	1982	静岡県引佐郡細江町滝峰七曲り二号鐸	考古学雑誌 68-1	
島田貞彦	1925	播磨国三日月村本郷発見の銅鐸に就て	考古学雑誌 15-10	
島田貞彦	1928	和泉国泉北郡浜寺町発見の銅鐸	歴史と地理 21-6	
島田貞彦	1930	紀伊国日高郡上南部村晩稲発見の銅鐸	考古学 1-3	
関 保之助	1900	銅鐸説	考古 1-4	

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発 行 所
瀬戸内海歴史民俗資 料館	1983		讃岐青銅器図録	
泉北考古資料館	1986		大阪府の銅鐸図録	
高井悌三郎・田辺征 夫	1979	伝淡路上御堂出土銅鐸について	辰馬考古資料館考古学研究紀要 1	
高橋邦彦	1958	銅鉾・古墳	文化財協会報 特別号 第3集	
高橋健自	1925	我が上代に於ける原始的絵画 (1)	国華 35-7	
高橋健自	1925	銅鐸に於ける原始的絵画	考古学雑誌 15-5	
高橋直一	1928	石見新発見の銅鐸に就いて	考古学雑誌 18-7	
高橋直一	1933	和歌山県箕島町新発見の二銅鐸	考古学雑誌 23-4	
高橋信明	1982	愛知県朝日遺跡出土の銅鐸片	考古学雑誌 68-1	
高橋 護・河本 清	1987	岡山県雄町遺跡の銅鐸	日本考古学年報 38	
高橋 譲	1990	岡山市雄町遺跡の銅鐸	考古学雑誌 75-4	
高畑知功	1986	蓮池尻遺跡	岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 62	
竹宮亜也子	1993	袈裟襷文銅鐸	鳥取県文化財調査報告書 17	
辰馬考古資料館	1978		銅鐸	辰馬考古資 料館
辰馬考古資料館編	1985		展観の栞 13	辰馬考古資 料館
辰馬考古資料館編	1988		考古資料図録	辰馬考古資 料館
巽 三郎	1957	新宮市神倉山経塚概報	考古学雑誌 42-4	
田所市太	1917	阿波国の銅鐸発見地に就いて	考古学雑誌 7-11	
田中正太郎	1894	越中旅行見聞記(大橋氏銅鐸)	東京人類学会雑誌 94	
田中敬忠	1962	紀川河底出土の銅鐸・紀伊橘谷出土の袈裟襷 文銅鐸	和歌山市文化財現地調査記録 2	
田中 琢編	1968		日本の銅鐸	神戸新聞社
田中 巽	1960	近時の銅鐸の出土に就いて	西田先生頌寿記念古代史論叢	
田中 巽	1986		銅鐸関連資料集成	
田中 琢	1977	鐸 剣 鏡	日本原始美術大系 4	講談社
田中義昭・三宅博士	1991	島根県邑智郡石見町中野仮屋銅鐸出土地の調 査	山陰地域研究 7	
田辺市教育委員会	1994		田辺市史	
田辺昭三・佐原 眞	1964	京都市梅が畑出土の銅鐸	日本考古学協会所和39年度大会研 究発表要旨	
谷田亀寿	1956	弥生時代	倉吉市誌	
種定淳介	1990	銅剣形石剣試論(上)・(下)	考古学研究 36-4、37-1	
丹治康明・須藤 宏	1989	兵庫県神戸市本山遺跡	日本考古学年報 42	
中国新聞	1989	「海底に銅鐸」	3月24日付記事	
津山市教育委員会	1987		津山の歴史と文化財	
寺石正路	1889	土佐ニ於ケル銅鐸・銅鉾ノ所在地名	東京人類学会雑誌 46	
寺田貞次	1935	小豆島の銅鐸	考古学雑誌 25-3	
寺田貞次	1937	銅鐸・銅剣を出せる小豆島安田遺跡	考古学 8-7	
寺田貞次	1939	讃岐我拝師山発見銅剣と善通寺町附近の上代 文化	考古雑誌 29-11	
寺田貞次	1941	讃岐加茂村発見銅鐸の出土地	古代文化 12-10	
東京国立博物館	1981		東京国立博物館図版目録 弥生遺物篇(金属器)	東京国立博物館
東京国立博物館	1993			
徳島県埋蔵文化財センター	1993		矢野銅鐸	

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発行所
徳島市教育委員会	1987		名東遺跡発掘調査概要	
鳥取県教育委員会	1960	保護文化財・袈裟襷文銅鐸	鳥取県文化財調査報告 1	
鳥取県教育委員会	1990			
鳥取県教育文化財団	1983		長瀬高浜遺跡発掘調査報告書V 本文篇・図録篇	鳥取県教育 文化財団
財団法人鳥取市教育 福祉振興会	1993		西大路土居遺跡	
豊田市教育委員会	1976	手呂町の銅鐸	豊田市史	
豊中市教育委員会	1976		利倉遺跡	
豊橋市史編纂委員会	1963	弥生時代 (銅鐸)	「豊橋市史」第1巻	
直良信夫	1927	本興寺所蔵の銅鐸	考古学雑誌 17-7	
直良信夫	1928a	閏賀発見の銅鐸とその出土状態	古代学研究 2-2	
直良信夫	1928b	播磨国加古郡八幡村望塚に於ける銅鐸出土の 状態	歴史地理 49-1	
直良信夫	1929	伯耆米里発見の銅鐸とその出土状態	考古学雑誌 19-10	
直良信夫	1932	石見上府村発見銅鐸の出土状態	考古学雑誌 22-2	
直良信夫・直良勇二	1929	垂水村新発見の銅鐸とその出土状態	考古学雑誌 19-2	
中沢澄夫・八木奘三 郎	1906		日本考古学	
長瀬高浜遺跡調査事 務所	1982	鳥取県東伯郡羽合町・長瀬高浜遺跡出土の小 銅鐸について	考古学雑誌 68-1	
中野倫太郎	1992	銅鐸	吉備の考古学的研究(上)	山陽新聞社
中山平次郎	1929	九州に於ける銅鐸	史淵 1	
中山平次郎	1929	有銘の銅鐸	歴史と地理 23-6	
名越 勉・甲斐忠彦	1973a	鳥取県東郷町出土の小銅鐸	考古学雑誌 59-2	
名越 勉・甲斐忠彦	1973b	弥生時代	倉吉市史	
難波洋三	1985	図版解説	展観の栞 13	辰馬考古資 料館
難波洋三	1991	同笵銅鐸 2 例	辰馬考古資料館考古学 研究紀要 2	
西祖谷山村	1922		西祖谷山村史	
西谷真治	1979	天理図書館蔵『好古集帳』所載の銅鐸と鍬形 石	ビブリア 72	
西谷真治	1982	ボストン美術館所蔵銅鐸の出土地について	考古学雑誌 68-1	
新田町教育委員会	1993		新田東部遺跡群	
沼田頼輔	1913	銅鐸考	考古学雑誌 3-10	
沼津市教育委員会	1978		藤井遺跡発掘調査報告書	沼津市教委
葉賀七三男	1991	島根県中野仮屋遺跡出土の銅鐸成分分析結果 について	山陰地域研究(伝統文化) 7	
波爾和生	1900	解題「聆濤閣帖」	考古 1-1	
羽曳野市教育委員会	1991		重要文化財西浦銅鐸	
浜田耕作	1918	一、二の銅鐸及銅鉾の成分に就て	考古学雑誌 8-6	
春成秀爾	1978	銅鐸の埋納と分布の意味	歴史公論 4-3	
春成秀爾	1982a	銅鐸の時代	国立歴史民俗博物館研究報告 1	
春成秀爾	1982b	銅鐸祭祀の終焉	歴史公論 8-4	
春成秀爾	1984	最古の銅鐸	考古学雑誌 70-1	
春成秀爾	1987	銅鐸のまつり	国立歴史民俗博物館研究報告 12	
春成秀爾	1989	九州の銅鐸	考古学雑誌 75-2	
春成秀爾	1990	男と女の闘い―銅鐸絵画の一齣―	国立歴史民俗博物館研究報告 25	
東大阪市遺跡保護調査会	1981	A CONTRACT OF THE STATE OF THE	鬼虎川の銅鐸鋳型	
東奈良遺跡調査会	1975	東奈良遺跡出土の銅鐸鋳型	月刊文化財 141	

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名	発行所
樋口隆康	1974	「シカと流水文・狩と脱穀」「銅鐸とその他の 青銅器」	古代史発掘 5	講談社
兵庫県史編集専門委 員会	1992		兵庫県史 考古資料編	
平野和男・向坂鋼二	1965	静岡県引佐郡三ケ日町猪久保出土の銅鐸につ いて	考古学雑誌 51-1	
広嶋一良	1982	福井県三方郡三方町向笠出土の銅鐸について	考古学雑誌 68-1	
広島県歴史民俗資料 館	1993		ひろしまの青銅器	
福家惣衛	1962	香川県出土の銅剣	考古学雑誌 37-4	
藤井直正·田代克己· 島田義明	1976	宝塚市中山出土の銅鐸	宝塚市文化財調査報告 8	
藤田純子	1963	大阪府で銅鐸発見	古代文化 10-5	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
藤原音松	1917	備中呉妹銅鐸発掘地踏査報告	考古学雑誌 8-2	
船越勇三郎・山崎常 磐	1933	遠江新発見の銅鐸	考古学雑誌 23-4	
前田敬彦	1995	紀伊における弥生時代集落と銅鐸	古代文化 47-10	
間壁忠彦	1979		真備町史 第2篇	
間壁忠彦・間壁葭子	1986	鉛同位体比測定青銅器の資料解説	倉敷考古館研究集報 第19号	
松岡秀夫	1976	赤穂市上高野発見の銅鐸鎔笵	考古学研究 23-2	
松崎慊堂	1843		掛川誌稿	
松崎寿和・潮見浩・ 藤田等	1966	広島県(備後国)世羅西出土の銅鐸	広島大学文学部紀要 26-1	
繭山順吉	1966		JAPANESE ART IN WEST 欧米蒐蔵日本美術図録	
丸山竜平	1980	銅鐸の終焉	日本歴史 385	
三木文雄	1940	平形銅剣出土遺跡地に就いて	考古学雑誌 30-3	
三木文雄	1950	阿波国名西郡源田出土の銅鐸とその遺跡	考古学雑誌 36-2	
三木文雄	1955	銅鐸	日本考古学講座 4	河出書房
三木文雄	1956	青銅器	図説日本文化史大系 1	小学館
三木文雄	1965a	阿波国安都真出土の銅鐸とその遺跡	考古学雑誌 50-4	
三木文雄	1965b	ボストン美術館所蔵の舞に鋸歯文ある銅鐸と その類型について	古代学研究 41	
三木文雄	1967	内凸帯のない新出土の銅鐸とその類型について	考古学雑誌 52-4	
三木文雄	1968	流水文銅鐸考	東京国立博物館 紀要3	
三木文雄	1969	銅鐸	桜ケ丘銅鐸・銅戈 兵庫県文化財 調査報告書	
三木文雄	1970	倣製銅剣と銅鐸の鋳型について	ミュージアム 230	
三木文雄	1971	阿波国長者ケ原出土と伝える二個の銅鐸について	ミュージアム 239	
三木文雄	1974		流水文銅鐸の研究	吉川弘文館
三木文雄	1976	終末期の扁平小銅鐸について	国学院雑誌 78-9	
三木文雄	1977	韓国の青銅器を見歩いて	考古学ジャーナル 134	
三木文雄	1995		日本出土青銅器の研究	第一書房
三品彰英	1968	銅鐸小考	朝鮮学報 49	
三品彰英	1973		古代祭祀と穀霊信仰〈三品彰英論 文集〉 5	平凡社
宮沢明久	1987		荒神谷遺跡発掘調査概報(3)	島根県教育 委員会
宫沢明久·柳浦俊一· 宍道年弘編	1986		荒神谷遺跡発掘調査概報(2)	島根県教育 委員会
村上正名	1959	備後出土の青銅器	広島考古研究 1	
村川行弘	1965	神戸市東灘区本山町中野字駒出土の銅鐸	考古学雑誌 51-2	

執 筆 者	発行年	論	文	名	書	名	発 行	所
村川行弘	1983	銅鐸3例			考古学雑誌 68-1			
明治大学考古学博物 館	1990				明治大学考古学博物	物館案内展示図		
森 浩一	1950	大阪府恩知来恩	<b>持銅鐸</b>		古代研究 3			
森 浩一	1970				太田黒田遺跡第五次	<b></b> 大調査概要		
森 浩一	1973	岸和田市流木町	丁出土の銅鐸		古代学研究 68			
森 浩一	1974	和歌山市砂山出	土の銅鐸の復	元にさいして	古代学研究 71			
森田 稔	1994	同笵銅鐸の鋳造	5 欠陥		古代文化 46-2			
森彦太郎	1937	紀州日高郡亀山	」より新出土の	銅鐸	考古学 8-9			
森本六爾	1930	銅鐸の型式分類	頁と播磨神種例	の占むる位置	人類学雑誌 45-10			
森本六爾・後藤守一	1925	三河国宝飯郡小	、坂井村発見の	銅鐸に就いて	考古学雑誌 15-3			
八尾市教育委員会	1989				跡部遺跡			
八尾市文化財調査研 究会	1991				跡部遺跡発掘調査幸	<b>最告書</b>		
八木奘三郎	1902	銅鐸			日本考古学			
野洲町立歴史民俗資 料館	1988				大岩山出土銅鐸図鈴	录		
谷井済一	1913	同所発掘の銅鏡	睪・銅剣		考古学雑誌 3-10			
矢原高幸	1961	香川県下の銅鎖	器について		香川県考古学会誌	1		
山本貞晨	1802				銅鐸図記			
横田健一	1984	新宮市神倉神社	上コトビキ岩下	出土の銅鐸	関西大学考古学等資	資料室紀要1		
吉井太郎	1919	西宮考古資料属	長覧会概況		考古学雑誌 9-11			
吉岡康暢	1969	伝石川県河北海	引畔出土銅鐸に	ついて	石川考古学研究会会	≥誌12		
若林勝邦	1891	鉄鐸及び銅鐸ノ	'表面ニアル浮	紋	東京人類学会雑誌	67		
若林勝邦	1899	和泉国の銅鐸			考古学会雑誌 3-2			
和歌山県史編纂委員 会	1983				和歌山県史 資料網	A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR		

#### 第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

#### 武器形青銅器関係文献一覧

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名
合田茂信	1978	愛媛県新居浜市中萩町横山出土の平形銅剣	阡陵 9
相知町史編纂委員会	1971		相知町史
青柳種信	1823		柳園古器略考
朝日新聞社筑後版	1993	弥生の銅剣出土(八女市茶ノ木ノ本遺跡)	12月18日付記事
朝日新聞長崎版	1994	細形銅剣また出土(峰町上ガヤノキ遺跡)	4月21日付記事
安心院町教育委員会	1984		宮ノ原遺跡
安部裕久・清水比呂之	1987	久原遺跡出土の両耳付き銅矛	考古学ジャーナル 272
甘木市教育委員会	1993		平塚川添遺跡発掘調査概報
網本善光	1987	岡山県笠岡市笠岡湾干拓地出土の銅戈について	古文化談叢 17
飯田義資	1955	銅剣と銅鉾 (那賀郡内出土)	徳島教育 No.95
石川日出志	1986	伝福岡県及び高知県岩滝出土の細形銅剣	明治大学考古学博物館館報 2
伊藤 晃	1995	岡山市高松田中遺跡出土の細形銅剣転用鑿	所報吉備 18
糸田町史編纂委員会	1989		糸田町史
井上俊男・柴田泰 典・渡辺正気	1962	福岡県三井郡小郡町大字乙隅発見の二口の銅戈	九州考古学 14
井上洋一	1989	旧有馬家所蔵銅矛について	MUSEUM 462
井上洋一	1990	銅矛に発見された青銅製のピンについて	日本古代における金属器製作技術の伝来 とその発達に関する研究
井上洋一	1994	東京国立博物館所蔵の福岡県須玖岡本出土品解説	奴国の首都 須玖岡本遺跡 奴国から邪 馬台国へ
井上洋一	1994	白錆の行方	月刊文化財発掘出土情報 94-6
井上洋一・松浦宥一郎	1993	東京国立博物館保管の佐賀県唐津市久里大牟田遺跡 出土の矛について	MUSEUM 509
岩永省三	1980	弥生時代青銅器型式分類編年再考一剣矛戈を中心と して一	九州考古学 55
岩永省三	1982	須玖岡本遺跡D地点出土青銅利器の再検討	MUSEUM 373
岩永省三	1985	天ケ原遺跡出土の銅矛について	串山ミルメ浦遺跡
岩永省三	1994	日本列島産青銅武器類出現の考古学的意義	古文化探叢 33
植木町史編纂委員会	1981	弥生時代	植木町史
上原準一	1927	讃岐國三豊郡二ノ宮村大字羽方字西ノ谷発見の銅鐸 及銅剣とその出土状態に就て	考古学雑誌 17-9
上原準一	1930	伊豫國道後湯ノ町発見の平形銅剣	考古学 1-1
宇佐市教育委員会	1979		宇佐地区圃場整備関係発掘調査概報
(財)有年考古館	1991		有年考古館蔵品目録
梅原末治	1937	許斐氏旧蔵筑前須玖発見の銅鉾銅剣	人類学雑誌52-12
梅原末治	1940	銅剣銅鉾について	日本考古学論攷
梅原末治	1950	肥前唐津市発見の甕棺遺物	考古学雑誌 36-1
梅原末治	1951	装飾文ある銅剣について	吉備考古 83
迂路佇驢子	1977	高槻市大塚町地先の淀川床遺跡出土銅戈	大阪文化誌 3-1
愛媛県史編纂委員会	1986		愛媛県史 資料編 考古
大分県教育委員会	1989		佐知遺跡
大分市史編纂委員会	1987		大分市史 上巻
大阪市立博物館	1994	伝豊前市河原田出土銅矛	金属の考古学
大阪文化財センター	1980		瓜生堂
大任町教育委員会	1976		狐塚古墳群
大任町誌編纂委員会	1970		大任町誌
大場磐雄	1949	信濃国安曇族の考古学的一考察	信濃 III 1-1
 大平 要	1973	平形銅剣	教育香川 48年12月号
岡垣町教育委員会	1981		元松原遺跡

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名
岡崎 敬	1970	『魏志』倭人伝の世界	古代の日本 3
岡崎 敬	1977	青銅器とその鋳型	立岩遺跡
岡崎 敬	1982	銅剣・銅矛・銅戈―韓国出土および第一次日本製品―	末盧国
岡崎 敬	1982	山本遺跡	末盧国
岡崎 敬	1982	徳武石ケ崎遺跡	末盧国
岡崎 敬	1982	柏崎貝塚(4)触角式有柄銅剣	末盧国
岡崎 敬	1982	德須恵支石墓	末盧国
岡崎 敬・木下尚子	1982	桜馬場遺跡	末廬国
岡崎 敬・木下尚子	1982	千々賀遺跡	末盧国
岡本桂典	1994	高知県香美郡野市町兎田八幡宮所蔵の絵画のある銅剣	考古学雑誌 80-1
岡本健児	1955	高知県幡多郡石丸遺跡	日本考古学年報 4
岡本健児	1957	細形銅剣二口	高知県文化財調査報告書第8集
岡本健児	1957	再び土佐国出土の細形銅剣新資料	考古学雑誌 43-2
岡本健児	1962	高知県伊野町天神出土の銅剣銅戈	高知県文化財調査報告書第12集
岡本健児	1966		高知県の考古学
岡本健児	1968a		高知県史考古編
岡本健児	1968b	南四国青銅器に関する二・三の問題	高知女子大紀要 人文・社会科学編 16
岡本健児	1969	北四国西部の青銅器に関する諸問題	高知女子大紀要 人文・社会科学編 17
岡本健児	1972	久礼八幡宮の銅戈	中土佐町文化財調査報告1
岡本健児	1973		高知県史考古資料編
岡本健児	1974	先史の時代	須崎市史
岡本健児	1975	埋納穴を有せる銅鉾形祭器	季刊どるめん 第7号
岡本健児	1977	四国の銅矛形祭器と水霊信仰	国学院雑誌 78-9
岡本健児	1977	福北地方発見の銅矛 「カード」	長徳寺址発掘調査報告書
岡本健児	1978	- 弥生時代	土佐市史
岡本健児	1983	高知県発見の銅鉾について	高知の研究 1 地質・考古篇
岡本健児	1983	高知県発見の銅剣・銅戈・石剣について	高知の研究 1 地質・考古篇
岡本健児・岡本桂典	1994	高知県香美郡野市町兎田八幡宮と絵画をもつ銅剣	高知県立歴史民俗資料館研究紀要 3
岡山県教育委員会	1995		百間川原尾島遺跡 4
岡山市教育委員会	1971		南方遺跡発掘調査概報
<b>荻田昭次</b>	1966	大阪府河内市瓜生堂弥生遺跡に出土した銅利器片	古代学研究 42・43
沖野瞬二	1956	徳島県神山町下分東寺出土の銅剣	考古学雑誌 42-1
小倉正五・佐藤良二郎	1994	大分県宇佐市川辺遺跡	日本考古学年報 45
小栗鉄次郎	1931	志段味村銅剣出土遺跡	愛知県史蹟名勝天然記念物調査報告 9
小田富士雄	1959	島原半島景華園の遺物	考古学雑誌 45-3
小田富士雄	1965	大分県丹牛川周辺発見の弥生式遺物	九州考古学 24
小田富士雄	1967	発生期古墳の地域相一北九州について一	歴史教育 15-4
小田富士雄	1968	北海部郡佐賀関町周辺の調査	大分県文化財調査報告書 第15輯
小田富士雄 小田富士雄	1970	古代の日田	九州文化史研究所紀要 15
小田富士雄	1974	対馬・ガヤノキB地点遺物の再発見	対馬一浅茅湾とその周辺の考古学調査一
小田富士雄	1974	弥生時代	字佐市史
小田富士雄	1975	青銅利器と鏡鑑	北九州の埋蔵文化財
小田富士雄 小田富士雄	1976	対馬峰町木坂新出の青銅器について	対馬の考古学
	1976	対馬・クビル遺跡の再検討	考古論集
小田富士雄			
小田富士雄	1985	銅剣・銅矛国産開始期の再検討―近年発見の鋳型資料を中心として―	古文化談叢 15
小田富士雄・韓炳三	1991		日韓交渉の考古学
乙益重隆	1954	,	肥後上代文化史
		広形銅戈を副葬した箱式石棺の一例	上代文化 35

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名
折尾 学	1977	今宿・横浜遺跡	緊急発掘された遺跡と遺物
香川県教育委員会	1961		香川県の文化財
香川県教育委員会	1983		新編 香川叢書 考古編
(財)香川県埋蔵文化財 調査センター	1990		四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告 第7冊 一ノ谷遺跡群
(財)香川県埋蔵文化財 調査センター	1992		空港跡地遺跡発掘調査概報 平成3年度
賀川光夫	1953	  新たに発見された東九州の銅鉾銅戈	考古学雑誌 39-2
賀川光夫	1954	考古学上より見た上代の字佐地方(一)―曙期古墳 に関する一考察	別府女子大学紀要 45
賀川光夫	1961	大分県浜遺跡	日本農耕文化の生成
鹿島町教育委員会	1976		志谷奥遺跡
梶山 勝	1985	名古屋市守山区上志段味出土の銅剣について	名古屋市博物館研究紀要 9
春日市教育委員会	1973		高辻遺跡 春日市文化財調査報告書第3集
春日市教育委員会	1995		須玖岡本遺跡
片岡宏二	1984	   小郡市内出土の青銅器	大板井遺跡IV
片岡宏二	1993	広型銅矛に残る鋳型の継ぎ目に関する研究	九州考古学 68
片岡宏二	1994	津古東台遺跡の広型銅矛鋳型関連資料	津古遺跡群Ⅱ
片岡宏二	1995	広形銅矛の鋳造技術に関する二・三の研究―連結式 鋳型の製品を中心にして―	九州考古学 70
片桐節子	1992	吉田出土の銅鉾について	吉田古墳発掘調査報告書(財田町教育委 員会)
勝部 昭・前島己基	1976	   島根県志谷奥出土の銅鐸銅剣	日本考古学年報 27
勝部昭	1981	出雲・隠岐発見の青銅器	古文化談叢 8
勝部昭	1982	島根県志谷奥遺跡出土の銅鐸・銅剣	考古学雑誌 68-1
勝本町教育委員会	1977	西瓜小心口交通所出工*/到年 對別	勝本町の文化財
金関丈夫・金関恕・原口正三	1961	佐賀県切通遺跡	日本農耕文化の生成
上対馬町教育委員会	1984		コフノ遺跡
<b>1</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1991	青銅器	岡山県史第2巻 原始・古代
唐津市教育委員会	1980	15,250	久里大牟田遺跡
河口貞德	1988		日本の古代遺跡 38 鹿児島
川之江市	1960		川之江市史 第1輯
川村真一	1935	熊本県鹿本郡来民町御宇田発掘の銅鉾	考古学雑誌 25-1
財)元興寺文化財研究所	1993	照个示脑个和小D间面于山元油(/)购好	銅剣
関西大学文学部	1973		考古学資料図鑑
甘楽町教育委員会	1995		
岸本町教育委員会	1989		甘楽町の文化財 久古第3遺跡(口別所地区)発掘調査報 告書
北九州市教育委員会	1995		岡遺跡Ⅲ区
脚北九州市教育文化 事業団	1980		馬場山遺跡
財 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 が は の は の は の に に の に に に に に に に に に に に に に	1989		上徳力遺跡 1
北九州市史編纂委員会	1985		北九州市史 総論先史・原始
北茂安町教育委員会	1986		検見谷遺跡
木下 忠	1958	原始時代編	矢野町史
木下忠	1960	尾道市大峰山出土銅鉾銅剣について	広島考古研究 2
九州考古学会	1950	LOW IN VOLT III IT TRUST SAL SOLVING TA . C	北九州古文化図鑑
/ G/ IL. A 口 1. 立			
九州歴史資料館	1982		田中幸夫寄贈品目録

執 筆 者	発行年	論 文 名	書 名
京都大学文学部	1963		京都大学文学部考古学資料目録 3
京都帝国大学	1930		筑前須玖史前遺跡の研究 京大報告11
桐原健	1966	信濃国出土青銅器の性格について	信濃 18-4
草場啓一・渡邊和子	1991	福岡県筑紫野市隈・西小田地区遺跡群	日本考古学年報 41
玖珠郡史編集委員会	1965		玖珠郡史
隈 昭志	1987	青銅製品から見た菊池川中流域一特に方保田東原遺跡を中心として一	東アジアの考古と歴史 中
隈 昭志	1978	熊襲と隼人の文化	光は西から
熊野正也	1989	本館所蔵の銅戈について一鋳型の郷里を訪ねて一	明治大学考古学博物館館報 5
熊本県教育委員会	1925	熊本県下に於ける銅剣銅鉾の調査	熊本県史蹟名勝天然記念物調査報告第2冊
<b>倉光清</b> 六	1933	伯耆八橋町の銅剣発見遺跡と其の遺品	考古学雑誌 23-7
栗山伸司	1978		昭和53年度九州史学会大会研究発表要旨
久留米市教育委員会	1976		関口の民俗資料
黒沢 浩	1989	明大考古学博物館所蔵の武器形青銅器二例―銅戈と 銅矛―	明治大学考古学博物館館報 5
黒沢 浩	1995	新収蔵の銅戈	明治大学考古学博物館館報 10
小池史哲	1993	各都道府県の動向―40、福岡県	日本考古学年報 44
考古学会編集者	1914	長門安岡村発掘の銅剣	考古学雑誌 4-9
神原英朗	1969	美作久米南町別所発見の銅剣	古代吉備 6
神戸市教育委員会	1969		桜ケ丘銅鐸銅戈
神戸市立博物館	1993		銅鐸の世界―地の神への「いのり」―展
神戸新聞社	1959		祖先のあしあとII
国分直一他	1970		中の浜遺跡調査概報
国立歴史民俗博物館	1991		国立歴史民俗博物館館蔵資料概要
後藤守一	1922	対馬瞥見録(二)	考古学雑誌 13-3
後藤守一	1922	対馬瞥見録(一)	考古学雑誌 12-12
後藤守一	1943	クリス形銅戈	古代文化 14-6
後藤直	1980	人面付銅戈一人面と鋳かけ一	福岡市立歴史資料館研究報告 4
後藤 直	1981	青柳種信の考古資料 (一) —三雲南小路と井原鑓溝  に関する資料—	福岡市立歴史資料館研究報告 5
後藤 直	1983	青柳種信の考古資料 (2)	福岡市立歴史資料館研究報告 7
小安和順	1995	甘楽町三ツ俣遺跡出土の銅戈	群馬考古学手帳 5
小柳和宏	1989	農耕社会の祭り	大分県史 先史篇 II
近藤喬一	1970	平形銅剣と銅鐸の関係について	古代学 17-3
近藤喬一	1969	朝鮮・日本における初期金属文化の系譜と展開	史林 92-1
近藤喬一	1970	平形銅剣と銅鐸の関係について	古代学 17-3
近藤喬一	1974	武器から祭器へ	古代史発掘 5大陸文化と青銅器
	1966	島根県下の青銅器について	島根県文化財調査報告 第2集
埼玉県立博物館	1994	関東にも存在した「銅戈」!	特別展検証!関東の弥生文化一粒の米が 変えた暮らし
佐賀県教育委員会	1949		佐賀県文化財調査報告 第9集
佐賀県教育委員会	1962		佐賀県の遺跡
佐賀県教育委員会	1976	- 寺浦廃寺跡	佐賀県文化財調査報告書第34集
佐賀県教育委員会	1978	久米遺跡群	佐賀県文化財調査報告書第42集
佐賀県教育委員会	1984	東山田一本杉遺跡	九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調 査概報 7
佐賀県教育委員会	1992		吉野ケ里
佐賀県教育委員会	1994		平成4年度・5年度吉野ケ里遺跡発掘調査の 概要一墳丘墓と北内郭跡を中心として一
佐賀県教育委員会・ 佐賀県立博物館	1994		速報展示柚比本村遺跡出土の玉飾漆鞘と 青銅器

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執 筆 者	発行年	論	文	名	書	名
佐賀市教育委員会	1991				鍋島本村南遺	跡
坂田邦洋	1976	木坂石棺群			対馬の考古学	
坂本経堯	1967	熊本県内の銅鉾・銅戈		の霊前に捧げる―	九州縄文土器	の研究
坂本真鈴	1926	朝倉通信(二)	-		考古学雑誌	16-6
坂本真鈴	1928	金石併用時代に於け	る両筑平野		考古学雑誌	18-8
佐藤 堯	1961a	大分県北海部郡清水	ケ迫発見の平刑		九州考古学	
佐藤 堯	1961b	大分県北海部郡清水	ケ迫発見の平刑		九州考古学	
佐藤美津夫	1937	児島飽浦銅剣に就い			吉備考古32	
佐原 真	1965				銅鐸 日本原	
塩屋勝利	1986	文政五年三雲南小路 て児玉琢の書状につ		資料—青柳種信宛		資料館研究報告 10
鹿町町教育委員会	1983				大野台遺跡	
七田忠昭	1976	文様ある銅矛につい 兼ねて一	て一佐賀県目達	産原銅矛の紹介を	九州考古学	52
七田忠昭	1985	装飾文様を施す銅矛	について		考古学雑誌	70-2
信濃史料刊行会	1956				信濃考古総覧	
渋谷 格	1994	鳥栖市柚比本村遺跡	 の調査		九州考古学	
島田・小川	1922	長門向津具出土の飾	柄銅剣		史林 17-1	
島田貞彦	1926	周防国山口町茶臼山	古墳			18-1
島田貞彦	1926	播磨国佐用郡平松発				41-1
島田貞彦	1931	尾張国東春日井郡志		·····································		21-2
島田貞彦	1931	甕棺内新出の玉類及				21-8
島田寅次郎	1925	地縁天神社の銅鉾銅				勝天然記念物調査報告書第
島田寅次郎	1939	石器と土器、古墳と	副葬品		福岡県史跡名	勝天然記念物調査報告書第
下條信行	1991	北部九州弥生中期の	「国」家間構造	こと立岩遺跡	古文化論叢	
下関市史編集委員会	1965				下関市史	
下野敏見	1982	謎の遺品			隼人文化 11	
下村 智・二宮忠司	1990	福岡市吉武遺跡群( 跡・野方柳原出土の		区)・野方久保遺	考古学雑誌 7	75-4
庄内町史編集委員会	1966				庄内町史	
正林 護	1971	諫早市出土の銅剣			九州考古学 4	41-44
末永雅雄	1957	備前瑜珈山出土の銅	—————————————————————————————————————		考古学雑誌 4	42-3
杉原荘介	1971				日本青銅器の	
杉原荘介・原口正三	1961	佐賀県桜馬場遺跡			日本農耕文化の	の生成
瀬川芳則	1978	弥生文化と農耕			大阪府史 第	 1巻
瀬戸内海歴史民俗資 料館	1983				讃岐青銅器図	;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;
瀬之口伝九郎	1917	大隅国出土の銅鉾に	 就きて		考古学雑誌 8	3-2
瀬之口伝九郎	1918	豊後国成松村京ケ尾	 出土の広鋒銅鉾	 に就て		9-4
副島和明・正林護	1995	一支国 原の辻遺跡			季刊考古学 5	
高木正文	1979	天神免遺跡出土の細			九州考古学 5	
高倉洋彰	1976	弥生時代副葬遺物の			九州歴史資料館	
高倉洋彰・豊玉町教 育委員会	1980				対馬豊玉町ハロ	
高橋邦彦	1958	銅鉾・古墳			文化財協会報	3
高橋邦彦他	1972				さぬきの遺跡	
高橋健自	1916	銅鉾銅剣考(一)			考古学雑誌 6	5–11
高橋健自	1925				銅鉾銅剣の研究	
高橋 徹	1976	大分県臼杵市出土の	洞 <i>十</i> -		九州考古学 5	

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名
高橋久志・松岡秀夫	1969	兵庫県上郡町別名出土の銅剣	有年考古館研究報告 3
田川肇・副島和明	1995	長崎県壱岐郡芦辺町・石田町原の辻遺跡	日本考古学年報 46
武雄市	1982		武雄市史
武雄市教育委員会	1990		釈迦寺遺跡
武末純一	1982	埋納銅矛論	古文化談叢 第9集
田添夏喜	1971	年の神弥生遺跡	熊本史学 39
	1988		考古資料図録
種定淳介	1990	播磨における弥生時代青銅器の特質	播磨考古学論叢
田原本町教育委員会	1989		田原本町埋蔵文化財調査概要11-昭和 62・63年度唐古・鍵遺跡第32・33次発掘 調査概報-
筑紫野市教育委員会	1990		永岡遺跡II
全 榮來	1976	完卅上林里出土中国式銅剣に関して	全北遺跡調査報告6
対馬遺跡調査会	1963	長崎県対馬調査報告(1)	考古学雑誌 49-1
津屋崎町教育委員会	1981		今川遺跡
出宮徳尚	1986	南方遺跡	岡山県史第18巻 考古資料
寺石正路	1989	土佐二於ケル銅鐸銅鋒ノ所在地名	東京人類学雑誌 46
寺石正路	1891	吾川郡ノ銅鉾	人類学雑誌64
寺沢 薫	1990	青銅器の副葬と王墓の形成―北九州と近畿にみる階 級形成の特質(I)―	古代学研究 121
寺田貞次	1937	銅鐸銅剣を出せる小豆島安田遺跡	考古学 8-7
寺田貞次	1939	讃岐我拝師山発見銅剣と善通寺町附近の上代文化	考古学雑誌 29-11
寺田貞次	1942	牟礼村出土銅剣出土地	香川県史蹟名勝天然記念物調査報告 13
天理参考館	1971	銅鐸と銅利器	天理参考館資料目録 9
土居和幸・永田裕久	1996	- 弥生中期の墳墓群―大分県日田市吹上遺跡―	季刊考古学 54
東亜考古学会	1953		對馬—玄海における絶島對馬の考古学的 調査—
東京考古学会	1968	日本青銅器発見地地名表	考古学集刊2下
東京国立博物館	1965		新たに国の保有になった埋蔵文化財
東京国立博物館	1977		新発見の考古品 (図録)
東京国立博物館	1980		東京国立博物館図版目録 弥生遺物篇(金属器)
塔ノ首遺跡調査団	1974	上対馬町古里・塔ノ首石棺群調査報告	対馬―浅茅湾とその周辺の考古学調査―
(財)鳥取市教育福祉振 興会	1993		西大路土居遺跡
富田紘一	1979	原始・古代	北部町史
富田紘一	1988	原始・古代	大津町史
富田紘一	1993	第1章 原始・古代の旭忘村	旭忘村史
豊浦町教育委員会	1984		史跡中ノ浜遺跡
豊玉町教育委員会	1984		イノ遺跡
虎島九平太			鉾之記
長井数秋	1987	愛媛県東予市天神谷出土の平形銅剣	ふたな 3
中川寿賀子・赤崎敏男	1994	茶ノ木ノ本遺跡について	考古学ジャーナル 377
長崎県教育委員会	1969		対馬―豊玉村佐保シケノダン・唐崎の青 銅器を出土した遺跡の調査報告―
長崎県教育委員会	1974		対馬―浅茅湾とその周辺の考古学調査―
長崎新聞	1989	増田山で銅矛7本発見	
永島暉臣慎	1984	大阪市内加美遺跡の発掘調査	日本考古学協会第50回総会研究発表要旨
中島茂夫	1980	福岡県元松原出土細形銅矛	地域相研究 8
中島直幸	1982	久里大牟田遺跡	末盧国
仲宗根求	1992	中頭部読谷村字渡慶次中川原貝塚	日本考古学年報 43

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執筆者	発行年	論 文 名	書 名		
中園 実	1976	野の石祠に祀られていた銅剣	神崎の歴史と文化 8号		
永留久恵	1965		対馬の古跡		
中野倫太郎	1992	集成3 銅鐸・銅剣・銅戈・銅鉾	吉備の考古学的研究(上)		
長町 彰	1915	讃岐国銅鉾銅剣銅鐸発見地	考古学雑誌 6-3		
中村修身	1994	各都道府県の動向-40、福岡県	日本考古学年報 45 (1992年度版)		
長山源雄	1916	南豫にて発見の銅鉾	人類学雑誌 31-6		
長山源雄	1922	南予出土の銅剣銅鉾に就いて	考古学雑誌 12-9		
長山源雄	1930	肥後国玉名郡発見の銅鉾	考古学 1-1		
長山源雄	1930	豊後竹田町所見のクリス形銅剣	考古学 1-5・6		
中山省三郎・坂口保 治・森本六爾	1929	信濃若宮銅剣	考古学研究 3-1		
中山平次郎	1917	九州北部に於ける先史原史両時代中間期間の遺物に 就て (一)	考古学雑誌 7-10		
中山平次郎	1917	銅鉾銅剣の新資料	考古学雑誌 7-7		
中山平次郎	1918	銅鉾銅劔並に石劔発見地の遺物(上)	考古学雑誌 8-8		
中山平次郎	1918	銅鉾銅劔並に石劔発見地の遺物 (下)	考古学雑誌 8-9		
中山平次郎	1918	銅鉾銅剣発見地の遺物追加(上)	考古学雑誌 8-10		
中山平次郎	1920	大甕を発見せる古代遺跡 (一)	考古学雑誌 11-1		
中山平次郎	1920	壱岐立石熊野神社の銅鉾	考古学雑誌 10-8		
中山平次郎	1920	豊後国大分郡松岡村大字松岡字京ケ尾の銅鉾発見地	考古学雑誌 10-9		
中山平次郎	1920	豊前国駅館村法鏡寺出土の銅鉾	考古学雑誌 10-9		
中山平次郎	1922	明治三十二年に於ける須玖岡本発掘物の出土状態 (其一)	考古学雑誌 12-12		
中山平次郎	1925	筑前国朝倉郡福田村平塚字栗山新発掘の甕棺内遺物	考古学雑誌 15-4		
中山平次郎	1927	須玖岡本の遺物	考古学雑誌 17-8		
中山平次郎	1928	筑後国三井郡小郡発掘と伝うる青銅戈	考古学雑誌 18-5		
中山平次郎	1930	太宰府附近に於ける弥生式系統遺跡調査(其一)	考古学雑誌 20-6		
中山平次郎	1930	新発見の銅鉾	考古学 1-5・6		
中山平次郎	1930	塚崎西畑の御廟塚	考古学雑誌 20-1		
中山平次郎	1950	銅剣・鉄剣・石剣の共伴を示せる組合式石棺	考古学雑誌 36-3		
長山雅一	1978	大阪府加美遺跡	日本考古学年報 29		
名本二六雄	1989	愛媛県宇摩郡土居町入野出土の細形銅剣について	日本の遺跡 27		
奈良県立橿原考古研 究所	1989	多遺跡第10次発掘調査概報	奈良県遺跡調査概報 1986年度		
難波洋三	1986	戈形祭器	弥生文化の研究 6		
西田 栄	1953	銅剣銅鉾に関する若干の考察―特に愛媛県出土品の 形態を通して―	愛媛大学歴史学紀要 2		
西田 栄	1954	銅剣銅鉾に関する考察補遺一文様と出土―	愛媛大学歴史学紀要 3		
西田 栄	1988	愛媛における考古学の草創期	考古学叢考 上		
西田栄・長井数秋	1985	伊予土居町入野西番掛出土の銅剣	愛媛考古学 8		
西谷 正	1969	九州の銅戈	月刊文化財 1969-9		
西谷 正	1976	山門郡の考古学	九州文化史研究所紀要 21		
西宮市教育委員会	1974		西宮の文化財―埋蔵文化財編―		
二宮六郎	1797	日出村南仁王部其二	図跡考		
橋口達也	1976	磨製石剣嵌入人骨について	スダレ遺跡		
橋口達也	1987	聚落立地の変遷と土地開発	東アジアの歴史と考古 中		
橋口達也	1992	弥生時代の戦い―武器の折損・研ぎ直し―	九州歴史資料館研究論集 17		
花田勝広	1995	宗像郷土館の研究一幻の青銅武器を求め一	滋賀考古 14		
花村利彦	1966	田川地方の遺跡とその分布の研究	郷土田川 No.25		
	1974	弥生時代の田川	田川市史 上		

執筆者	発行年	論 文 名	書名
原口長之	1970	南関町の銅鉾	石人 127
原口信行・小田富士雄	1957	豊前発見の銅戈二例	九州考古学 1
原田大介	1989	船石南遺跡	佐賀県農業基盤整備事業に係る文化財調 査報告書 7
原田大六	1961	伝福岡県遠賀郡岡垣村の銅剣	九州考古学 11・12
樋口清之	1969	摂津保久良神社遺跡の研究	験杉会紀要 4
樋口隆康編	1974	地名表	古代史発掘 5
日出町	1986		日出町史
日高村教育委員会	1995		日高村「小村神社」出土の銅矛
日田市教育委員会	1995		吹上遺跡-6次調査の概要
櫃本誠一	1984		日本の古代遺跡―兵庫北部―
兵庫県教育委員会	1984		玉津田中遺跡調査概報 I
兵庫県史編集専門委 員会	1992		兵庫県史 資料編 考古
平尾良光・榎本淳子	1993	佐賀県唐津市久里大牟田遺跡から出土した鉛製矛の 自然科学的研究	MUSEUM 509
平尾良光・佐々木美 喜・竹中みゆき	1995	鉛同位体比法による春日市出土青銅器の研究	春日市史 上
) 放高県埋蔵文化財センター	1985	大槇 3 号遺跡	大槇遺跡群
広島県歴史民俗資料館	1993		ひろしまの青銅器
) 献広島市歴史科学教育事業団	1993		大陸の風とともに―銅鐸交響曲―
側広島市歴史科学教 育事業団	1994		下沖2号遺跡発掘調査報告
弘津史文	1928	周防国赤妻古墳並茶臼山古墳(上)(下)	考古学雑誌18-4・5
福岡県教育委員会	1976	福岡県須玖・岡本遺跡調査概報	福岡県文化財調査報告書 53
福岡県教育委員会	1979	辻田遺跡の調査	山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告 12
福岡県教育委員会	1979		水城
福岡県教育委員会	1979	北牟田遺跡	九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報 告XXXI
福岡県教育委員会	1985	三雲遺跡・南小路地区編	福岡県文化財調査報告書 69
福岡県教育委員会	1994	日永遺跡II	一般国道210号線浮羽バイパス関係埋蔵 文化財調査報告 第7集
福岡市教育委員会	1970		福岡市埋蔵文化財地名表 第2集
福岡市教育委員会	1981		今山・今宿遺跡
福岡市教育委員会	1982		西新町遺跡
福岡市教育委員会	1983		比恵遺跡―第6次調査・遺構編―
福岡市教育委員会	1986		吉武高木
福岡市教育委員会	1993		入部IV
福岡市立歴史資料館	1975		展示品図録(1)
福島日出海	1993	福岡県嘉穂郡嘉穂町鎌田原遺跡	日本考古学年報 44 (1991年度版)
フクニチ新聞	1991	ミニ"銅剣"出土(二丈町深江井牟田遺跡)	7月11日記事
福家惣衛	1951	香川県出土の銅剣	考古学雑誌 37-4
藤 貞幹	1796		好古日録
藤田憲司・柳瀬昭彦	1987	弥生時代	岡山県の考古学
藤田等・高島忠平・ 岡崎 敬・森貞次郎	1982	宇木汲田遺跡	末盧国
古庄秀樹	1994	町内最古の前方後円墳 一茶筅塚古墳の調査―	小城の歴史
古瀬清秀	1985	原始・古代の寒川町	寒川町史
古谷 清	1911	鹿部と須玖	考古学雑誌 2-3
文化財保護委員会	1954	大分県北海部郡下北津留村井村出土広鋒銅鉾	埋蔵文化財要覧 1

第4章 神庭荒神谷遺跡出土青銅器関連資料文献目録

執 筆 者	発行年	論 文 名	書名
文化財保護委員会	1959	高知県須崎市波介出土細形銅剣	埋蔵文化財要覧 2
文化財保護委員会	1962	熊本県大津町真木西津留クリス形銅戈	埋蔵文化財要覧 3
文化財保護委員会	1981	愛媛県周桑郡丹原町古田出土平形銅剣	埋蔵文化財要覧 5
防長新聞	1924	上古の遺物銅鉾を発見す	考古学雑誌 14-10彙報
堀田啓一	1975		河内考古学散步
埋蔵文化財研究会第 20回研究集会	1986		弥生時代の青銅器とその共伴関係
間壁忠彦他	1979	広江浜遺跡	倉敷考古館研究集報 14
間壁忠彦・間壁葭子	1986	鉛同位体比測定青銅器の資料解説	倉敷考古館研究集報 19
松岡播磨	1786		綱分八幡宮産綱記
松岡 史	1958	佐賀県唐津市鶴崎の銅戈	九州考古学 3・4
松岡 史	1962	弥生文化	唐津市史
松岡文一	1964	宇和町の弥生式時代の文化	愛媛考古学 6
松尾禎作	1936a	高木瀬村上高木の銅鉾出土地に就て	佐賀県文化財報告第5輯
松尾禎作	1936b	春日村尼寺のクリス型銅剣出土地に就て	佐賀県文化財報告第5輯
松尾禎作	1949	西尾東尾北方遺跡	佐賀県文化財報告第8輯
松尾禎作	1951	中原村上地かめ棺遺跡	史名天10
松尾禎作	1958	水田工200 平州日及國	佐賀県考古大観
松本岩雄・岩永省三	1991	島根県美濃郡匹見町出土の青銅器	水田ノ上A遺跡・長グロ遺跡・下正ノ田
	1991	<b>- GTUR 大仮仰匹允町 山上の月 刺命</b>	遺跡
松山市教育委員会	1991		祝谷六丁場遺跡一調査報告1一
松山白洋	1925	銅鐸と銅鉾	土佐史壇 13
真鍋修身	1985	新居浜市大師泉出土の平形銅剣について	遺跡 27
馬渕久夫	1985	島根県出土青銅器の原料産地推定	月刊文化財 261
馬渕久夫・平尾良光	1986	倉敷考古館提供の資料による青銅器の原料産地推定	倉敷考古館研究集報19
馬渕久夫・平尾良光	1990	福岡県出土青銅器の鉛同位体比	考古学雑誌 75-4
満濃町史編集委員会	1975		満濃町史
三木文雄	1940	平形銅剣出土の遺跡地に就いて	考古学雑誌 30-3
三木文雄	1943	甕棺出土の一銅剣	考古学雑誌 33-6
三木文雄	1950	阿波国源田出土の銅剣銅鐸とその遺跡	考古学雑誌 36-2
三木文雄・岡本健児	1961	高知県波介遺跡	日本農耕文化の生成
三木文雄	1966	銅鐸の謎	日本の誕生
三島 格	1979	館蔵本「豊前、筑前其他出土考古品図譜」解題	福岡市立歴史資料館研究報告 3
	1928	備後に於ける青銅文化に就きて	考古学雑誌 18-3
美津島町教育委員会	1988	開後にがいる自動人口にからて	かがり松鼻遺跡
峰町教育委員会	1974		恵比須山遺跡発掘調査報告
峰町教育委員会	1977		峰町東沿岸地域埋蔵文化財発掘調査報告
三馬町	1989		三馬町史
 三宅博士・松本岩雄		自相目山上の事件中について	
	1985	島根県出土の青銅器について	月刊文化財 261
三好孝一	1987	久宝寺遺跡出土の青銅製品	久宝寺南(その1)
向田雅彦	1994	佐賀県鳥栖市本行遺跡	日本考古学年報 45 (1992年度版)
武藤 和	1813	The Wilder Land Park III and Additional Park III and I	南路志 3巻
武藤 誠・三木文雄	1969	三原郡西淡町古津路出土の銅剣	桜ケ丘銅鐸銅戈
武藤 誠	1971	銅剣の新資料―甲山から出土した銅剣について―	西宮文化 17
宗像市教育委員会	1988		久原遺跡
宗像神社復興期成会	1958		沖ノ島 I
村上正名	1951	備後国出土平形銅剣の新資料	考古学雑誌 37-1
村上正名	1959	備後国出土の青銅器	広島考古研究 1
村上正名	1961	細形銅剣	福山市重要文化財解説 第1号
村上正名	1962	中山南出土の平形銅剣	広島県文化財調査報告 第2集
村上正名	1962	福山市熊野出土の平形銅剣	広島県文化財調査報告 第2集

執 筆 者	発行年	<b>論</b> 文 名	書名		
村木幸雄	1940	阿波国名西郡左右山出土の平形銅剣と其の遺跡	考古学雑誌 30-3		
森貞次郎	1960	青銅器の渡来	世界考古学大系 2		
森貞次郎	1960	銅剣・銅矛・銅戈の鋳造	世界考古学大系 2		
森貞次郎	1968	弥生時代における細形銅剣の流入について	日本民族と南方文化		
森貞次郎・橋口達也	1968	白塔発見の人面鋳出銅戈	有田遺跡		
森貞次郎	1968	飯倉の甕棺と細形銅剣	有田遺跡		
森貞次郎	1968	有田甕棺遺跡の甕棺と銅戈	有田遺跡		
森貞次郎	1968	弥生時代における細形銅剣の流入について 一細形 銅剣の編年的考察—	日本民族と南方文化		
森貞次郎	1973	総括	鹿部山遺跡		
森本六爾	1927	長門富任に於ける青銅器時代墳墓	考古学研究 第2輯		
森本六爾	1930	肥前松浦潟地方における甕棺遺跡と其の伴出遺物	考古学 1-5・6		
両角守一	1933	北安曇郡平村諏訪神社の銅剣	信濃 第12期2巻1号		
八木奘三郎	1900	九州地方遺跡調査報告	人類学会雑誌 175		
八木奘三郎	1902		考古便覧		
八木奘三郎	1910		考古精説		
夜須町史編纂委員会	1991		夜須町史		
谷井済一	1913	安藝国高宮郡福田発掘の銅鐸銅劔	考古学雑誌 3-10		
八代市立博物館未来の森ミュージアム	1993	<b>女装凹间首仰旧山兀滩() 约异纳洲</b>	たたかいと祈りと一古代青銅器の流れと 広がり一		
柳沢一男	1977	下山門敷町遺跡	緊急発掘された遺跡と遺物		
		甘木市朝倉郡を中心とした甕棺の一考察	埋れていた朝倉文化		
柳田康雄	1969		九州考古学 58		
柳田康雄	1983	糸島地方の弥生遺物拾遺 (円477日の表すが、対対でかれたり	太宰府古文化論叢 上		
柳田康雄	1983	伊都国の考古学一対外交渉の始まり一			
柳田康雄	1984	青銅器	甘木市史資料 考古編		
柳田康雄	1990	鉛同位体比法による青銅器研究への期待	考古学雑誌 75-4		
矢野一貞	1853		筑後将士軍談 巻52		
矢原高幸	1948	西讃岐の銅剣新資料について	Archaeology 3		
矢原高幸	1955	讃岐の平形銅剣雑考	郷土文化 8		
矢原高幸	1973		善通寺市の古代文化		
山口県教育委員会	1993		砂地岡遺跡		
山高郷土史研究会	1930		防長原始時代資料		
八女市教育委員会	1994	茶ノ木ノ本遺跡	八女市南部地区県営圃場整備事業地内埋 蔵文化財調査概報 5		
八女山門社会研究会	1967		八女・山門		
夕刊フクニチ	1972		奴国展図録		
吉田宇田郎	1932	大和菖蒲池古墳出土鏡と銅鉾に就いて	考古学雑誌 22-11		
吉田 広	1993	銅剣生産の展開	史林76-6		
吉田 広	1994	兎田八幡宮蔵銅剣をめぐる諸問題	古文化談叢 33		
吉田 広	1995	観音寺市粟井町藤の谷出土の銅剣	香川考古 4		
吉村茂三郎	1936	名勝鏡山と其附近の古墳について	佐賀県埋蔵文化財報告第5輯		
吉村茂三郎	1936	徳須恵の甕棺地帯に就て	佐賀県埋蔵文化財報告第5輯		
吉村茂三郎・松尾禎作	1949	唐津桜馬場遺跡	佐賀県埋蔵文化財報告第8輯		
若林勝邦	1897	銅剣に関する考説及び其材料の増加	考古学会雑誌 1-8		
若林勝邦	1901	銅鉾銅剣の新材料	考古界 1-6		
和歌山県史編纂委員会	1983		和歌山県史 考古資料		
渡部明夫	1982	香川県鎌田共済会郷土博物館の銅剣・銅戈	古文化談叢 第9集		
渡部明夫	1983	大川郡志度町多和文庫所蔵の平形銅剣	香川考古 創刊号		
渡辺正気	1960	福岡県糸島郡旧糸島高等女学校校庭出土の甕棺	史淵 81		
渡辺正気・小田富士 雄・松岡 史	1961	福岡県春日町新発見の銅矛	九州考古学 13		
~					

## 報告書抄録

ふりがな	いずも かんばこうじんだにいせき									
書 名	出雲 神庭荒神谷遺跡									
編集者	松本岩雄・足立克己									
編集機関	島根県古代文化センター									
所 在 地	〒690-01 島根県松江市打出町33番地 TEL 0852-36-8523(代)									
発行機関	島根県教育委員	島根県教育委員会								
発行年月日	1996年 3 月31日	(第4冊	は1995年	手 3 )	月31日)					
ふりがな所収遺跡	ふりがな コード									
かんぱこうじんだいいせき神庭荒神谷遺跡	Lt a lth, D pho ch, A lth, B	32401 Y124		4	35°22′24″	132°51′18′	300 100 60 30 25 100	$19840711 \sim 19840911$ $19850708 \sim 19850914$ $19860702 \sim 19860801$ $19880707 \sim 19880722$ $19890821 \sim 19890916$ $19900614 \sim 19900719$		
調査原因	農業用道路整備	事業 →	国庫和	制助哥	事業 →	史跡整何	<b>備事業</b>			
所収遺跡名	種 別 主な時代			主な遺構		-	主な遺物	特記事項		
神庭荒神谷遺跡	祭祀遺跡	弥生時代			銅器埋納	金剛金	IJ358本 翠 6 個 <sup>テ</sup> 16本	中細形銅剣 横帯文銅鐸 四区袈裟襷文銅鐸 中細形銅矛 中広形銅矛		

1996(平成8)年3月発行

### 出雲神庭荒神谷遺跡

第1冊

(発掘調査報告 本文編)

発 行 島根県教育委員会 島根県古代文化センター 〒690-01 島根県松江市打出町33番地 Tel (0852) 36-8523

印 刷 有限会社 真 陽 社 〒600 京都市下京区油小路通綾小路下ル Tel(075)351-6034